

令和7年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
報告書【概要版】

令和8年2月

大田区

目次

I 調査の概要	5
1 調査の目的	5
2 調査設計	5
3 報告書の見方について	6
II 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査①	7
1 公共交通について	7
2 自転車について	11
3 共生社会について	23
4 消費者生活センターについて	36
III 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査②	37
1 地域活動について	37
2 地域のつながり・見守りについて	39
3 健康・医療について	46
4 スポーツについて	48
5 文化芸術について	53
6 生涯学習について	57
7 居住環境について	65
IV 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査③	69
1 SDGsについて	69
2 ふるさと納税について	75
3 情報取得・デジタル化について	76
4 防災・防犯について	78
5 商店街について	82
6 公園・緑・景観について	83
7 鉄道駅周辺のまちづくりについて	88
8 国際交流・多文化共生について	89
9 羽田空港跡地・羽田イノベーションシティについて	91
V 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査④	99
1 心の相談・居場所について	99
2 教育環境について	102
3 公園について	104
4 環境問題について	105
5 景色（景観）について	108
6 闇バイトについて	110
VI 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査⑤	111
1 居住年数・定住意向について	111

2	子育て環境について	116
---	-----------------	-----

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な施策立案に向けた区民意識の把握を目的とし、区内在住の区民を対象とした意識調査を実施する。

2 調査設計

調査地域	大田区全域
調査対象	[区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査①～③] 区内に居住する満 18 歳以上の男女個人（外国人含む） [区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査④] 区内に居住する小学 4 年生から高校 3 年生及び高校生世代の男女個人（外国人含む） [区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査⑤] 区内に居住する未就学児と小学生の保護者の男女個人（外国人含む）
標本数	12,000 人 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査①～③：各 3,000 人 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査④：1,500 人 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査⑤：1,500 人
抽出方法	層化無作為抽出法
調査方法	配付は郵送方式、回答収集は郵送又は電子申請方式
調査期間	令和 7 年 11 月 10 日から 12 月 2 日
有効回収数	区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査① 1,121 件（郵送 673 件＋電子申請 448 件） 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査② 1,024 件（郵送 676 件＋電子申請 348 件） 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査③ 1,005 件（郵送 632 件＋電子申請 373 件） 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査④ 567 件（郵送 341 件＋電子申請 226 件） 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査⑤ 689 件（郵送 309 件＋電子申請 380 件）
有効回収率	区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査① 37.4% 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査② 34.1% 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査③ 33.5% 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査④ 37.8% 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査⑤ 45.9%

3 報告書の見方について

- (1) 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- (2) 調査の結果の比率は、その設問の回答者を母数として、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記してある。このため、その合計値が100%にならない場合がある。
- (3) 複数の選択肢をまとめたグループ「《 》」の数値は、各選択肢に表示されている比率同士の加算ではなく、該当する回答者数を合算した上で、上記(2)に基づき改めて算出した比率を用いている。このため、各選択肢の表示値を単純に足し合わせた数値と、グループの合計値が一致しない場合があるが、本文中の記述はすべてこのルールに基づく数値を採用している。
- (4) 複数回答の設問は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (5) 属性別クロス集計等は、無回答を除いているため、回答者の合計が全体と一致しない場合がある。
- (6) 年代別は、男女ともに「18～19歳」は回答者が少数であるため、「10・20代」とまとめて集計及び掲載している。
- (7) 回答者数(n)が30人未満は、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- (8) 図表及び本文中では、選択肢を一部省略した表現としている場合がある。

Ⅱ 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査①

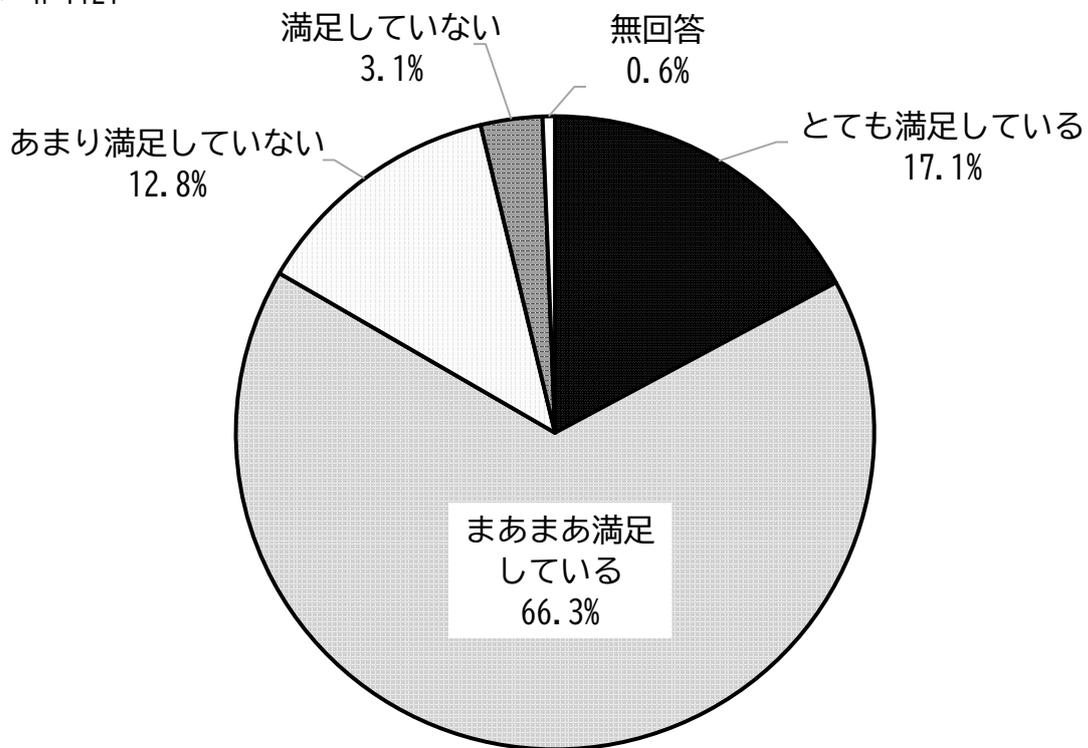
1 公共交通について

(1) 公共交通網の満足度

問1 大田区内の公共交通網に満足していますか。(1つのみ)

公共交通網の満足度については、「とても満足している」、「まあまあ満足している」の合計値《満足している》が83.4%、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》が15.9%となっており、《満足している》が67.5ポイント上回っている。

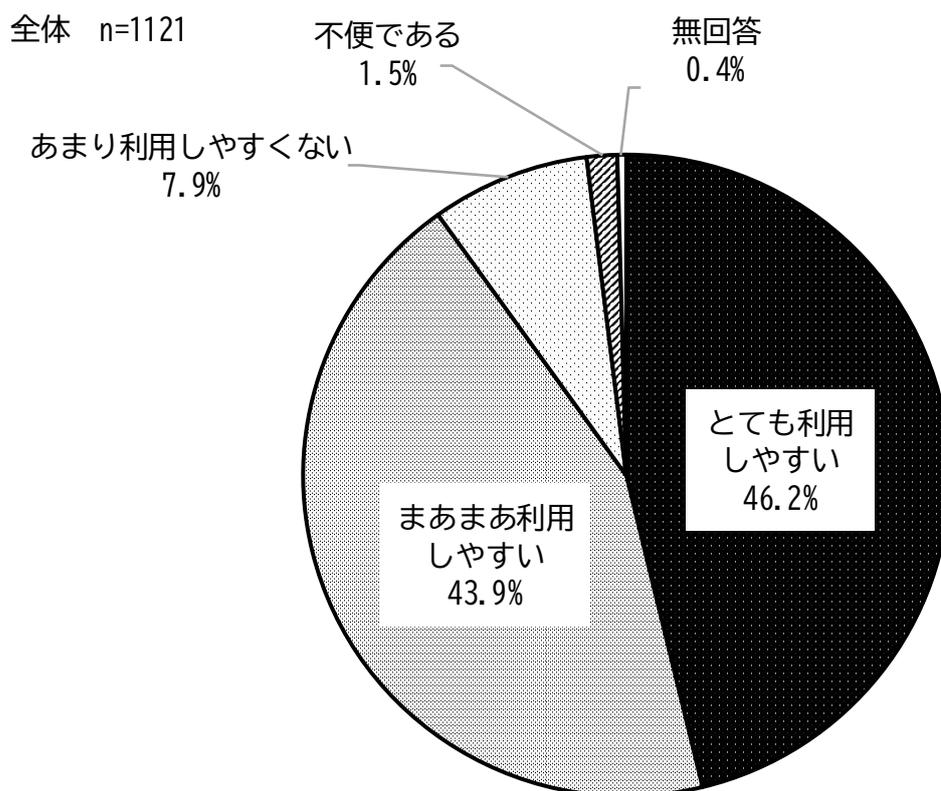
全体 n=1121



(2) 公共交通機関の利用しやすさ

問2 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(1つのみ)

公共交通の利用しやすさについては、「とても利用しやすい」、「まあまあ利用しやすい」の合計値《利用しやすい》が90.1%、「あまり利用しやすくない」、「不便である」の合計値《利用しやすくない》が9.5%となっており、《利用しやすい》が80.6ポイント上回っている。

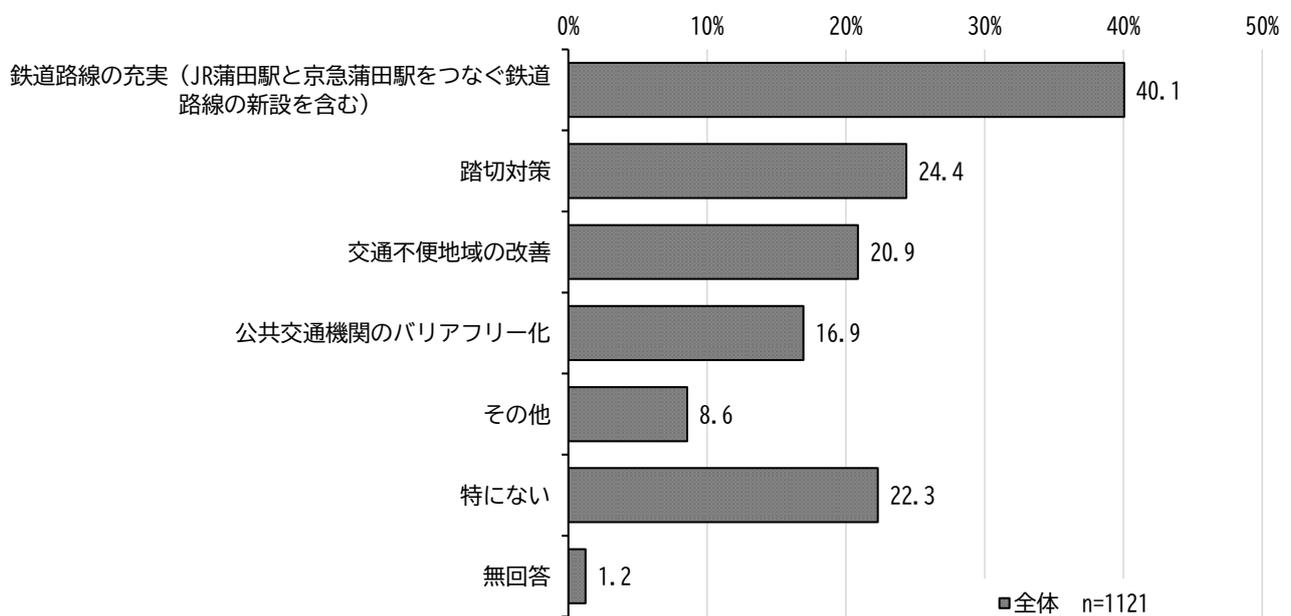


(3) 早期実現を望む大田区内の公共交通対策

問3 大田区内の公共交通対策の中で、早期に実現してほしいものはありますか。(複数選択可)

早期実現を望む大田区内の公共交通対策については、「鉄道路線の充実（JR蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の 신설を含む）」が40.1%で最も高く、次いで「踏切対策」が24.4%、「交通不便地域の改善」が20.9%、「公共交通機関のバリアフリー化」が16.9%となっている。

なお、「特にない」は22.3%となっている。

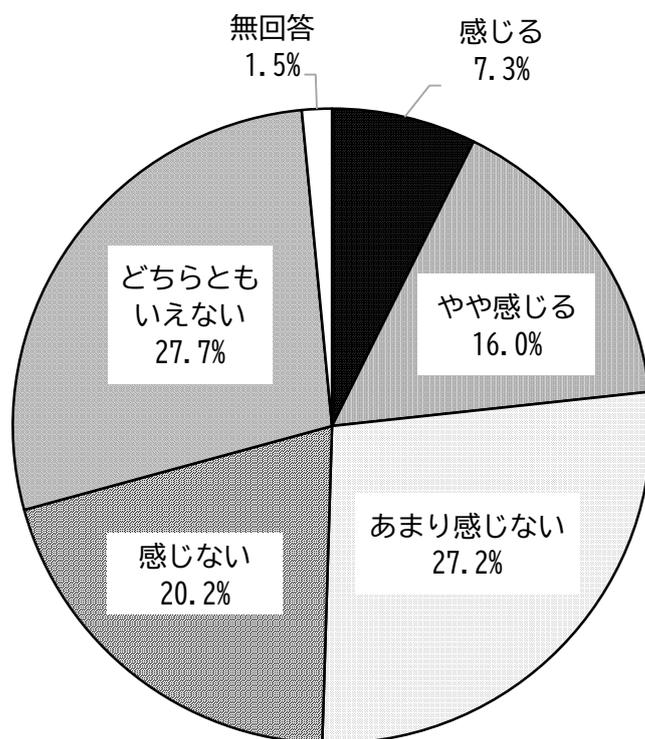


(4) 空港臨海部の埋立島部への訪れやすさ

問4 バス、車、自転車等で空港臨海部の埋立島部（平和島、昭和島、京浜島、東海、城南島、令和島）へ訪れやすくなったと感じますか。該当するものを選択してください。（1つのみ）

空港臨海部の埋立島部への訪れやすさについては、《感じる》（「感じる」、「やや感じる」の合計値）が23.3%、《感じない》（「あまり感じない」、「感じない」の合計値）が47.5%となっており、《感じる》が24.2ポイント上回っている。

全体 n=1121



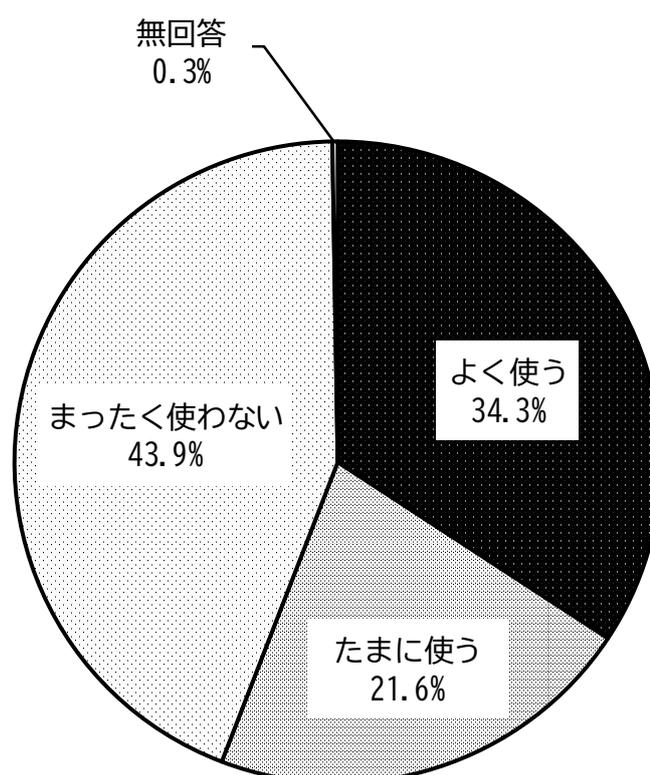
2 自転車について

(1) 自転車の利用状況

問5 普段から自転車を使いますか。(1つのみ)

自転車の利用状況は、「まったく使わない」が43.9%で最も高く、次いで「よく使う」が34.3%、「たまに使う」が21.6%となっている。

全体 n=1121



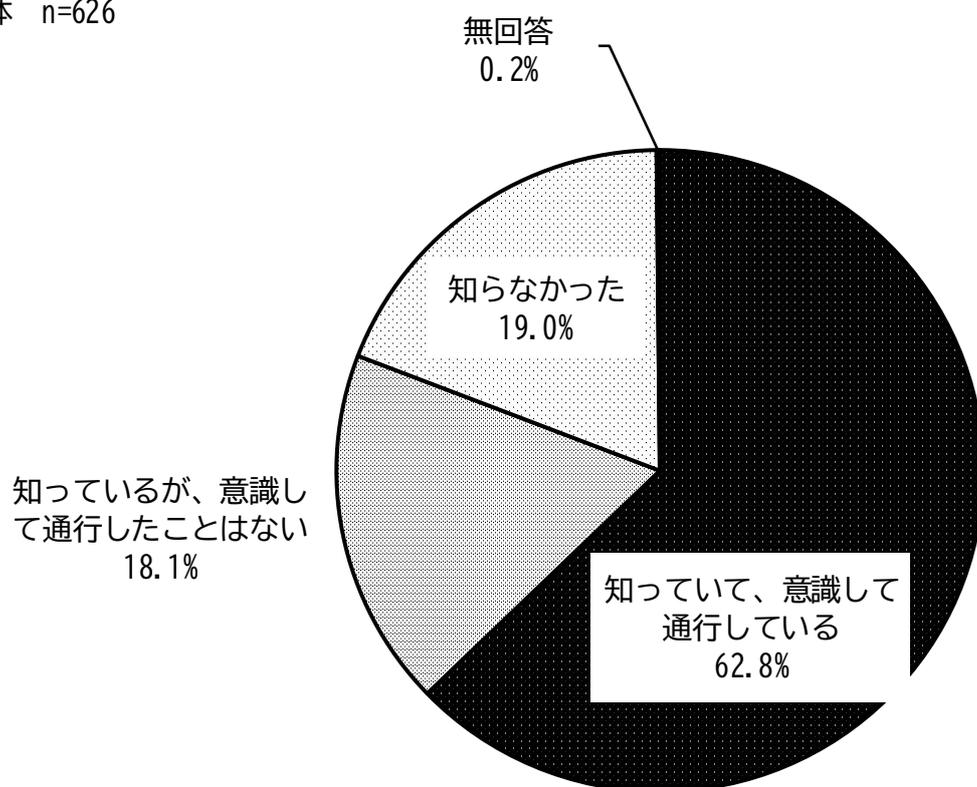
(2) 自転車ナビマーク・ナビラインの認知度

【問5で「1よく使う」「2たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-1 自転車の通行場所や進行方向を示す「自転車ナビマーク・ナビライン¹」を知っていますか。(1つのみ)

自転車ナビマーク・ナビラインの認知度については、「知っている、意識して通行している」が62.8%で最も高く、次いで「知っているが、意識して通行したことはない」が18.1、「知らなかった」が19.0%となっている。

全体 n=626



¹ 道路上に設置された白い自転車のマークや青い矢羽根型路面標示

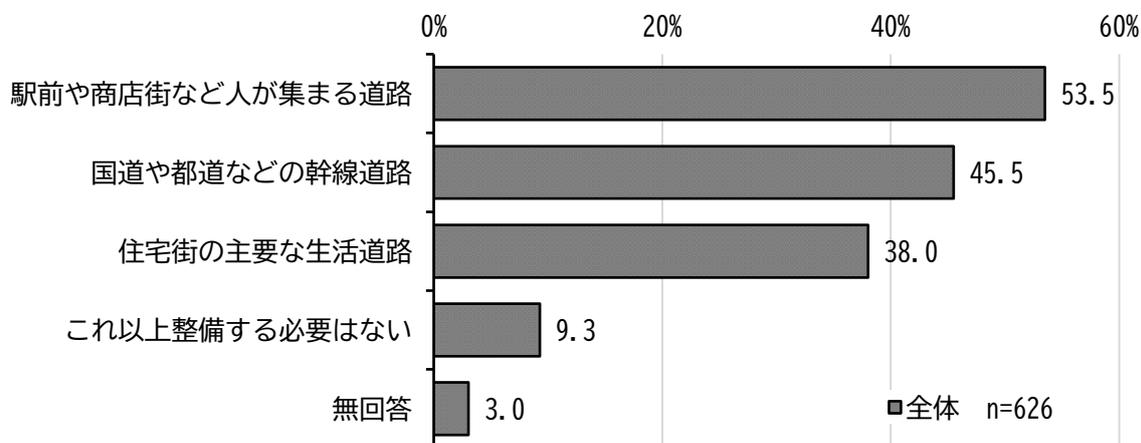
(3) 自転車走行環境を充実してほしい道路

【問5で「1よく使う」「2たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-2 今後自転車レーンや自転車ナビマーク・ナビラインなどの自転車走行環境をさらに充実してほしい道路はどのような道路ですか。(複数選択可)

自転車走行環境の充実希望道路については、「駅前や商店街など人が集まる道路」が53.5%で最も高く、次いで「国道や都道などの幹線道路」が45.5%、「住宅街の主要な生活道路」が38.0%となっている。

なお、「これ以上整備する必要はない」は9.3%となっている。

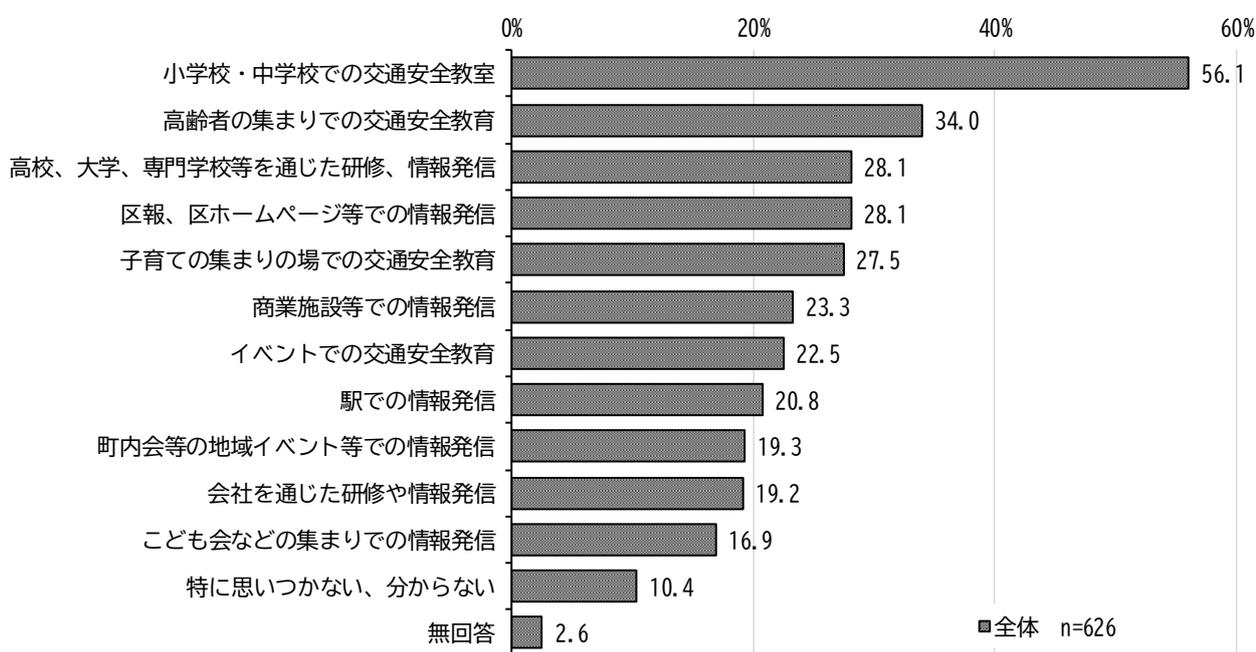


(4) 交通ルールやマナーを学ぶ機会

【問5で「1よく使う」「2たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-3 ご自身や周囲の方が自転車の交通ルールやマナーを学ぶにあたって、どのような機会があると良いと思いますか。(複数選択可)

交通ルールやマナーを学ぶ機会については、「小学校・中学校での交通安全教室」が56.1%で最も高く、次いで「高齢者の集まりでの交通安全教育」が34.0%、「高校、大学、専門学校等を通じた研修、情報発信」、「区報、区ホームページ等での情報発信」が28.1%となっている。



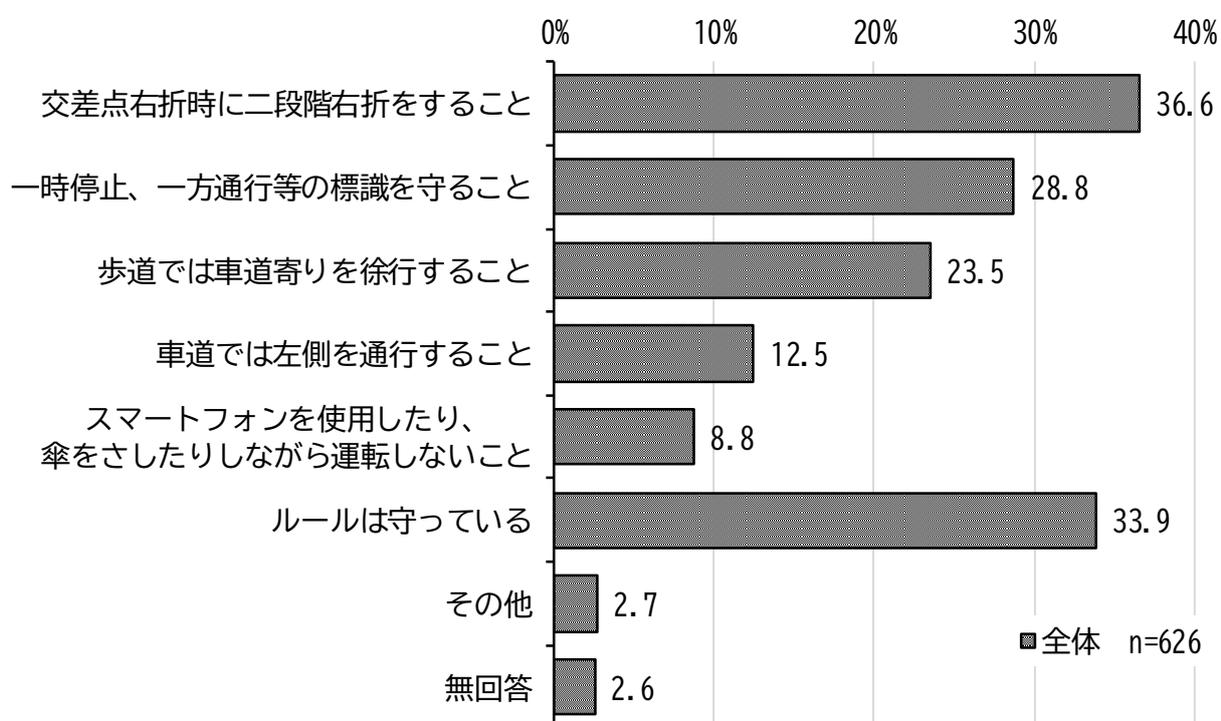
(5) 自身が守れていない交通ルール

【問5で「1よく使う」「2たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-4 自転車に乗るときにご自身が守れていないと思う交通ルールはありますか。
(複数選択可)

自身が守れていない交通ルールは、「交差点右折時に二段階右折をすること」が36.6%で最も高く、次いで「一時停止、一方通行等の標識を守ること」が28.8%、「歩道では車道寄りを徐行すること」が23.5%となっている。

「ルールは守っている」は33.9%となっている。



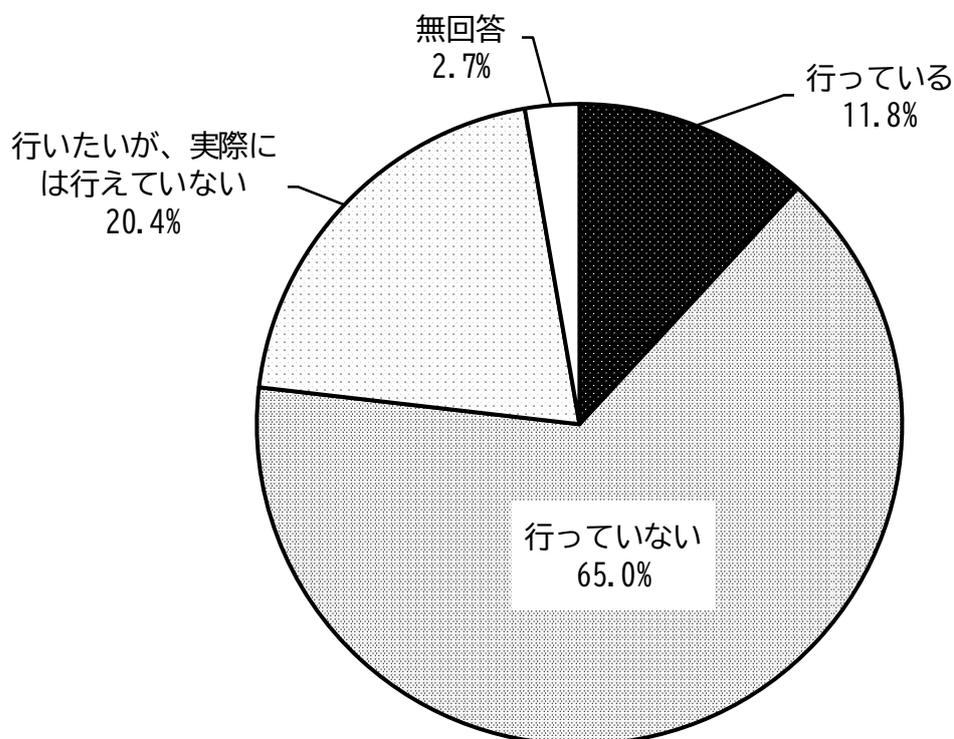
(6) サイクリングやサイクルスポーツの実施状況

【問5で「1よく使う」「2たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-5 休日などの余暇時間があるときにサイクリングやサイクルスポーツを行っていますか。
(1つのみ)

サイクリングやサイクルスポーツの実施状況については、「行っていない」が65.0%で最も高く、次いで「行いたいですが、実際には行えていない」が20.4%、「行っている」が11.8%となっている。

全体 n=626



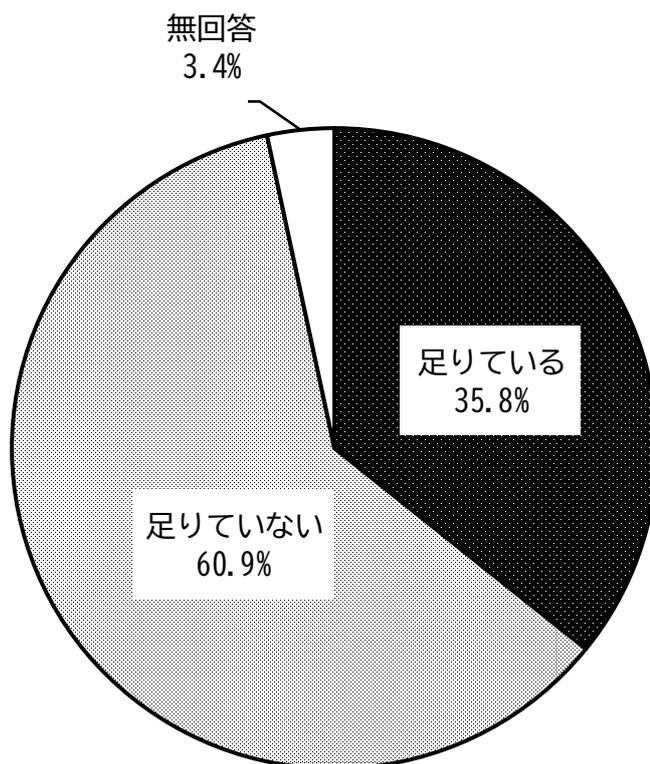
(7) 自転車駐輪場の充足

【問5で「1よく使う」「2たまに使う」と回答した方に伺います。】

問5-6 大田区内の駅周辺に設置されている自転車駐輪場の数は足りていると感じますか。
(1つのみ)

駐輪場不足の有無は、「足りていない」が60.9%で、「足りている」が35.8%となっている。

全体 n=626

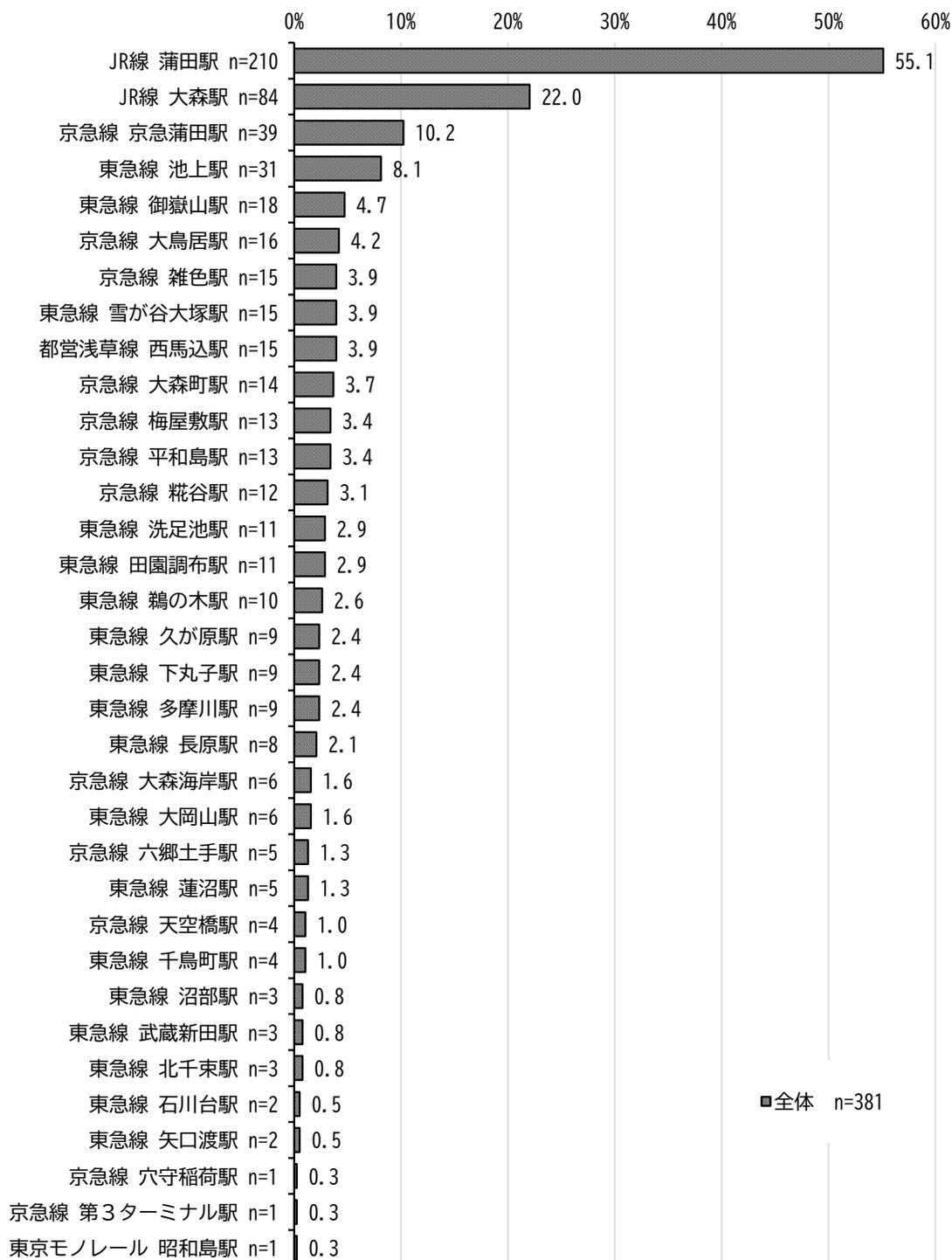


(8) 自転車駐輪場が不足していると感じる駅

【問5-6で「2足りていない」と回答した方に伺います。】

問5-7 どの駅周辺で不足していると感じますか。(最大3つまで記入してください)

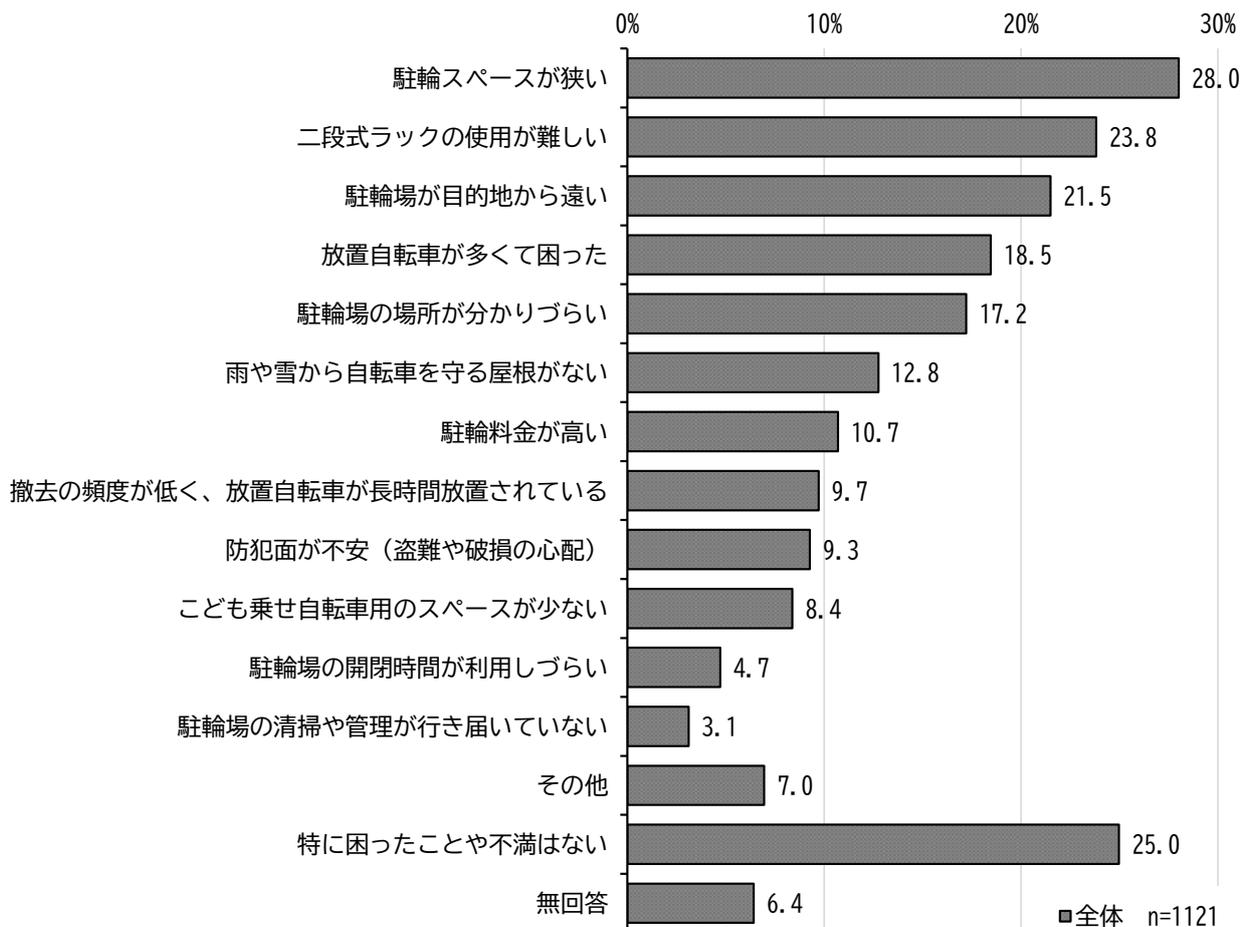
駐輪場が不足している駅は、「JR線 蒲田駅」が55.1%で最も高く、次いで「JR線 大森駅」が22.0%、「京急線 京急蒲田駅」が10.2%となっている。



(9) 自転車の駐輪や放置自転車に関する困りごとや不満

問6 自転車の駐輪や放置自転車に関して、あなたが経験した困りごとや不満に思うことはありますか。(複数選択可)

駐輪や放置自転車に関する困りごとや不満については、「駐輪スペースが狭い」が28.0%で最も高く、次いで「二段式ラックの使用が難しい」が23.8%、「駐輪場が目的地から遠い」が21.5%となっている。

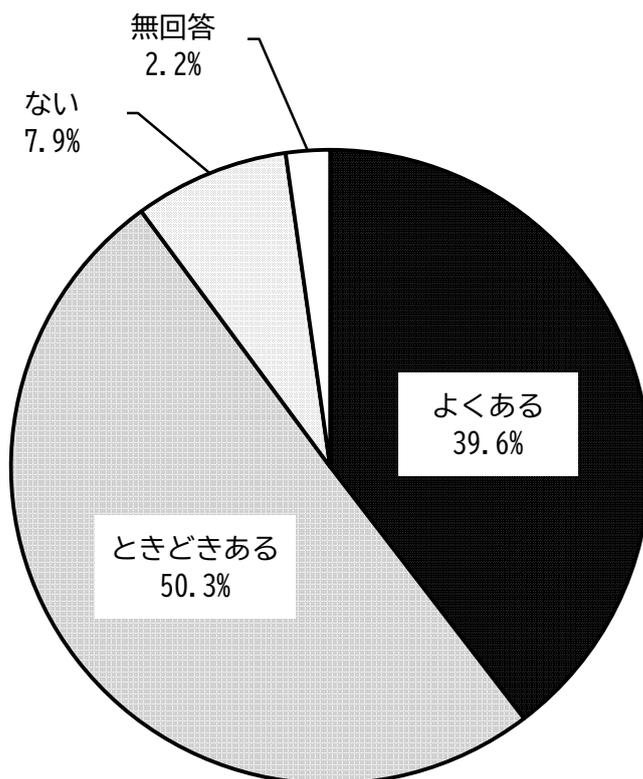


(10) 自転車走行時に危険を感じた経験の有無

問7 他の人が乗る自転車に対して「怖い」と思ったことや、「ヒヤリ」とした経験はありますか。自分が車に乗車中または歩きの場合も含めてご回答ください。(1つのみ)

自転車走行時に危険を感じた経験の有無については、「よくある」、「ときどきある」の合計値《ある》が89.9%で、《ない》が7.9%と、《ある》が82.0ポイント上回っている。

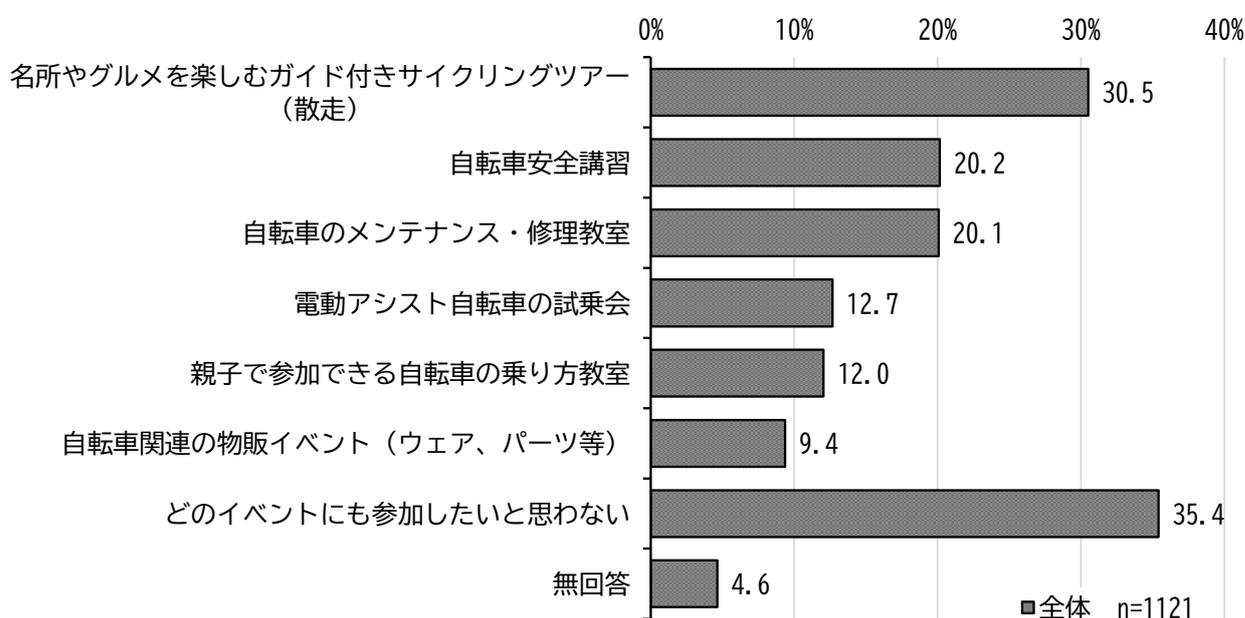
全体 n=1121



(11) 新たなサイクリング拠点におけるイベント参加意向

問8 大田区では、令和10年度に羽田にサイクリング拠点²の設置を目指しています。この拠点で開催されるとしたら、どのようなイベントに参加したいと思いますか。(複数選択可)

新たなサイクリング拠点のイベント参加意向については、「どのイベントにも参加したいと思わない」が35.4%で最も高くなっている。一方、具体的なイベントの種類別では、「名所やグルメを楽しむガイド付きサイクリングツアー(散走)」が30.5%で最も高く、次いで「自転車安全講習」が20.2%となっている。



² 令和10年に開園予定の羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園に整備を予定しているサイクルステーション。

国内外のサイクリストの受け入れや、自転車イベントの実施、魅力的な情報発信など自転車活用の拠点となる施設

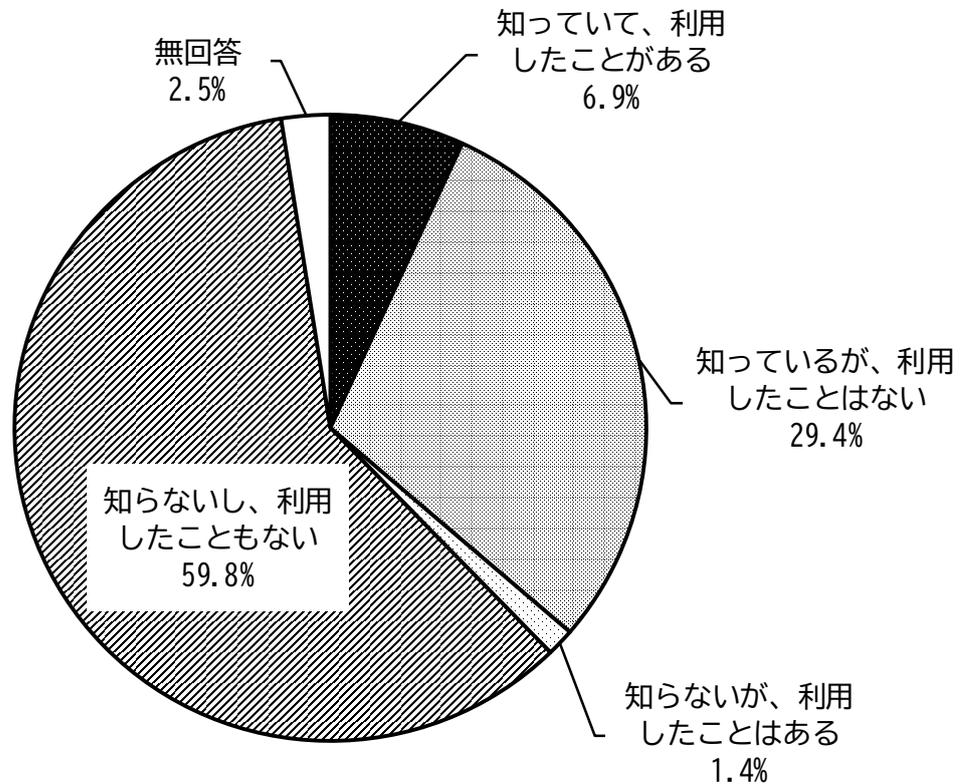
(12) 大田区コミュニティサイクルの認知度

問9 大田区ではシェアサイクルを「大田区コミュニティサイクル³」として展開していることを知っていますか。また利用したことはありますか。(1つのみ)

大田区コミュニティサイクルの認知度については、「知っている、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》が36.3%となっている。一方、「知らないが、利用したことはある」、「知らないし、利用したこともない」の合計値《知らない》が61.2%と、《知らない》が24.9ポイント上回っている。

なお、認知にかかわらず《利用したことがある》（「知っている、利用したことがある」、「知らないが、利用したことはある」の合計値）は8.3%となっている。

全体 n=1121



³ 大田区の事業として、株式会社ドコモ・バイクシェアが運営する赤色のシェアサイクル

3 共生社会について

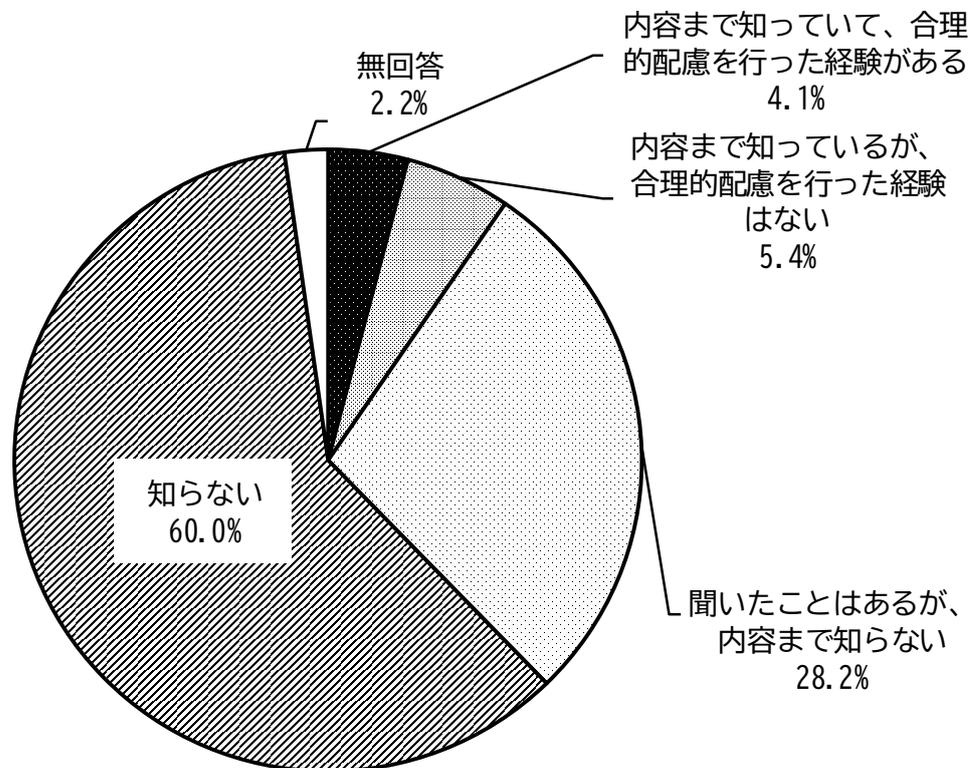
(1) 「障害者差別解消法」の認知度

問10 障がいのある人もない人も、お互いにその人らしさを認めあいながら、ともに生きる社会づくりをめざして、平成28年4月に、いわゆる「障害者差別解消法」が施行され、令和6年4月には、改正法が施行されました。この法律を知っていますか。(1つのみ)

「障害者差別解消法」の認知度については、「知らない」が60.0%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容まで知らない」が28.2%、「内容まで知っているが、合理的配慮を行った経験はない」が5.4%となっている。

なお、「内容まで知っていて、合理的配慮を行った経験がある」は4.1%となっている。

全体 n=1121

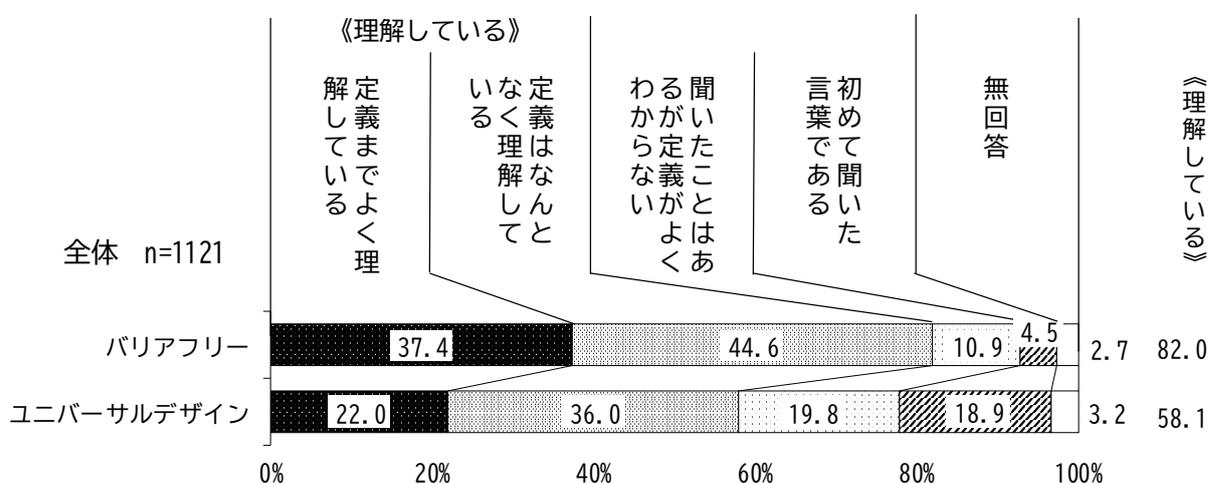


(2) 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度

問11 「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。
(それぞれ1つのみ)

「バリアフリー」の認知度は、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》が82.0%で、そのうち「定義までよく理解している」は37.4%となっている。

「ユニバーサルデザイン」の認知度は、《理解している》が58.1%で、そのうち「定義までよく理解している」は22.0%となっている。

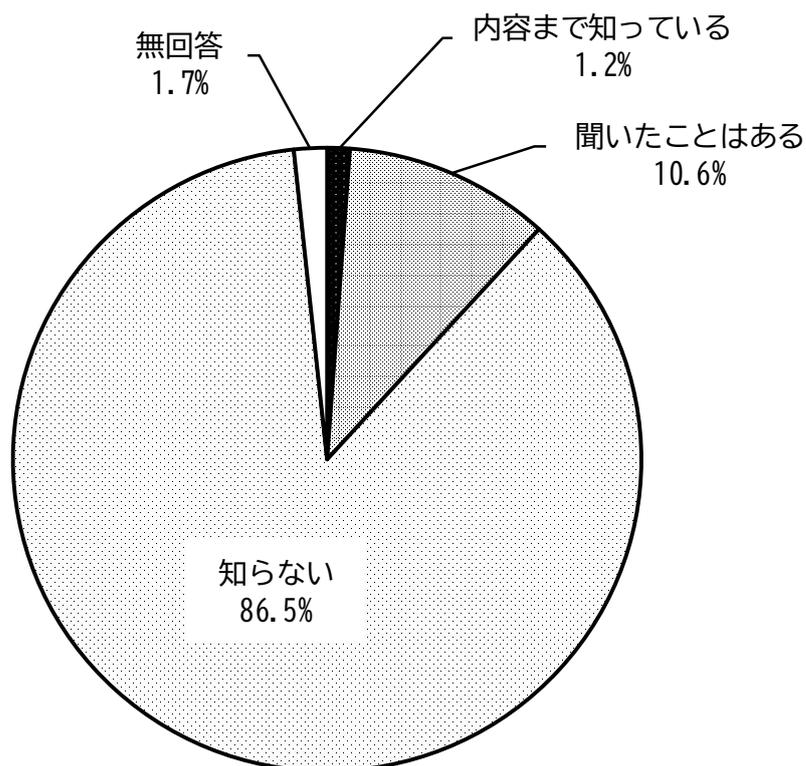


(3) 「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」の認知度

問 12 「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例⁴」を知っていますか。(1つのみ)

「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」の認知度については、「知らない」が86.5%で最も高く、次いで「聞いたことはある」が10.6%、「内容まで知っている」が1.2%となっている。

全体 n=1121



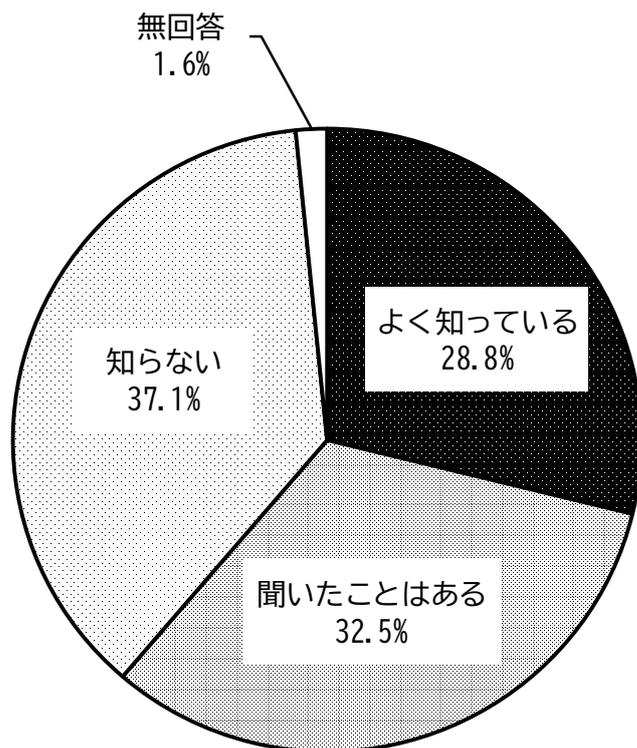
⁴ 手話が言語であることへの理解を促進するとともに、それぞれの障がい特性に応じた意思疎通手段の利用を促進することにより、障がいの有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する地域社会の実現をめざして制定した条例

(4)「ヘルプカード（たすけてねカード）」の認知度

問13 「ヘルプカード（たすけてねカード）⁵」を知っていますか。（1つのみ）

「ヘルプカード（たすけてねカード）」の認知度については、「知らない」が37.1%で最も高く、次いで「聞いたことはある」が32.5%、「よく知っている」が28.8%となっている。

全体 n=1121



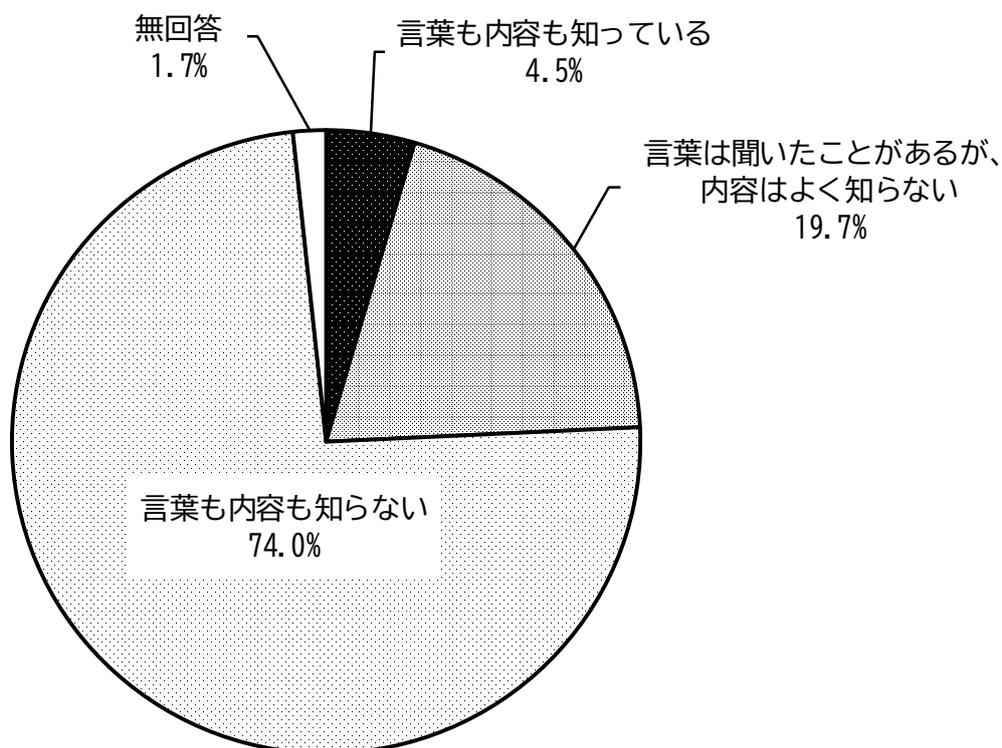
⁵ 障がいのある方などが緊急時に手助けを求めるためのカード（大田区作成）

(5) 「新しい認知症観」の認知度

問 14 「新しい認知症観⁶」という言葉聞いたことはありますか。また、その内容について知っていますか。(1つのみ)

「新しい認知症観」の認知度については、「言葉も内容も知らない」が74.0%で最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が19.7%、「言葉も内容も知っている」が4.5%となっている。

全体 n=1121



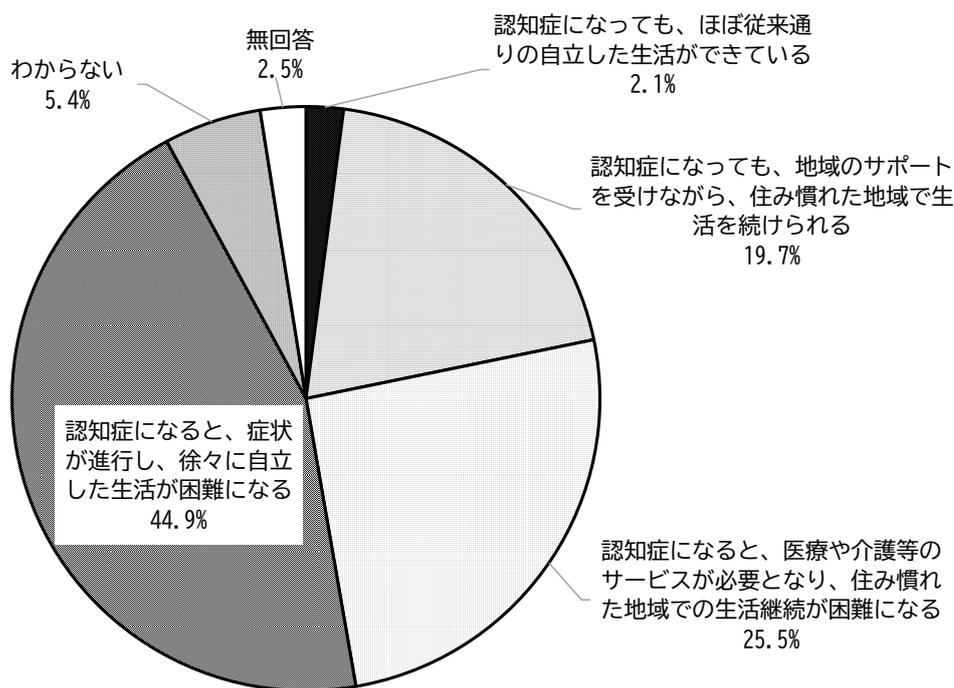
⁶ 『認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる』という考え方

(6) 認知症になった人のイメージ

問 15 認知症になった人について、あなたが最も近いと感じるイメージをご回答ください。
(1つのみ)

認知症になった人のイメージは、「認知症になると、症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる」が44.9%で最も高く、次いで「認知症になると、医療や介護等のサービスが必要となり、住み慣れた地域での生活継続が困難になる」が25.5%、「認知症になっても、地域のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活続けられる」が19.7%となっている。

全体 n=1121

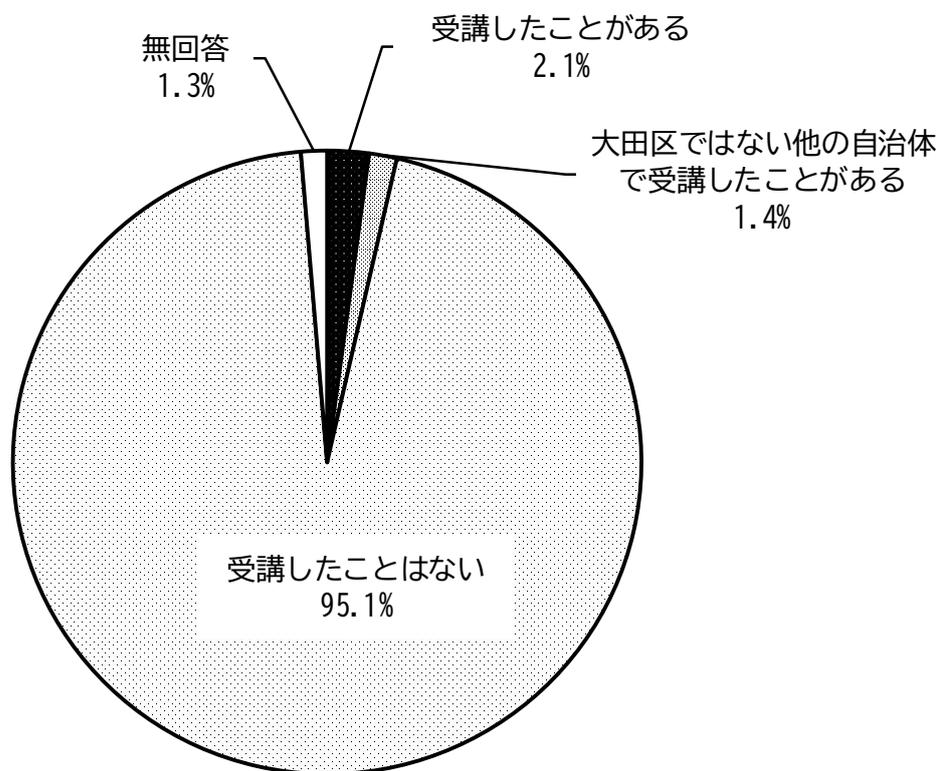


(7)「認知症サポーター養成講座」の受講有無

問 16 区で実施している「認知症サポーター養成講座」を受講したことはありますか。(1つのみ)

「認知症サポーター養成講座」の受講有無については、「受講したことはない」が95.1%で最も高く、次いで「受講したことがある」が2.1%、「大田区ではない他の自治体で受講したことがある」が1.4%となっている。

全体 n=1121

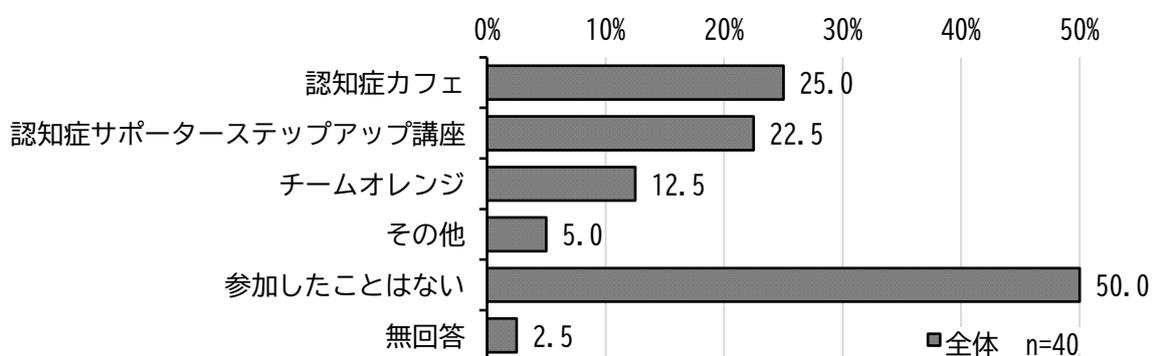


(8)「認知症サポーター養成講座」受講後に参加した取組

【問 16 で「1 受講したことがある」「2 大田区ではない他の自治体で受講したことがある」と回答した方に伺います。】

問 16-1 認知症サポーター養成講座を受講後、区の認知症施策に関する取組として、以下のどれに参加したことがありますか。(複数選択可)

「認知症サポーター養成講座」受講後に参加した取組は、「認知症カフェ」が 25.0%、次いで「認知症サポーターステップアップ講座」が 22.5%、「チームオレンジ」が 12.5%となっている。

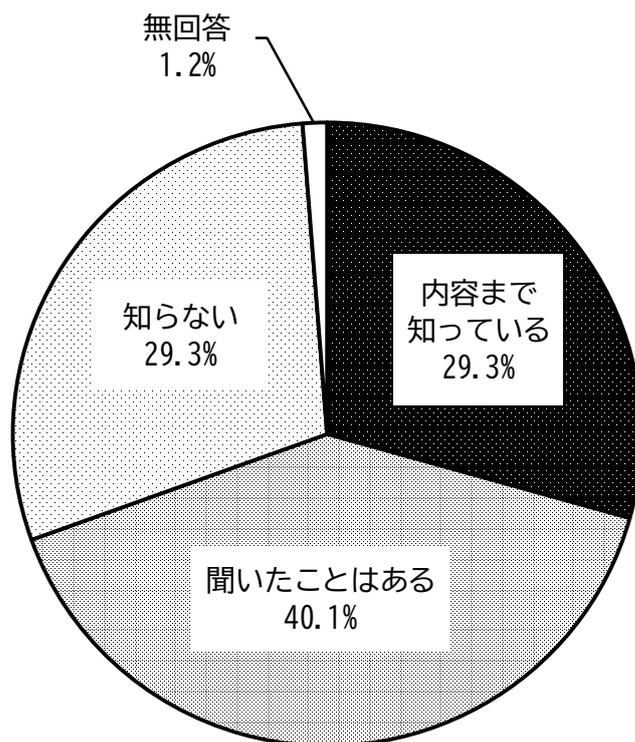


(9) 「成年後見制度」の認知度

問17 「成年後見制度⁷」を知っていますか。(1つのみ)

「成年後見制度」の認知度については、「聞いたことはある」が40.1%で最も高く、次いで「内容まで知っている」が29.3%、「知らない」が29.3%となっている。

全体 n=1121



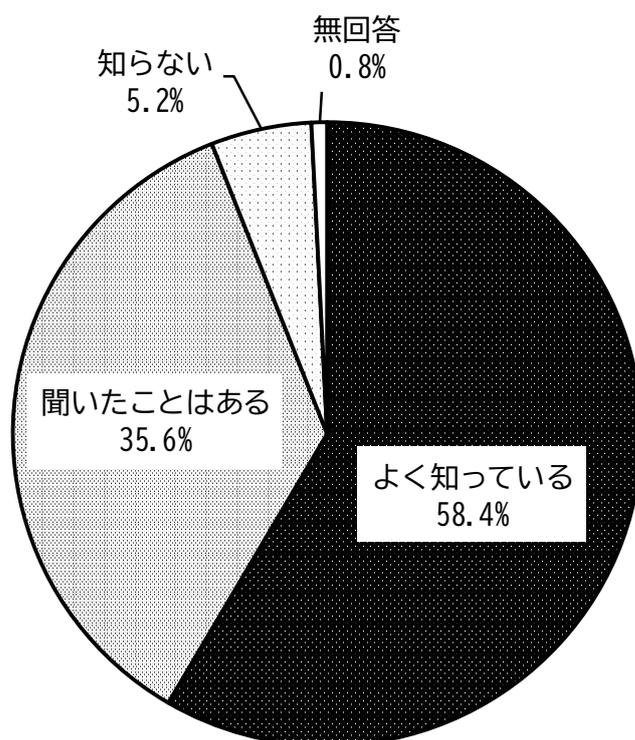
⁷ 認知症・知的障害・精神障害などによって判断能力が不十分な方の支援者を選び、法的に支援する制度

(10) 介護人材不足の認知度

問 18 介護を必要とする高齢者の増加に対して、介護人材が不足していることを知っていますか。(1つのみ)

介護人材不足の認知度については、「よく知っている」が58.4%で最も高く、次いで「聞いたことはある」が35.6%、「知らない」が5.2%となっている。

全体 n=1121

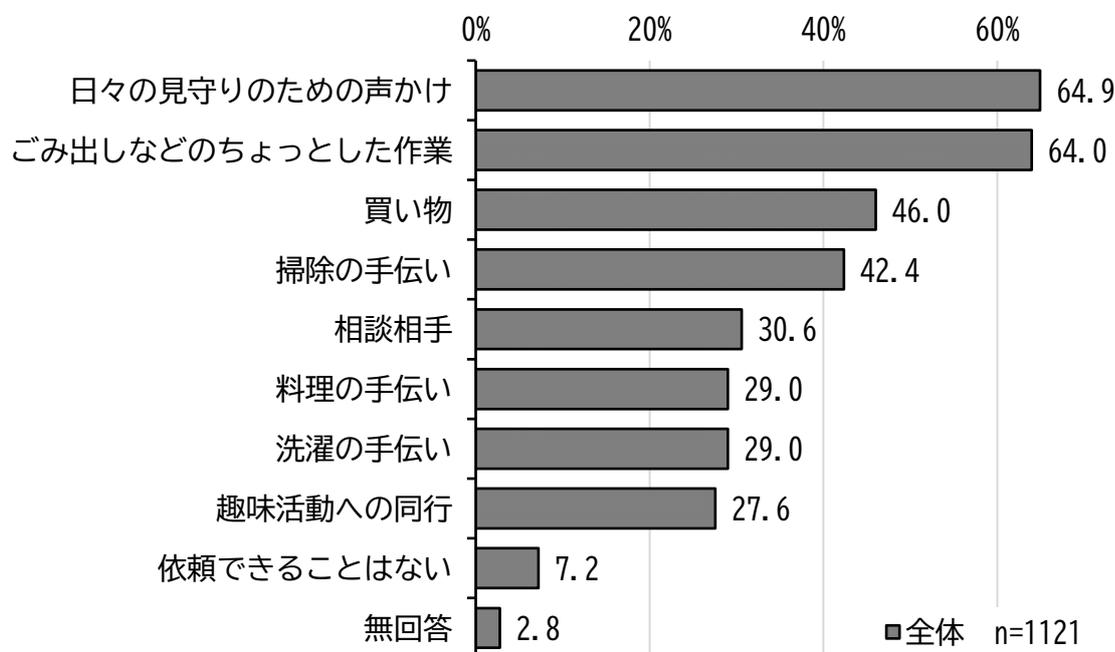


(11) 介護の専門職でないボランティアへの依頼作業

問 19 急速な少子高齢化による現役世代の減少で労働力不足が進んでいます。これにより、今後、ホームヘルパー等介護人材の確保が一層困難になると想定されていますが、あなたやご家族が要支援・要介護認定を受け、介護サービスを利用する場合、介護の専門職でないボランティアに依頼しても良いと思うことは何ですか。(複数選択可)

介護の専門職でないボランティアへの依頼作業については、「日々の見守りのための声かけ」が64.9%で最も高く、次いで「ごみ出しなどのちょっとした作業」が64.0%、「買い物」が46.0%となっている。

なお、「依頼できることはない」は7.2%となっている。

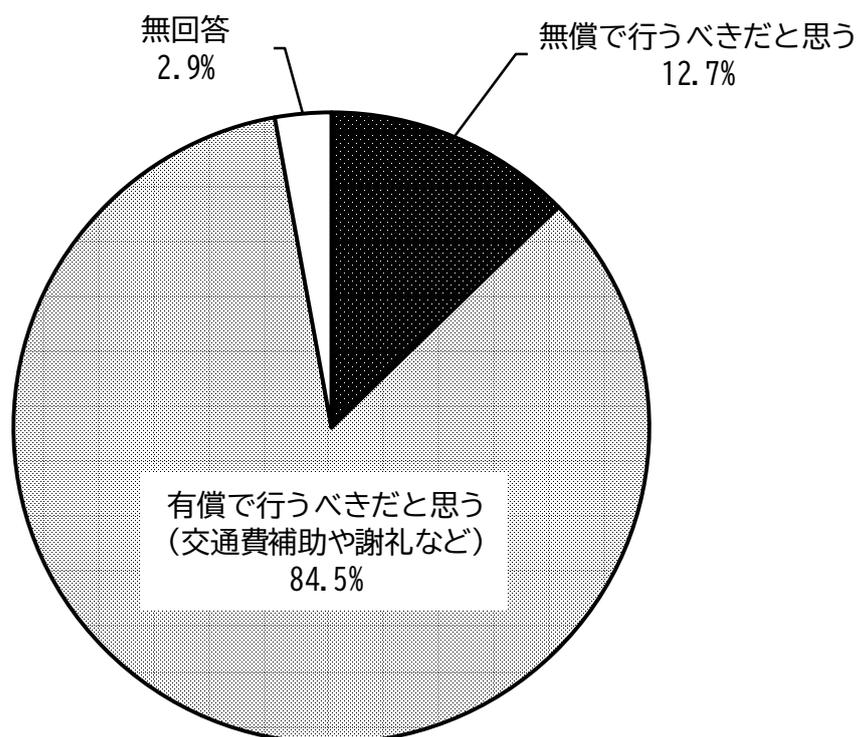


(12) ボランティア活動の対価

問 20 高齢者の生活支援を目的としたボランティア活動について、対価がある場合とない場合のどちらが望ましいと思いますか。(1つのみ)

ボランティア活動の対価の有無については、「有償で行うべきだと思う(交通費補助や謝礼など)」が84.5%で最も高く、次いで「無償で行うべきだと思う」が12.7%となっている。

全体 n=1121

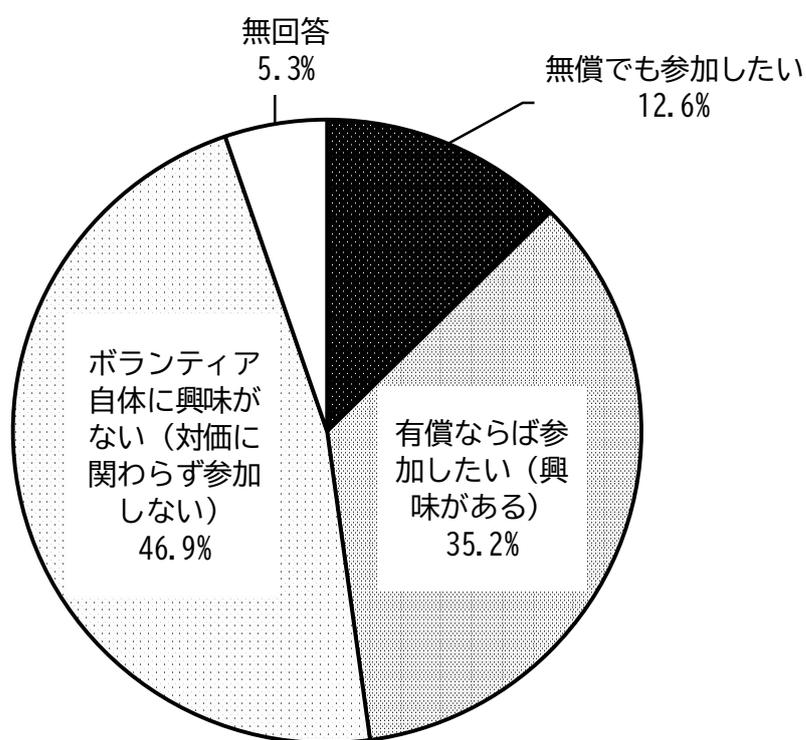


(13) 高齢者の生活を支援するためのボランティア活動

問 21 高齢者の生活を支援するためのボランティア活動に関して、あなたの考えに最も近いものをお選びください。(1つのみ)

ボランティア活動の参加の有無については、「ボランティア自体に興味がない（対価に関わらず参加しない）」が46.9%で最も高く、次いで「有償ならば参加したい（興味がある）」が35.2%、「無償でも参加したい」が12.6%となっている。

全体
n=1121



4 消費者生活センターについて

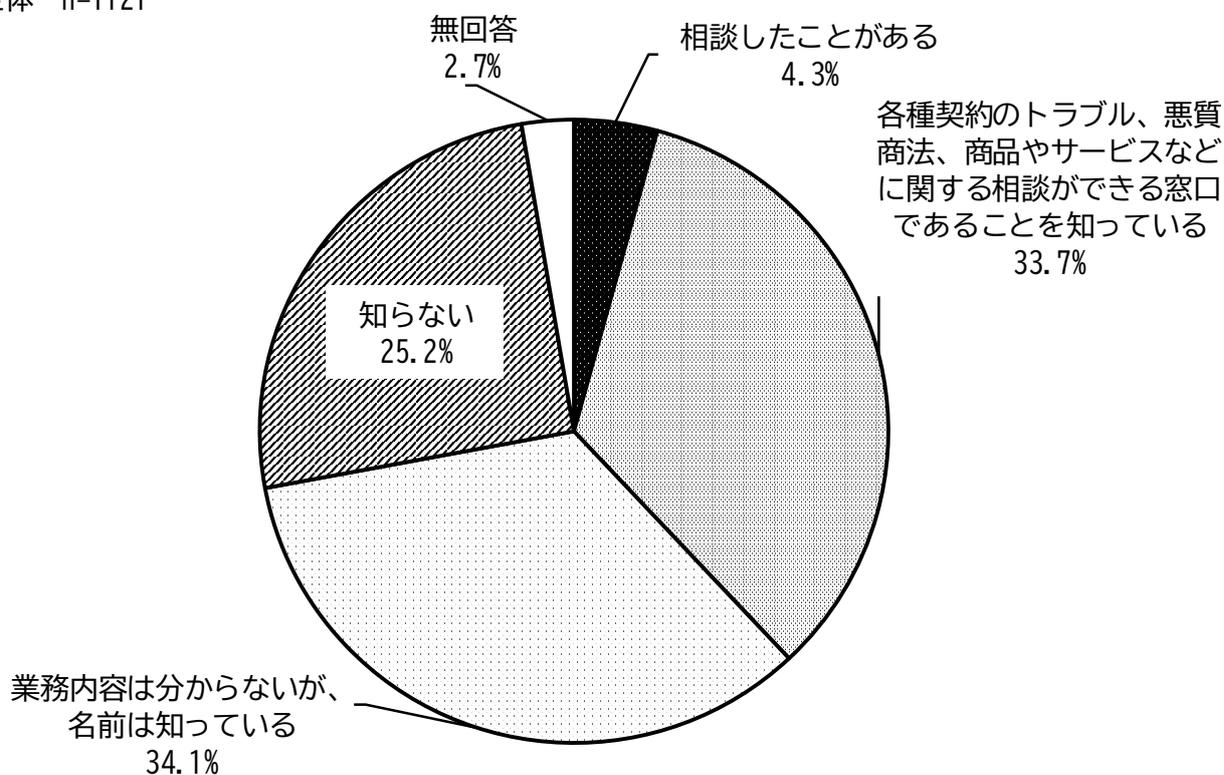
(1) 大田区立消費者生活センターの認知度

問 22 大田区立消費者生活センターを知っていますか。(1つのみ)

大田区立消費者生活センターの認知度については、「業務内容はわからないが、名前は知っている」が34.1%で最も高く、次いで「各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている」が33.7%、「知らない」が25.2%となっている。

なお、「相談したことがある」は4.3%となっている。

全体 n=1121



Ⅲ 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査②

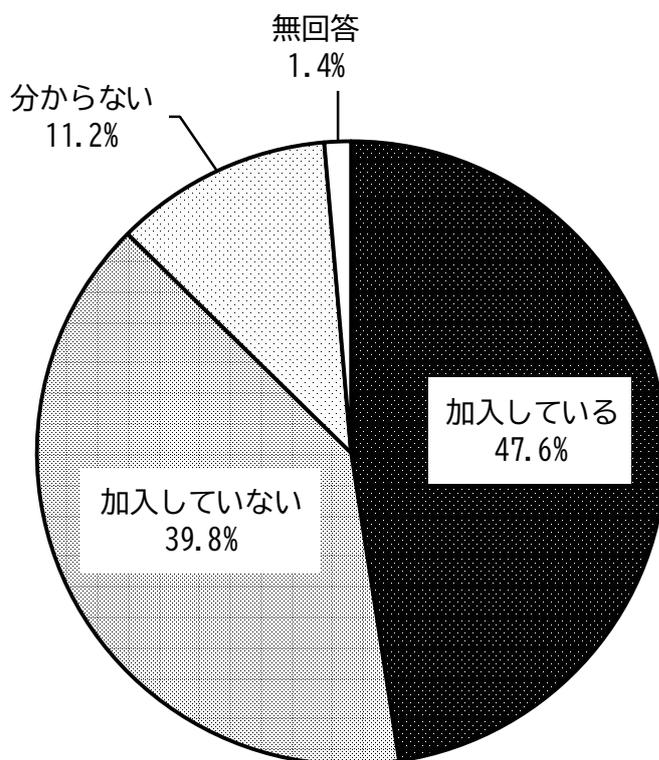
1 地域活動について

(1) 自治会・町会への加入

問1 自治会・町会に加入していますか。(1つのみ)

自治会・町会への加入については、「加入している」が47.6%、「加入していない」が39.8%と、「加入している」が7.8ポイント上回っている。

全体
n=1024

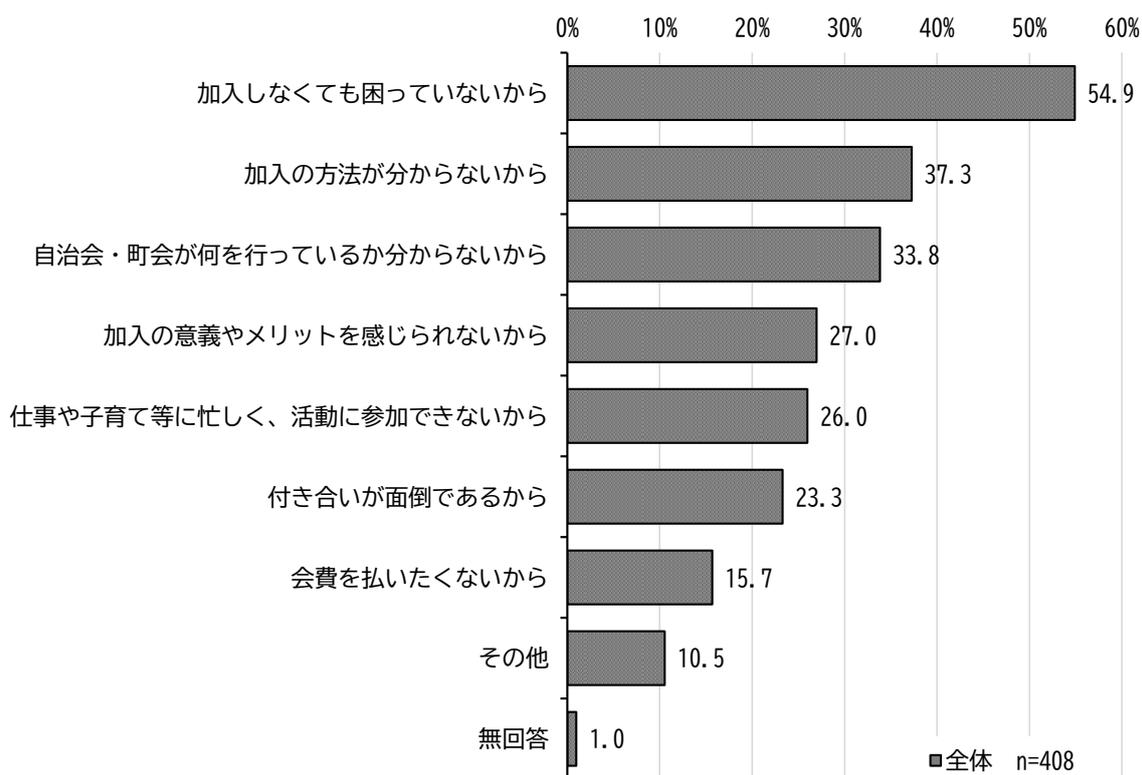


(2) 自治会・町会に加入していない理由

【問1 で「2 加入していない」を回答した方に伺います。】

問1-1 自治会・町会に加入していない理由は何ですか。(複数選択可)

自治会・町会に加入していない理由については、「加入しなくても困っていないから」が54.9%で最も高く、次いで「加入の方法がわからないから」が37.3%、「自治会・町会が何を行っているかわからないから」が33.8%となっている。



2 地域のつながり・見守りについて

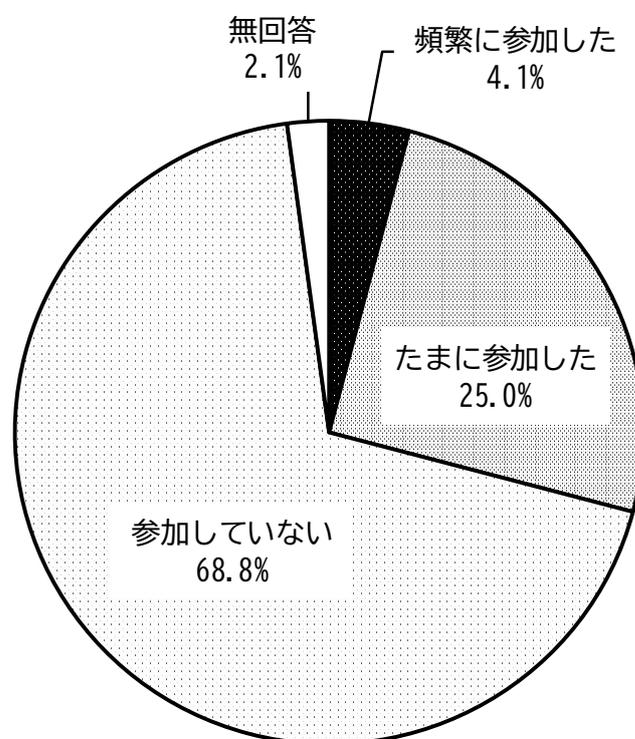
(1) 地域活動の参加状況

問2 この1年間の地域活動（地域のイベントやお祭り、自治会・町会の活動等）への参加状況と今後の参加意向についてご回答ください。（それぞれ1つ）

問2-1 この1年間の参加状況

地域活動のこの1年間の参加状況については、「参加していない」が68.8%で最も高く、次いで「たまに参加した」が25.0%、「頻繁に参加した」が4.1%となっている。

全体 n=1024



(2) 地域活動の今後の参加意向

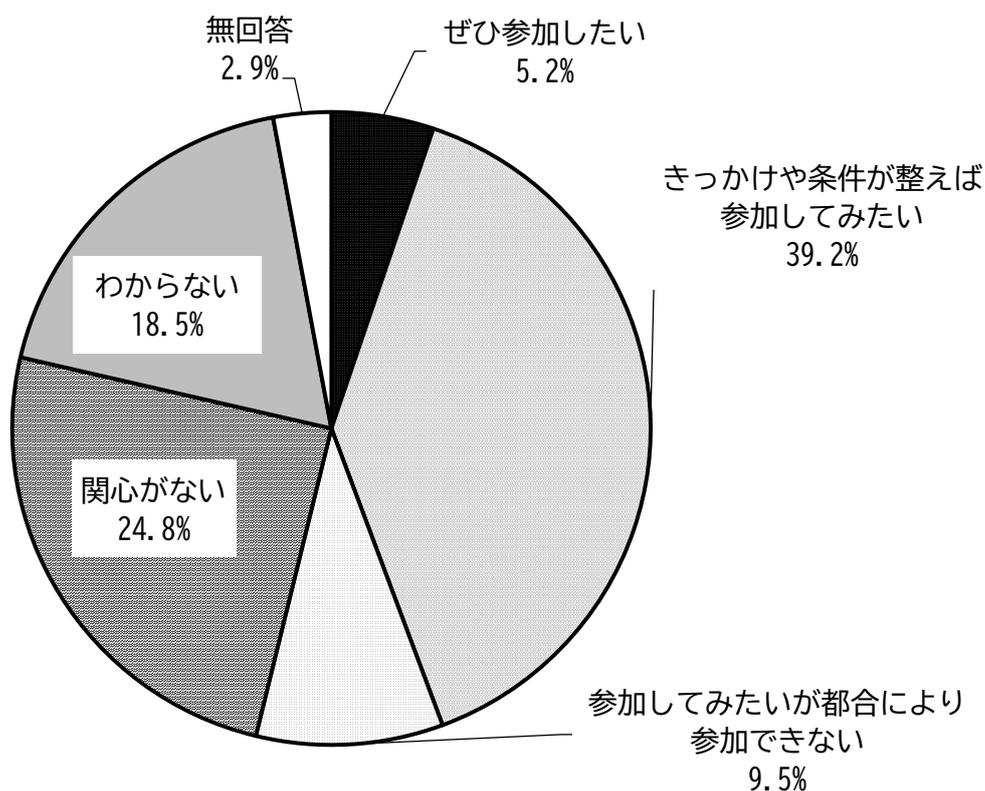
問2 この1年間の地域活動（地域のイベントやお祭り、自治会・町会の活動等）への参加状況と今後の参加意向についてご回答ください。（それぞれ1つ）

問2-2 今後の参加意向

地域活動への今後の参加意向については、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」が39.2%で最も高く、次いで「関心がない」が24.8%、「参加してみたいが都合により参加できない」が9.5%となっている。

「ぜひ参加したい」、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」の合計値《参加したい》が44.3%、「参加してみたいが都合により参加できない」、「関心がない」の合計値《参加しない》が34.3%と《参加したい》が10.0ポイント上回っている。

全体 n=1024

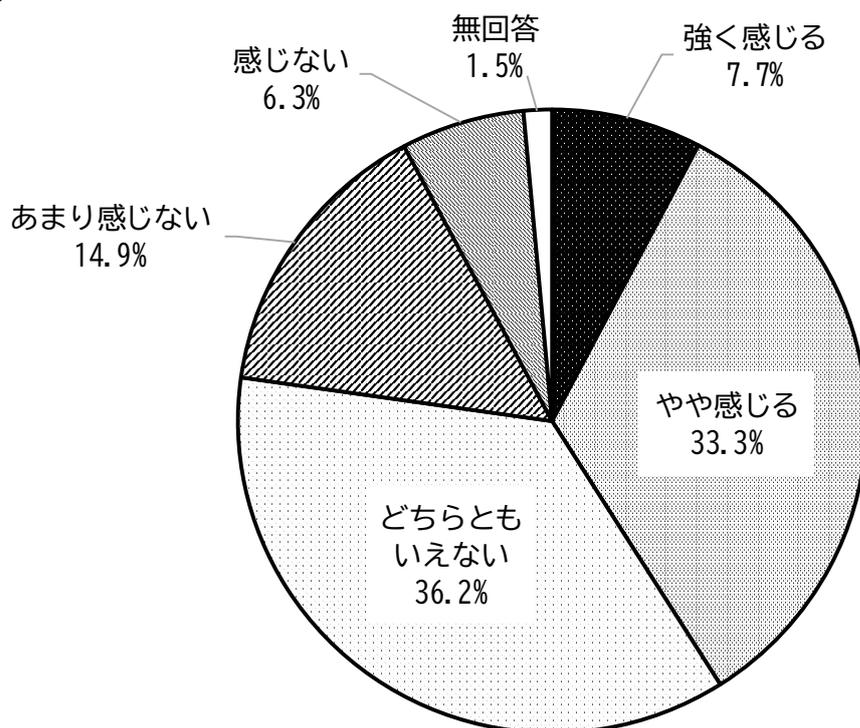


(3) お住まいの地域でのこども・子育て家庭の見守り

問3 お住まいの地域はこども・子育て家庭をあたたく見守っていると感じますか。
(1つのみ)

お住まいの地域でのこども・子育て家庭への見守りについては、「強く感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》は41.0%となっている。一方、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》は21.3%と、《感じる》が19.7ポイント上回っている。

全体 n=1024

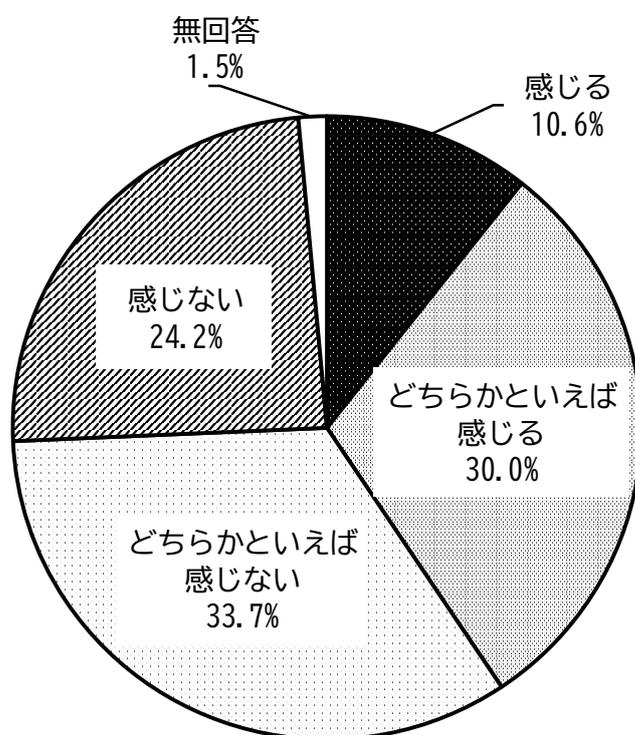


(4) 地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）

問4 日々の暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）を実際に感じるがありますか。（1つのみ）

地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）については、「感じる」、「どちらかといえば感じる」の合計値《感じる》が40.6%となっている。一方、「どちらかといえば感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が57.9%と、《感じる》が17.3ポイント上回っている。

全体 n=1024

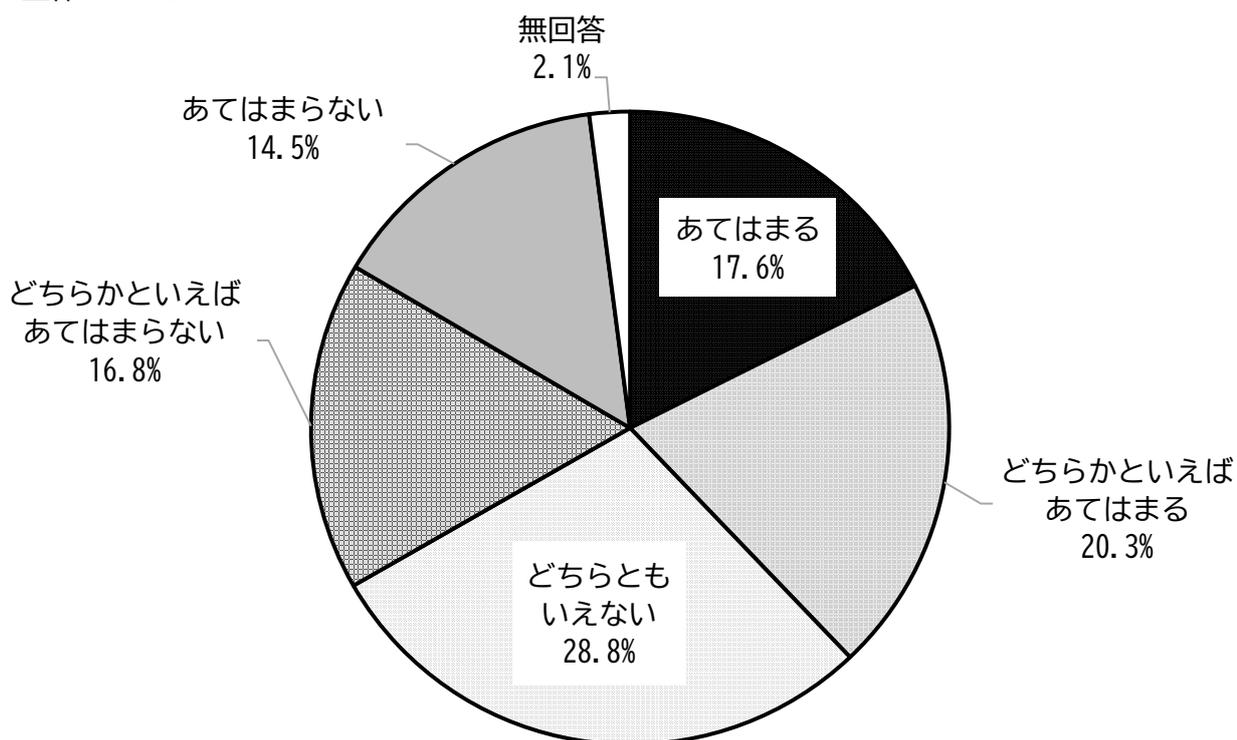


(5) 「孤立感や孤独感」への有無

問5 普段の生活は、「孤立感や孤独感がない」にどの程度あてはまりますか。(1つのみ)

「孤立感や孤独感のなさ」の認識度については、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値《あてはまる》が37.9%となっている。一方、「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計値《あてはまらない》が31.3%と、《あてはまる》が6.6ポイント上回っている。

全体 n=1024

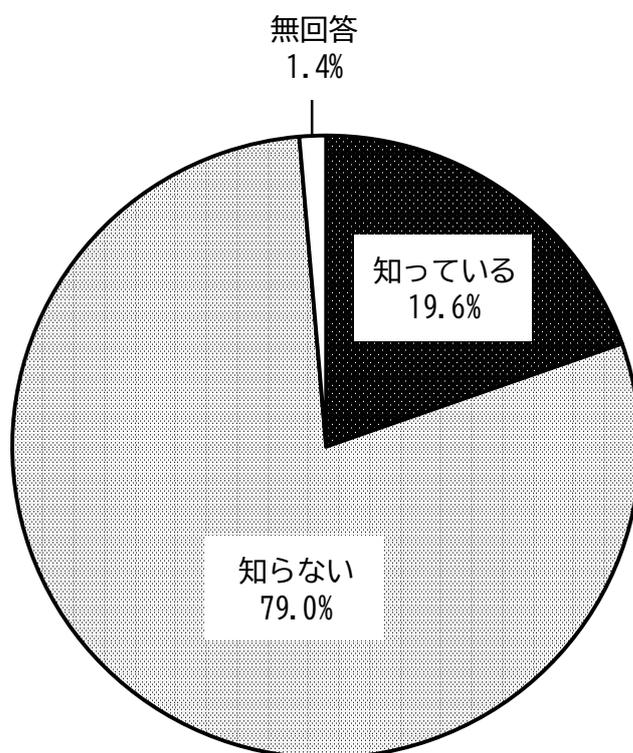


(6) 「大田区DV相談ダイヤル」の認知度

問6 区では、「大田区DV相談ダイヤル」を設置し、配偶者やパートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス=DV⁸)に関する相談を受け付けていることを知っていますか。(1つのみ)

「大田区DV相談ダイヤル」の認知度については、「知っている」が19.6%、「知らない」が79.0%と、「知らない」が59.4ポイント上回っている。

全体 n=1024



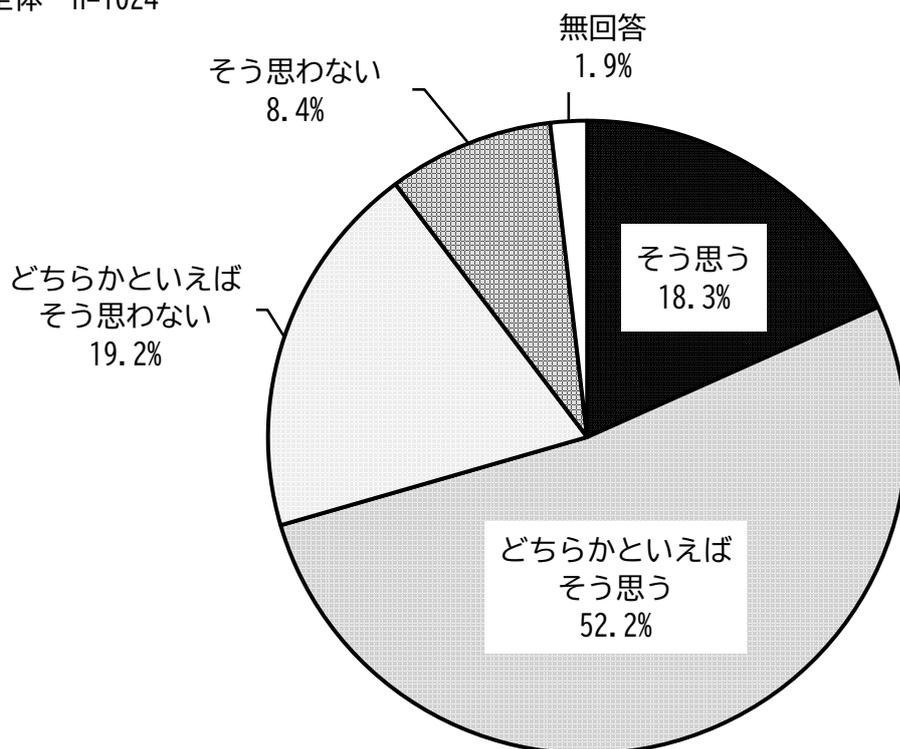
⁸ 配偶者（同居の交際相手も含む）など親密な関係にある者、または以前親密な関係にあった者から振るわれる暴力

(7) 人権が尊重されている社会

問7 今の日本は、人権が尊重されている社会だと思いますか。(1つのみ)

人権が尊重されている社会については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計値《そう思う》が70.5%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」の合計値《そう思わない》が27.6%と、《そう思う》が42.9ポイント上回っている。

全体 n=1024



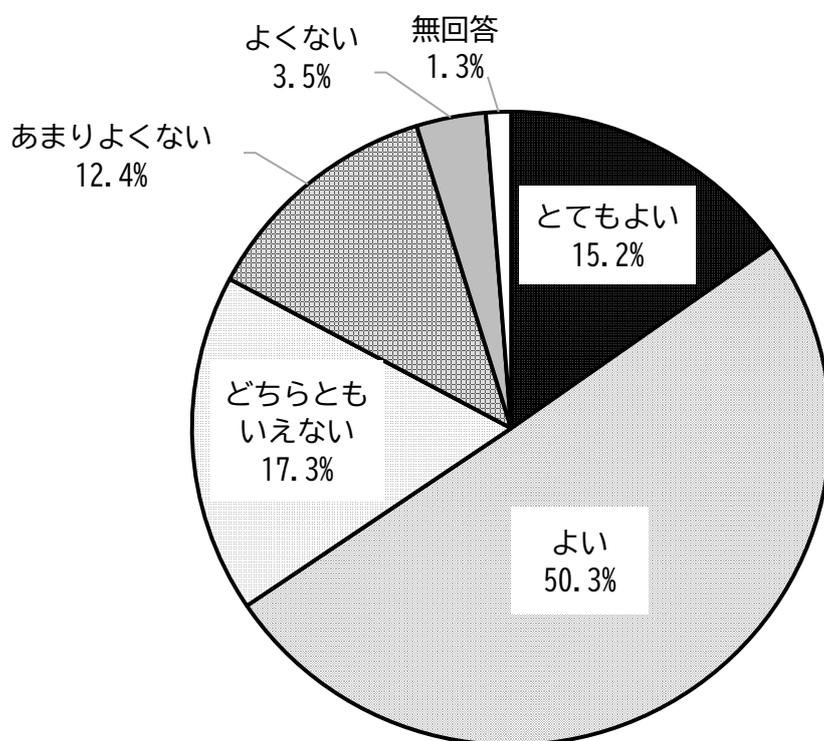
3 健康・医療について

(1) 現在の健康状態

問8 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つのみ)

現在の健康状態については、「とてもよい」、「よい」の合計値《よい》が65.5%となっている。一方、「あまりよくない」、「よくない」の合計値《よくない》が15.9%と、《よい》が49.6ポイント上回っている。

全体
n=1024

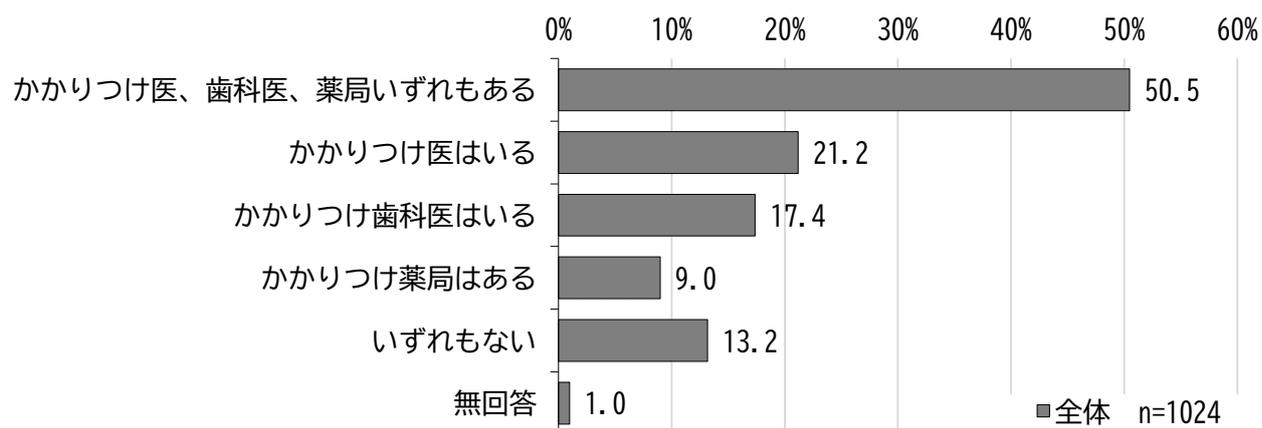


(2) かかりつけの医療機関

問9 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。(複数選択可)

かかりつけの医療機関については、「かかりつけ医、歯科医、薬局いずれもある」が50.5%で最も高く、次いで「かかりつけ医はいる」が21.2%、「かかりつけ歯科医はいる」が17.4%となっている。

「いずれもない」は13.2%となっている。



4 スポーツについて

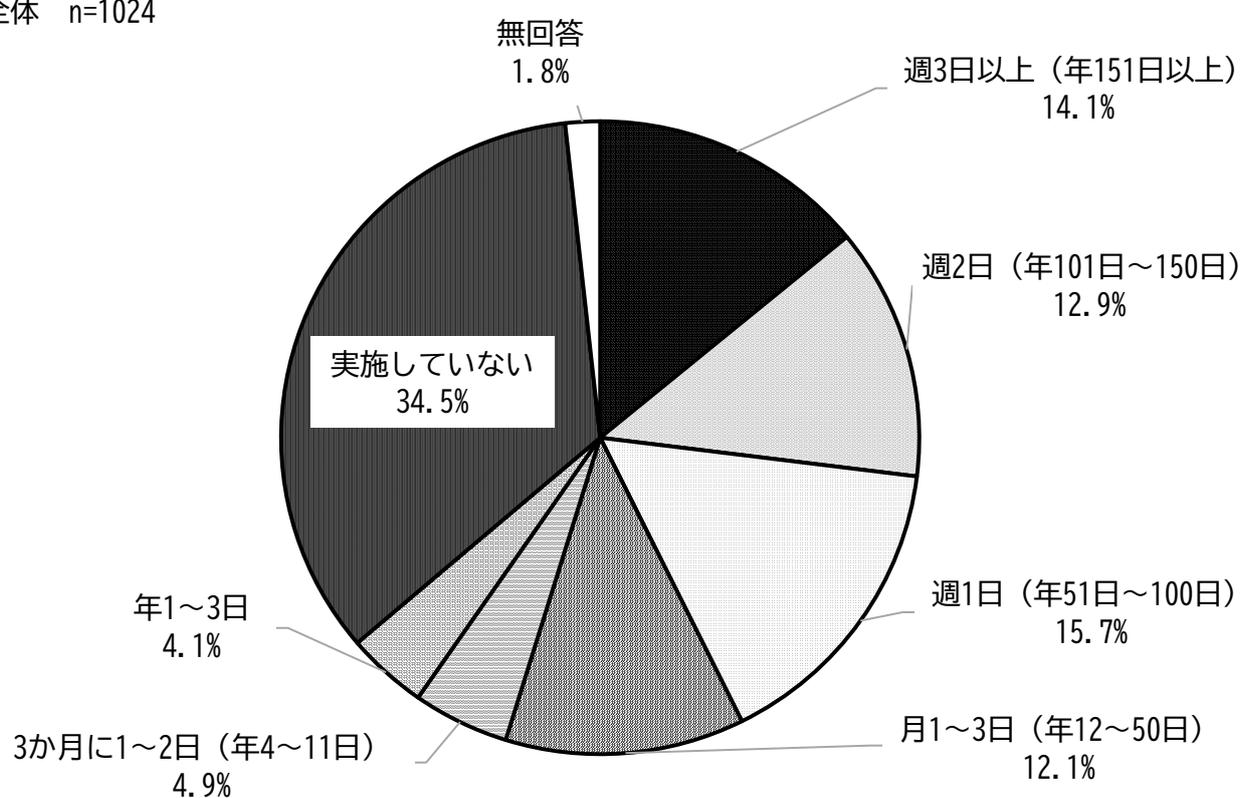
(1) スポーツや運動を実施した頻度

問 10 スポーツや運動を実施した頻度は週どのくらいですか（年間合計日数でも可）。
（1つのみ）

スポーツや運動を実施した頻度については、「週1日（年51～100日）」が15.7%、「週3日以上（年151日以上）」が14.1%、「週2日（年101～150日）」が12.9%となっている。

なお、「実施していない」は34.5%となっている。

全体 n=1024



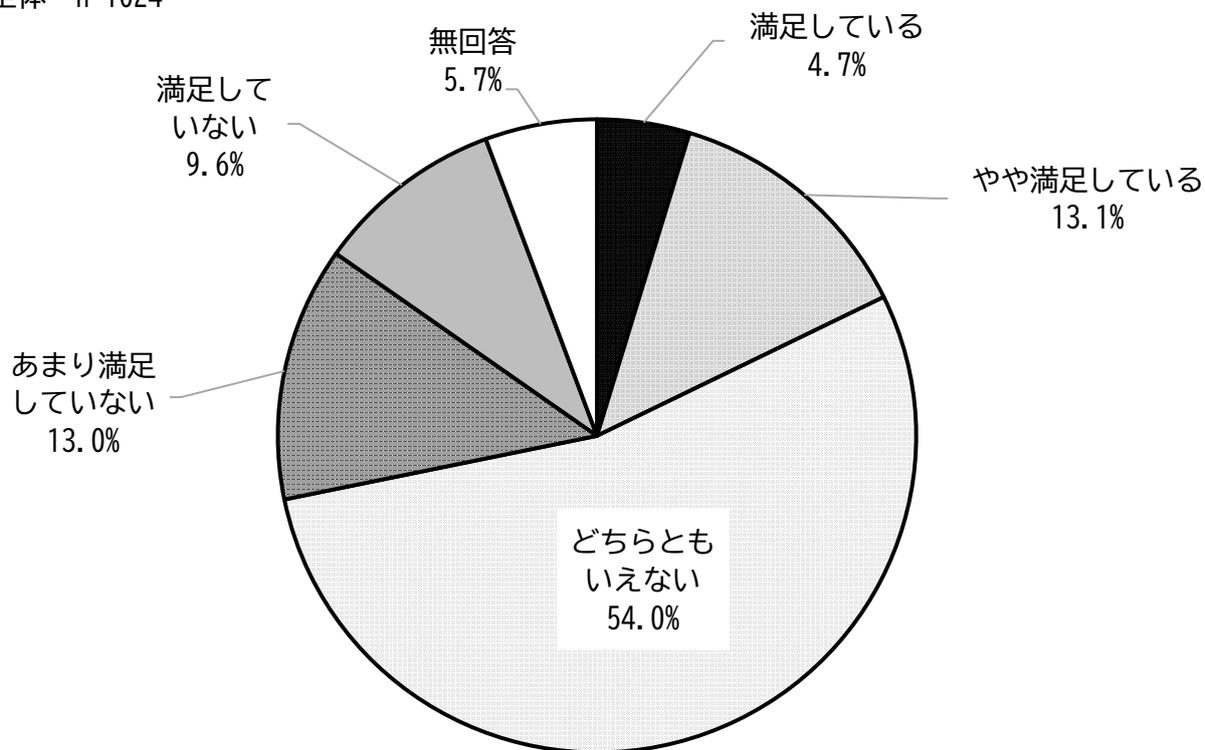
(2) 区のスポーツ環境の満足度

問11 区のスポーツ環境に満足していますか。(1つのみ)

区のスポーツ環境の満足度については、「満足している」、「やや満足している」の合計値《満足している》は17.8%となっている。一方、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》は22.6%と、《満足していない》が4.8ポイント上回っている。

「どちらともいえない」は54.0%となっている。

全体 n=1024

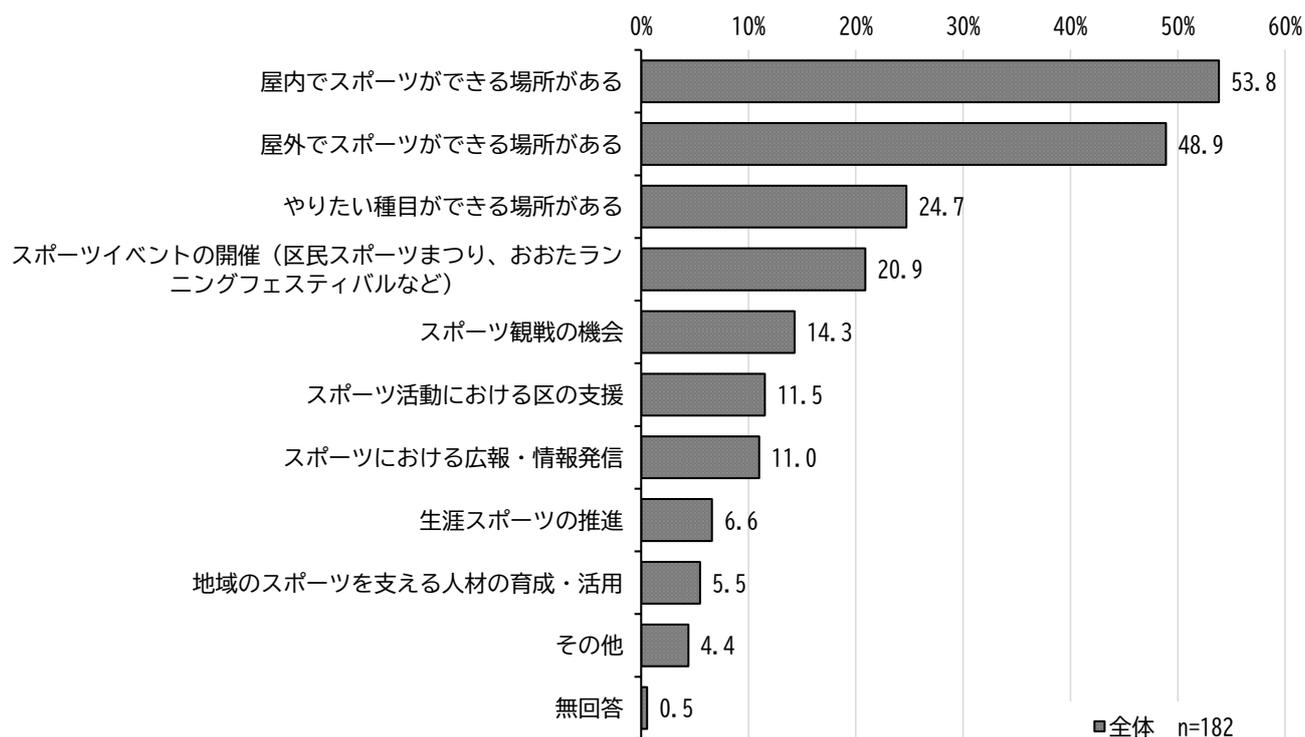


(3) 満足しているスポーツ施策

【問11で「1満足している」「2やや満足している」と回答した方に伺います。】

問11-1 区のだのスポーツ施策に満足していますか。(複数選択可)

満足しているスポーツ施策については、「屋内でスポーツができる場所がある」が53.8%で最も高く、次いで「屋外でスポーツができる場所がある」が48.9%、「やりたい種目ができる場所がある」が24.7%となっている。

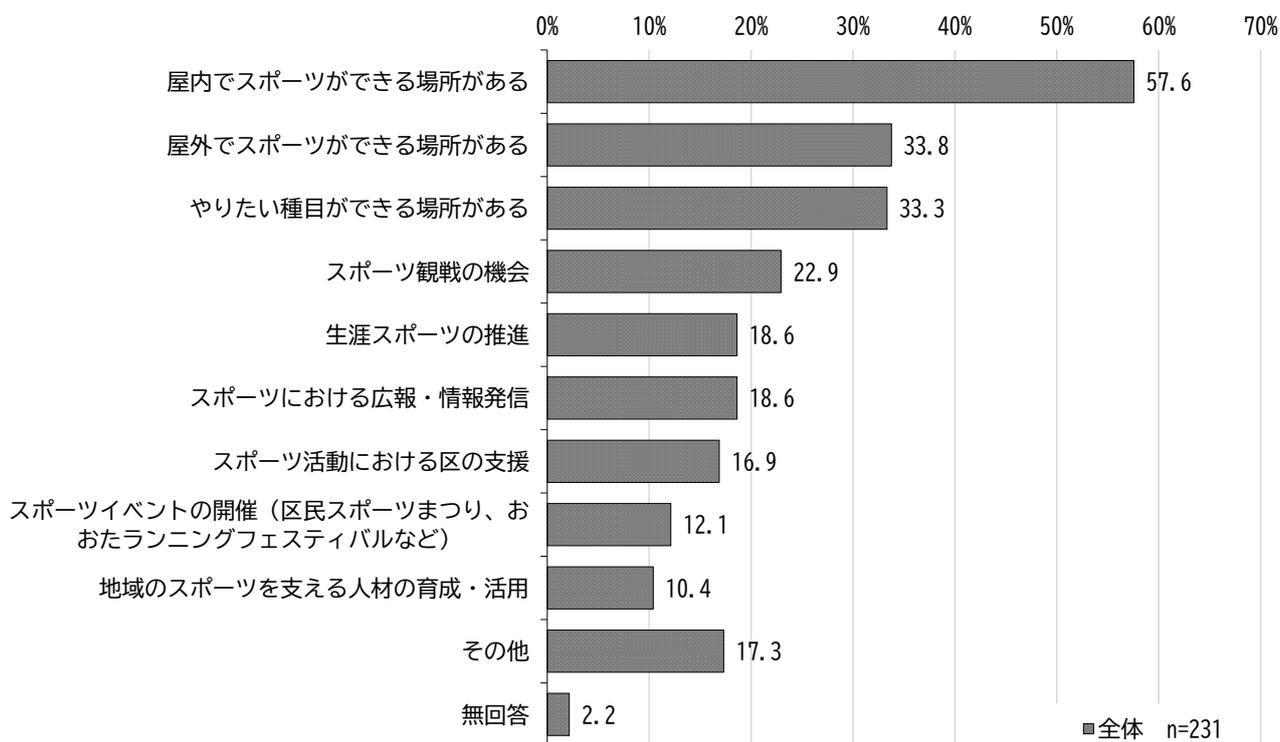


(4) 期待するスポーツ施策

【問 1 1 で「4 あまり満足していない」「5 満足していない」と回答した方に伺います。】

問 1 1 - 2 区にどのようなスポーツ施策を望みますか。(複数選択可)

期待するスポーツ施策については、「屋内でスポーツができる場所がある」が 57.6%で最も高く、次いで「屋外でスポーツができる場所がある」が 33.8%、「やりたい種目ができる場所がある」が 33.3%となっている。

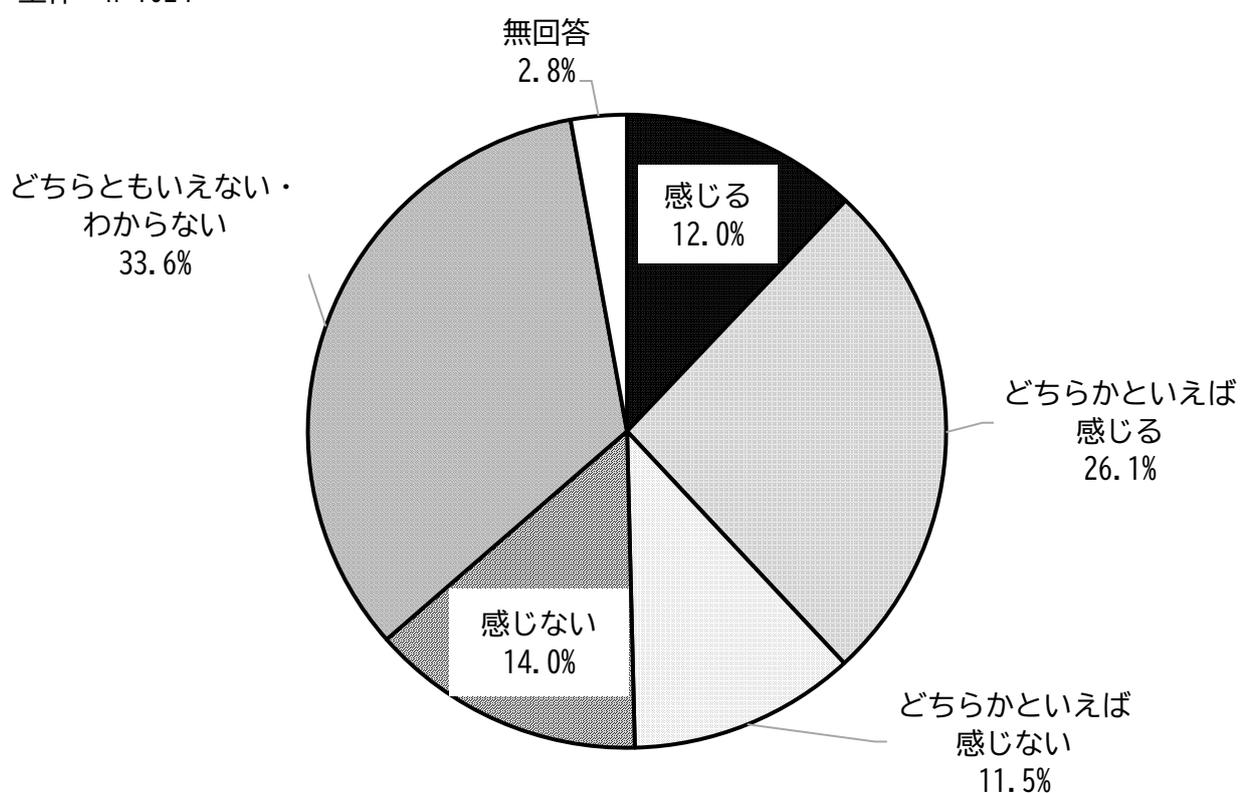


(5) スポーツにおける地域活性化への貢献度

問 12 スポーツが地域の活性化に役立っていると感じますか。(1つのみ)

スポーツにおける地域活性化への貢献度については、「感じる」、「どちらかといえば感じる」の合計値《感じる》は38.1%となっている。一方、「どちらかといえば感じない」、「感じない」の合計値《感じない》は25.5%と、《感じる》が12.6ポイント上回っている。

全体 n=1024



5 文化芸術について

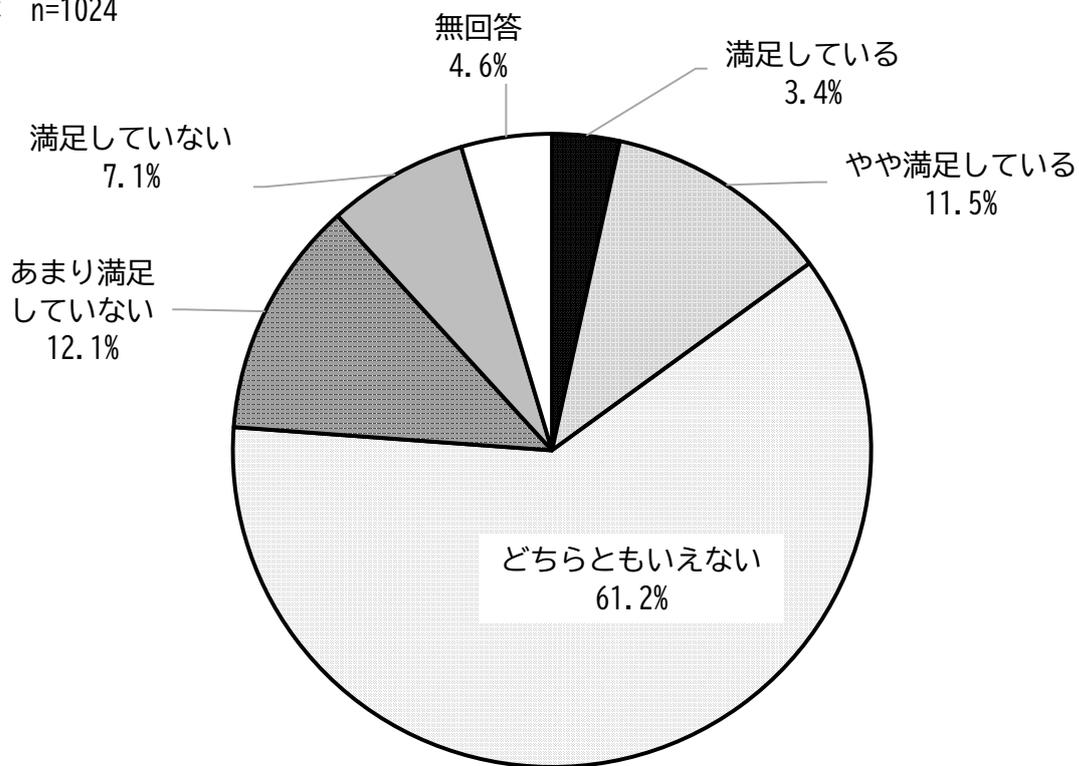
(1) 区の文化芸術に親しむ環境への満足度

問 13 区の文化芸術に親しむ環境に満足していますか。(1つのみ)

区の文化芸術に親しむ環境への満足度については、「満足している」、「やや満足している」の合計値《満足している》は14.9%となっている。一方、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》は19.2%と、《満足していない》が4.3ポイント上回っている。

「どちらともいえない」は61.2%となっている。

全体 n=1024

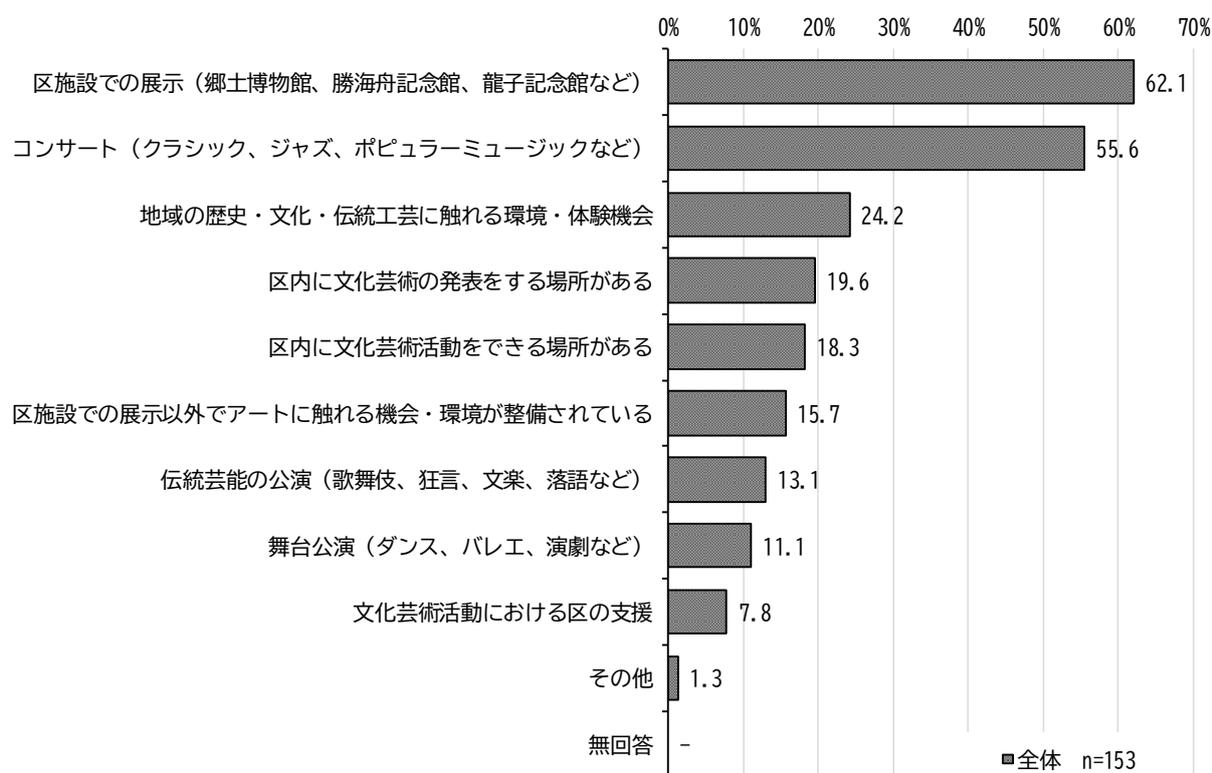


(2) 満足している文化芸術施策

【問 13 で「1 満足している」「2 やや満足している」と回答した方に伺います。】

問 13-1 区のどの文化芸術施策に満足していますか。(複数選択可)

満足している文化芸術施策については、「区施設での展示（郷土博物館、勝海舟記念館、龍子記念館など）」が62.1%で最も高く、次いで「コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど）」が55.6%、「地域の歴史・文化に触れる環境・体験機会」が24.2%となっている。

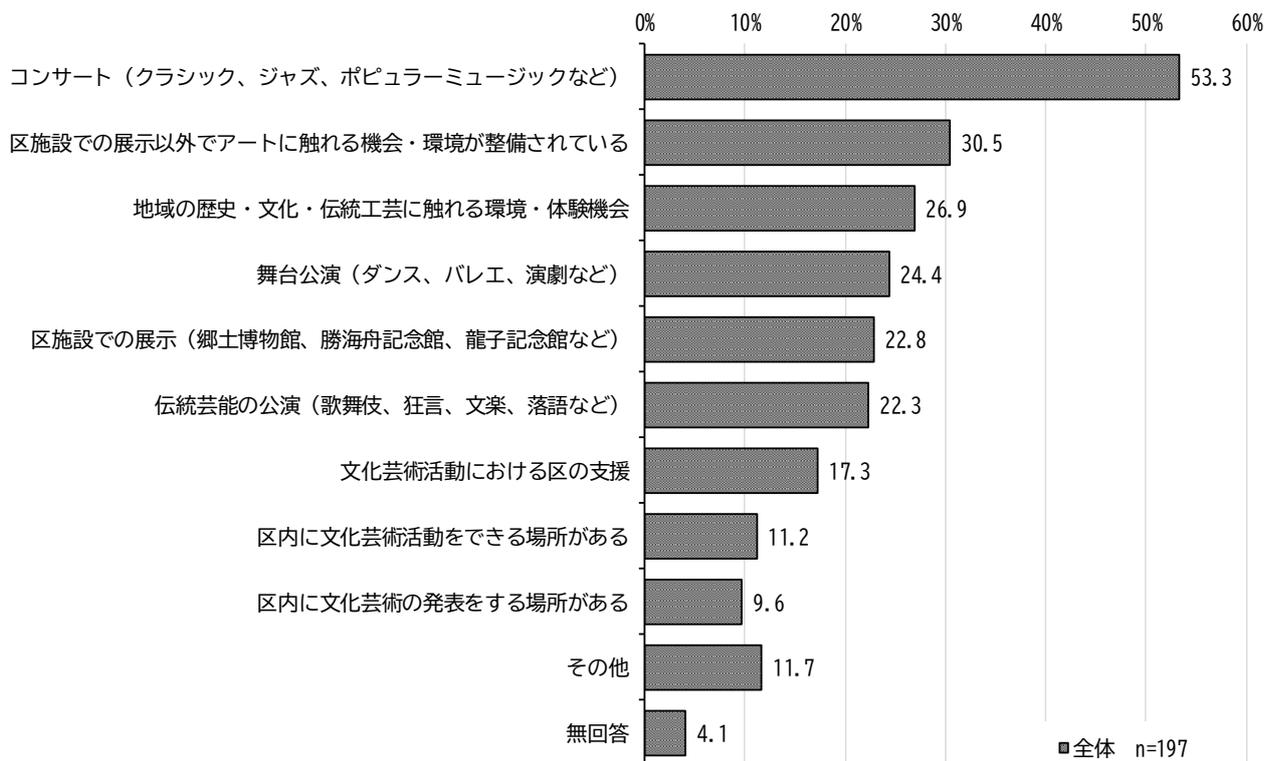


(3) 期待する区の文化芸術施策

【問 13 で「4 あまり満足していない」「5 満足していない」と回答した方に伺います。】

問 13-2 区にどのような文化芸術施策を望みますか。(複数選択可)

期待する区の文化芸術施策については、「コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど）」が 53.3%で最も高く、次いで「区施設での展示以外でアートに触れる機会・環境が整備されている」が 30.5%、「地域の歴史・文化に触れる環境・体験機会」が 26.9%となっている。

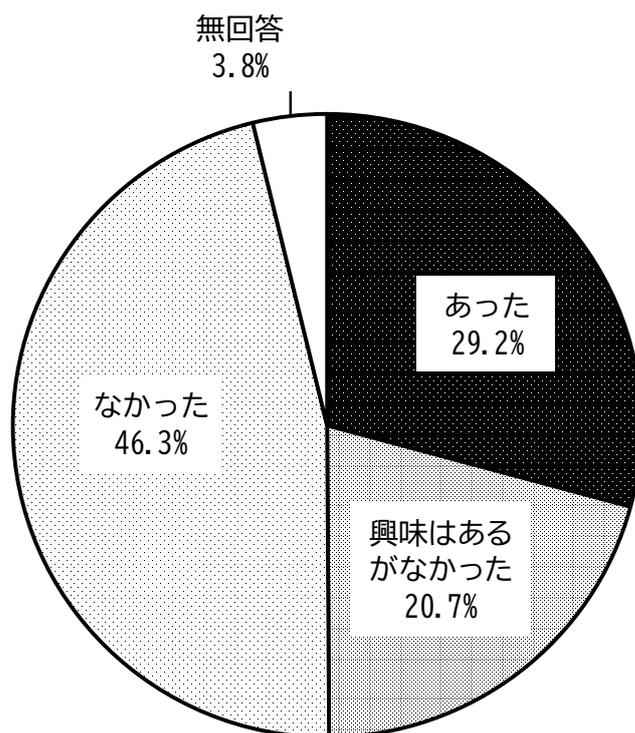


(4) 区の文化や歴史に触れる機会の有無

問 14 これまでに区の文化や歴史に触れる機会がありましたか。(1つのみ)

区の文化や歴史に触れる機会の有無について、「なかった」が46.3%で最も高く、次いで「あった」が29.2%、「興味はあるがなかった」は20.7%となっている。

全体 n=1024



6 生涯学習について

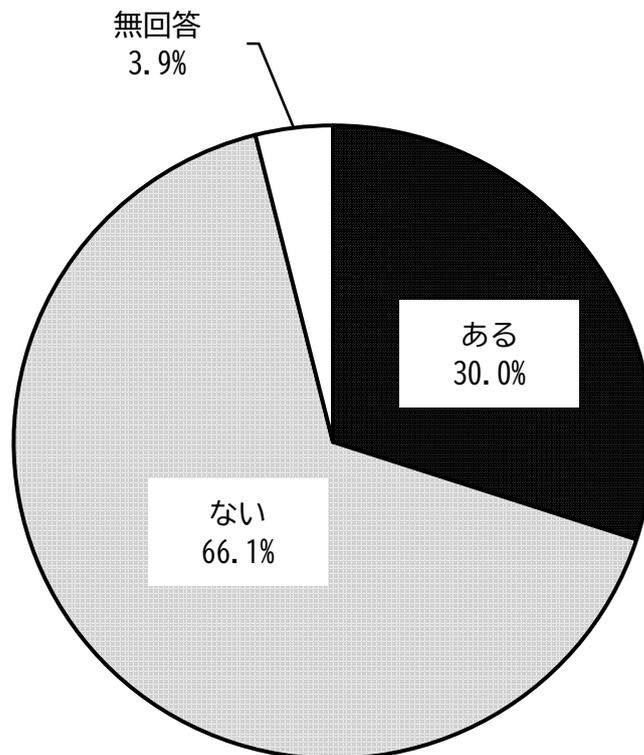
(1) 最近1年間の生涯学習の有無

問15 最近1年間に生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

生涯学習とは、区民一人一人が、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において取り組む学びのことをいいます。具体的には、読書、語学や資格の習得、趣味・教養、スポーツ、芸術・文化活動、生活・健康や仕事などに関する学習、サークル活動を指し、自治会・町会、NPO、PTA、こども会、ボランティアなどの地域活動を通して得られる学びも含まれます。

最近1年間の生涯学習の有無については、「ある」が30.0%、「ない」が66.1%と、「ない」が36.1ポイント上回っている。

全体 n=1024



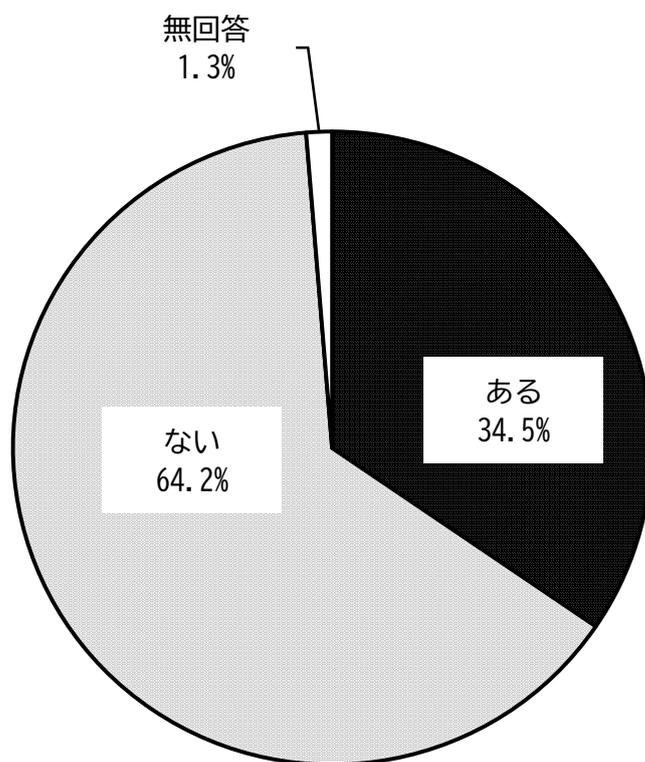
(2) オンラインによる生涯学習の有無

【問 15 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問 15-1 オンラインで生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

オンラインによる生涯学習の有無については、「ある」が 34.5%、「ない」が 64.2%と、「ない」が 29.7ポイント上回っている。

全体 n=307

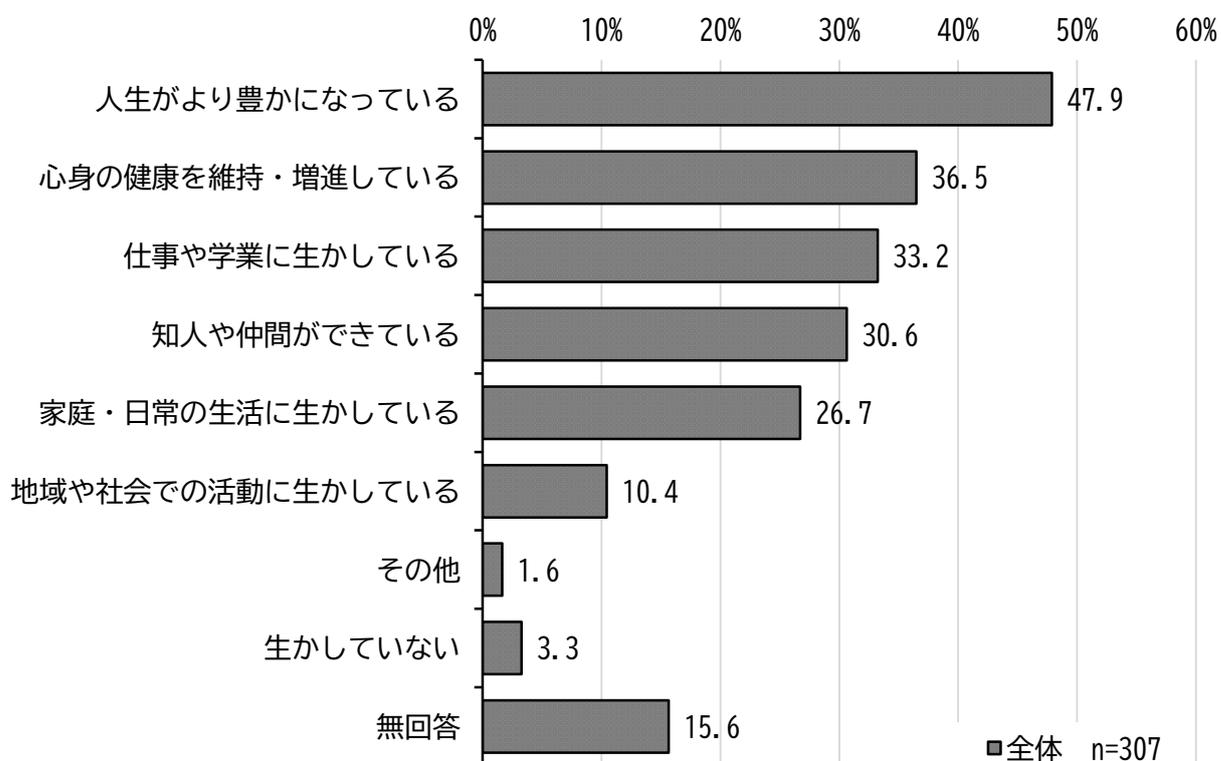


(3) 生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を生かしていること

【問 15 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問 15-2 あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように生かしていますか。(複数選択可)

生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を生かしていることについては、「人生がより豊かになっている」が47.9%で最も高く、次いで「心身の健康を維持・増進している」が36.5%、「仕事や学業に生かしている」が33.2%、「知人や仲間ができています」が30.6%となっている。

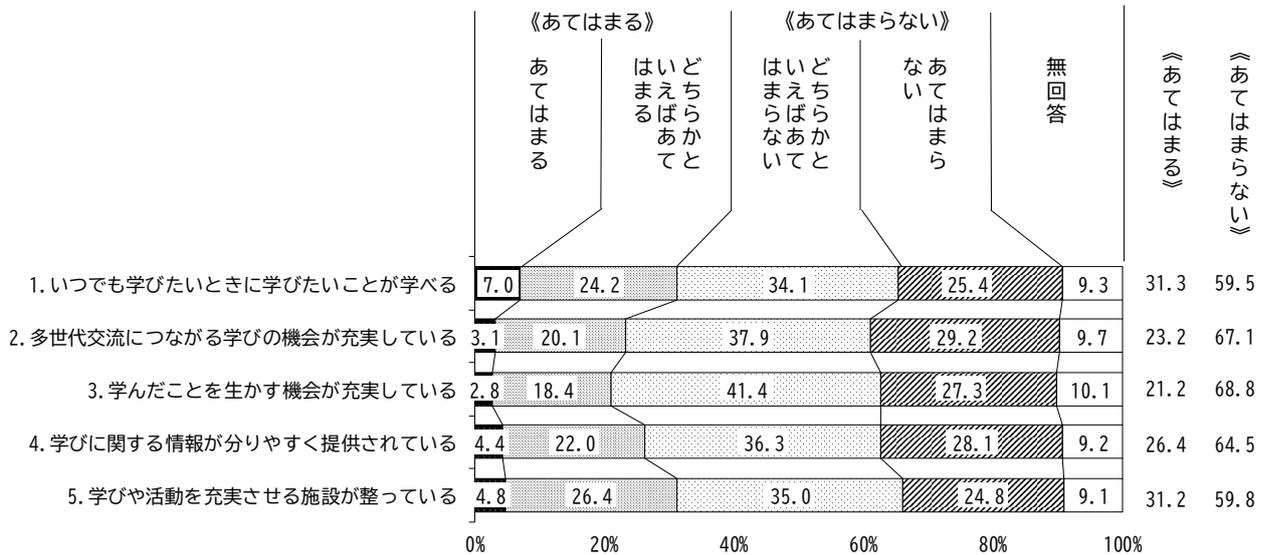


(4) 生涯学習の充実度

問 16 現在の大田区の生涯学習について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。(それぞれ1つ)

1. いつでも学びたいときに学びたいことが学べる
2. 多世代交流につながる学びの機会が充実している
3. 学んだことを生かす機会が充実している
4. 学びに関する情報がわかりやすく提供されている
5. 学びや活動を充実させる施設が整っている

生涯学習の充実度について、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値《あてはまる》は1. いつでも学びたいときに学びたいことが学べる 31.3%で最も高く、次いで5. 学びや活動を充実させる施設が整っている 31.2%、4. 学びに関する情報がわかりやすく提供されているが 26.4%となっている。

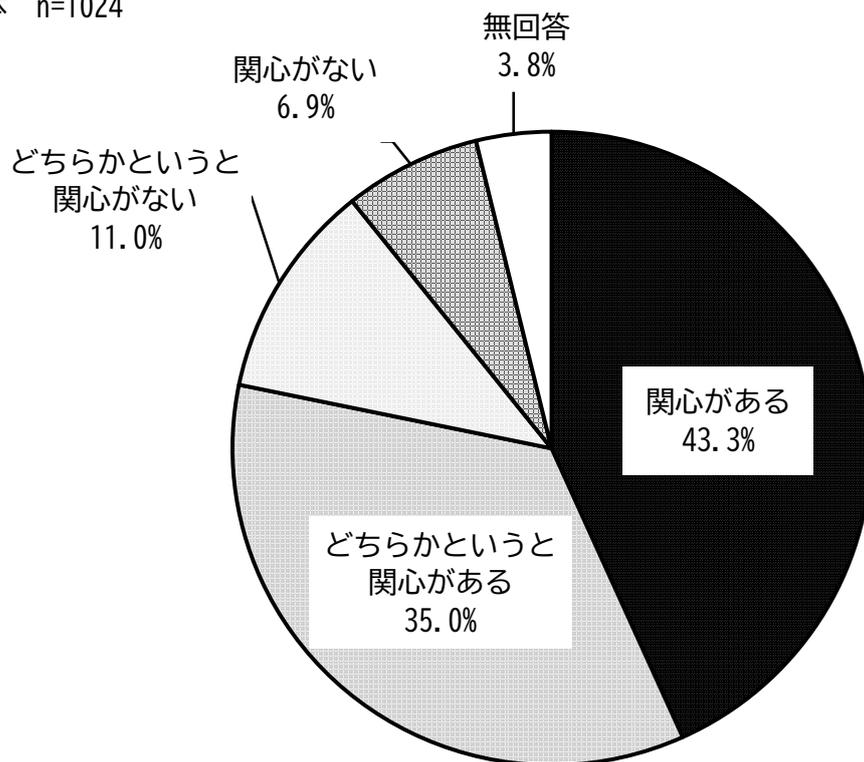


(5) 学ぶことへの関心の有無

問17 あなたは、何かを学ぶことに関心がありますか。(1つのみ)

学ぶことへの関心の有無について、「関心がある」、「どちらかというに関心がある」の合計値《関心がある》が78.2%となっている。一方、「どちらかというに関心がない」、「関心がない」の合計値《関心がない》は18.0%と、《関心がある》が60.2ポイント上回っている。

全体 n=1024

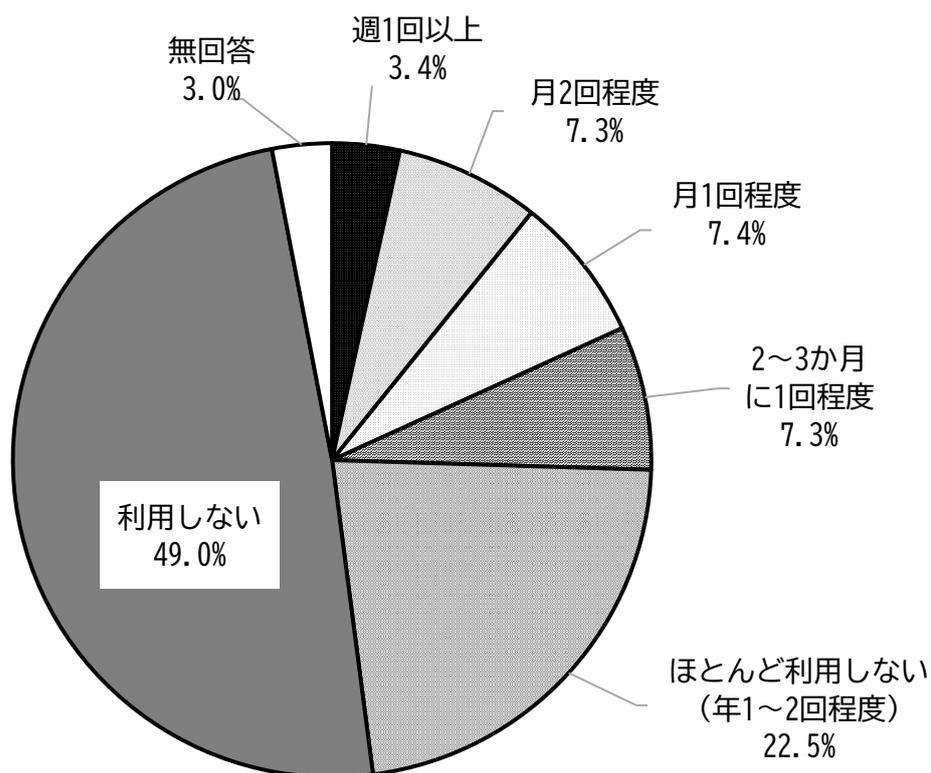


(6) 図書館等の利用頻度

問 18 1年間で大田区立図書館又は文化の森情報館（電子書籍貸出サービスを含む）をどのくらい利用しますか。（1つのみ）

図書館等の利用頻度については、「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」、「2～3か月に1回程度」、「ほとんど利用しない（年1～2回程度）」の合計値《利用する》が47.9%となっている。一方、《利用しない》が49.0%となっており1.1ポイント上回っている。

全体 n=1024

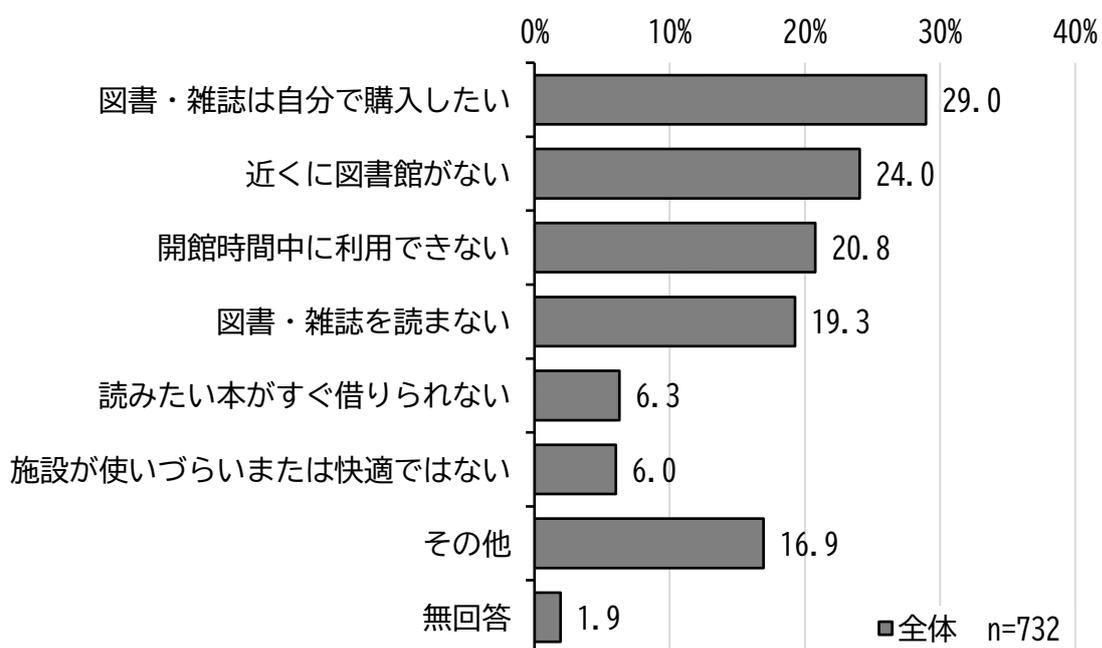


(7) 図書館を利用しない理由

【問 18 で「5 ほとんど利用しない（年 1～2 回程度）」「6 利用しない」と回答した方に伺います。】

問 18-1 図書館を利用しない理由についてご回答ください。（複数選択可）

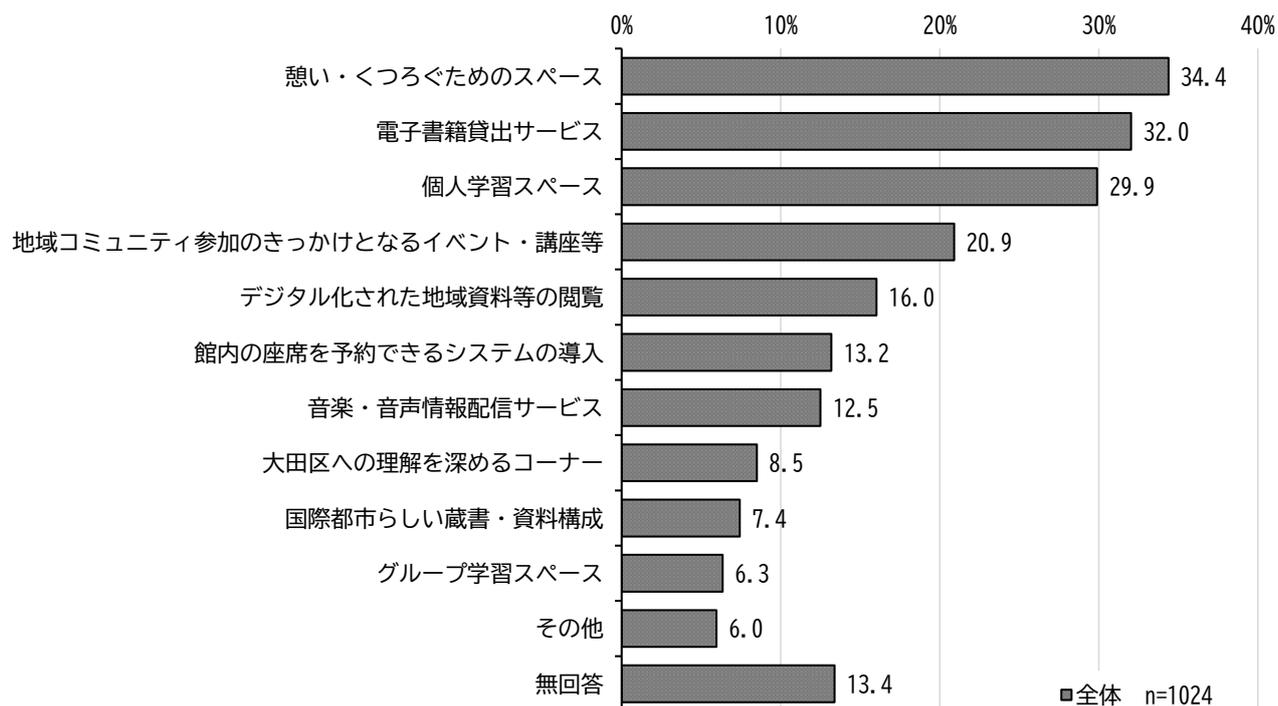
図書館を利用しない理由については、「図書・雑誌は自分で購入したい」が 29.0%で最も高く、次いで「近くに図書館がない」が 24.0%、「開館時間中に利用できない」が 20.8%となっている。



(8) 図書館に期待する機能・サービス

問 19 これからの図書館に期待する機能・サービスについて該当するものを選択してください。(複数選択可)

図書館に期待する機能・サービスについては、「憩い・くつろぐためのスペース」が34.4%で最も高く、次いで「電子書籍貸出サービス」が32.0%、「個人学習スペース」が29.9%、「地域コミュニティ参加のきっかけとなるイベント・講座等」が20.9%となっている。

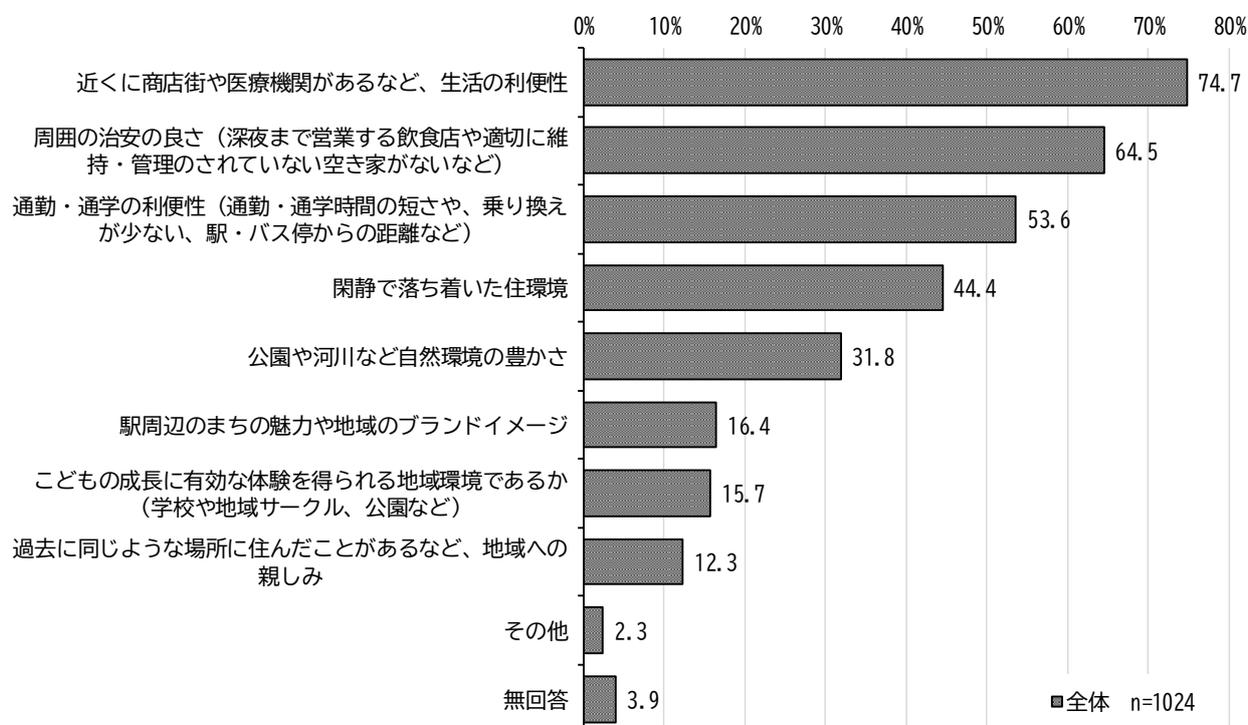


7 居住環境について

(1) 新しい住まいを探すことになった場合に最も重視するもの

問 20 新しい住まいを探すことになった場合、最も重視するものは何ですか。
(家賃・不動産価格は除く) (複数選択可)

居住地選定に重視するものについては、「近くに商店街や医療機関があるなど、生活の利便性」が74.7%で最も高く、次いで「周囲の治安の良さ(深夜まで営業する飲食店や適切に維持・管理のされていない空き家がないなど)」が64.5%、「通勤・通学の利便性(通勤・通学時間の短さや、乗り換えが少ない、駅・バス停からの距離など)」が53.6%、「閑静で落ち着いた住環境」が44.4%となっている。

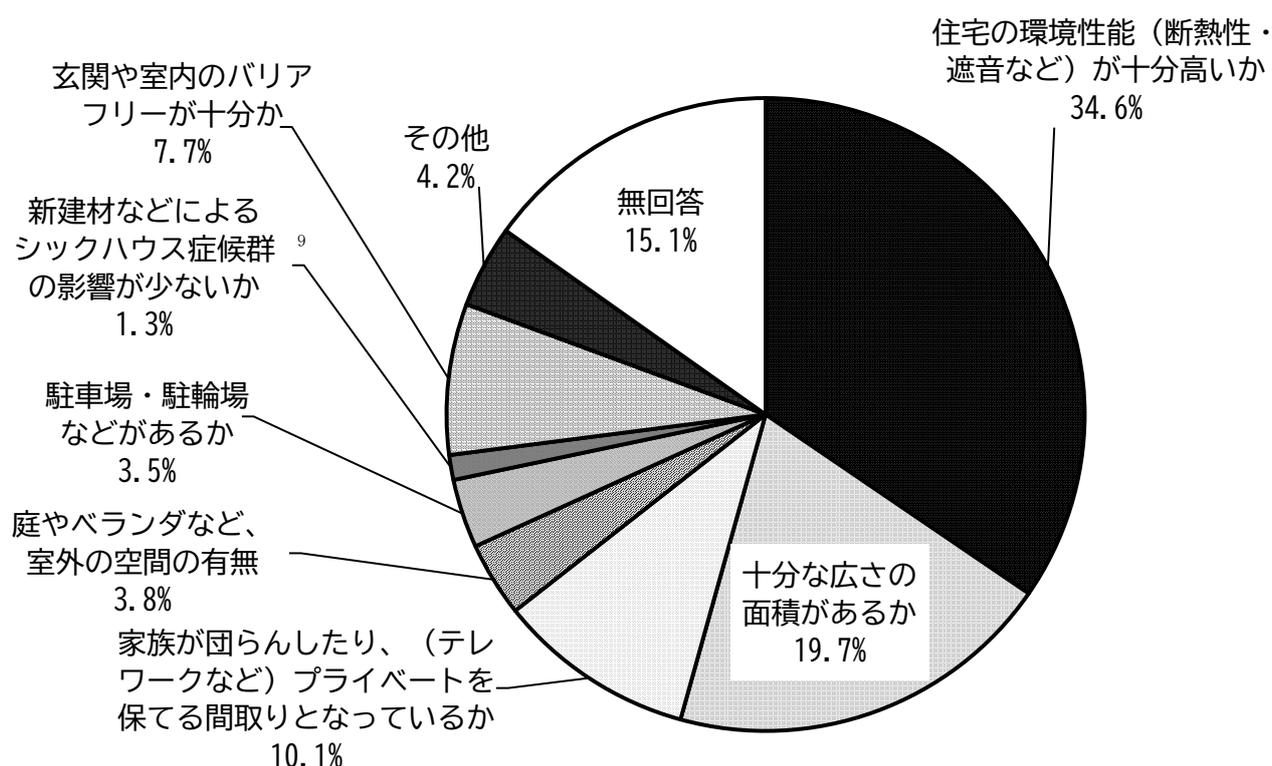


(2) 住宅を選ぶ際に一番重視するもの

問 21 お住まいになる住宅を選ぶ際に、一番重視するものは何ですか。(1 つのみ)

住宅選定に重視するものについては、「住宅の環境性能(断熱性・遮音など)が十分高いか」が 34.6%と最も高く、次いで「十分な広さの面積があるか」が 19.7%、「家族が団らんしたり、(テレワークなど)プライベートを保てる間取りとなっているか」が 10.1%となっている。

全体 n=1024

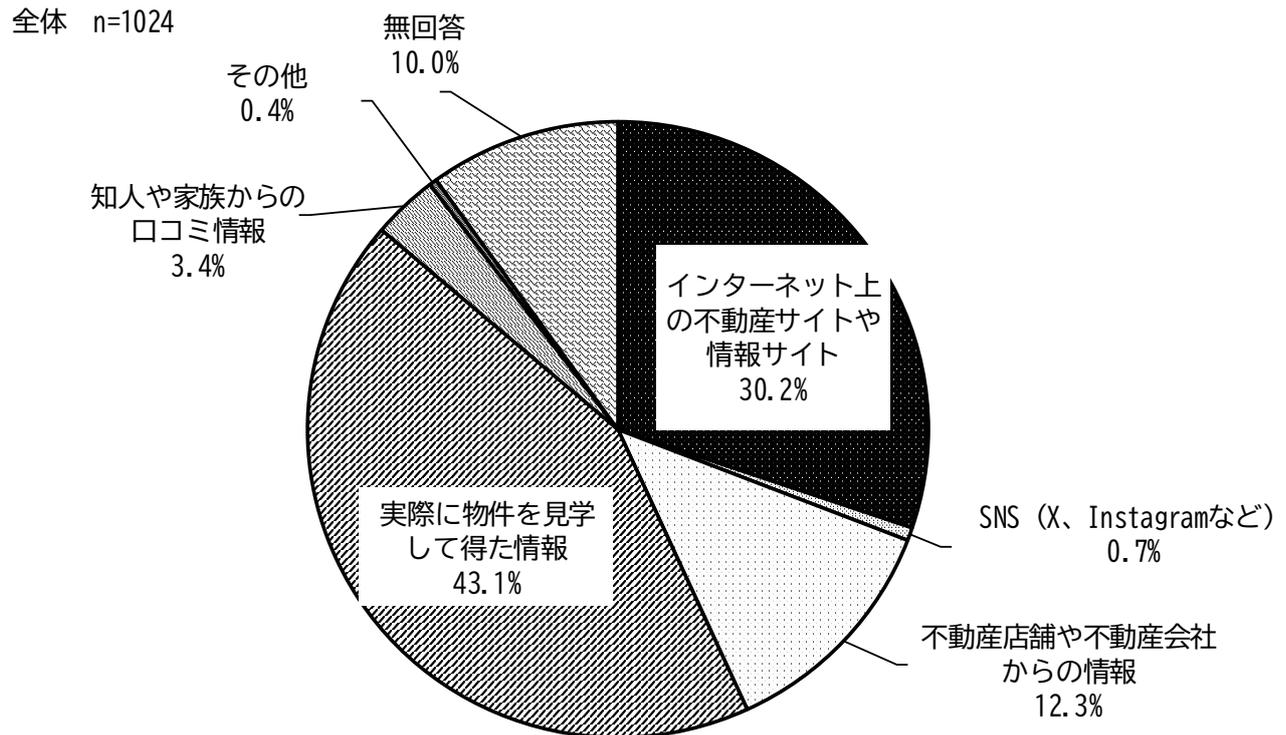


⁹ 化学物質を放出する建材や内装材を使用することにより、居住者が様々な体調不良を訴える事例

(3) 新しい住まいを探す際に重視する情報源

問 22 新しい住まいを探す際、どこから得た情報を最も重視しますか。(1つのみ)

居住地選択に重視する情報については、「実際に物件を見学して得た情報」が43.1%で最も高く、次いで「インターネット上の不動産サイトや情報サイト」が30.2%、「不動産店舗や不動産会社からの情報」が12.3%となっている。

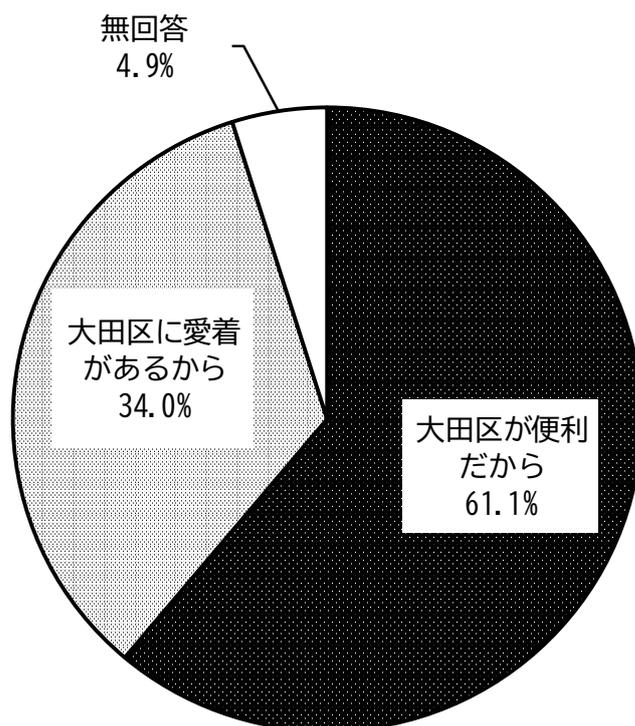


(4) 大田区に住む理由

問 23 大田区に住む理由を以下の選択肢から選ぶとしたら、どちらに当てはまりますか。
(1つのみ)

大田区に住む理由については、「大田区が便利だから」は 61.1%、「大田区に愛着があるから」が 34.0%と、「大田区が便利だから」が 27.1 ポイント上回っている。

全体 n=1024



IV 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査③

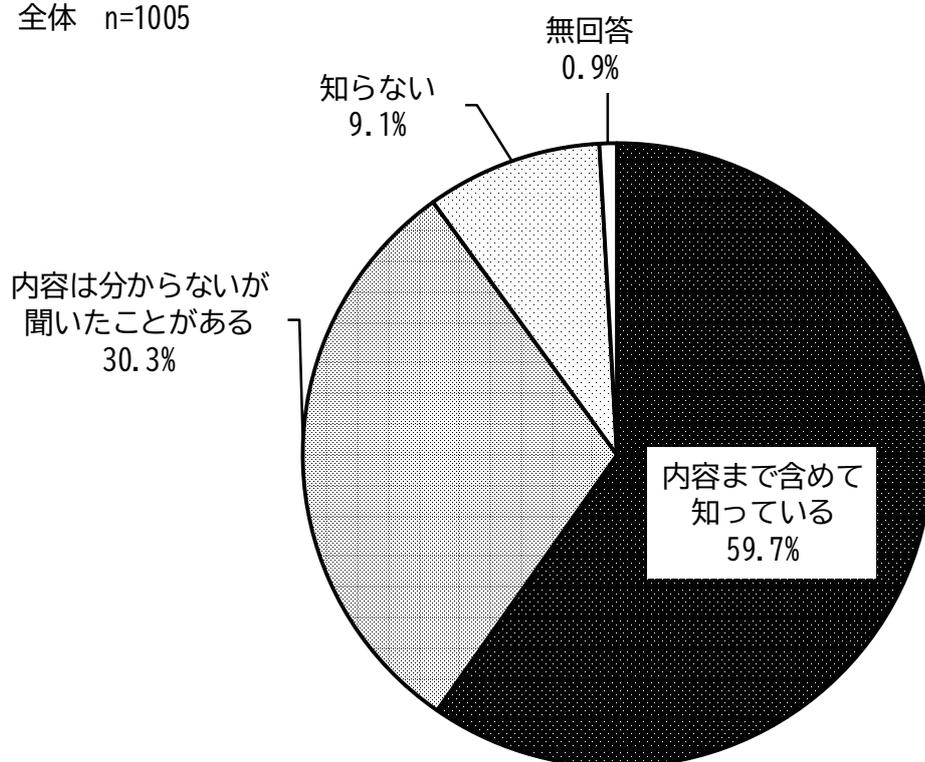
1 SDGsについて

(1) SDGsの認知度

問1 SDGs¹⁰について知っているかご回答ください。(1つのみ)

SDGsの認知度については、「内容まで含めて知っている」が59.7%で最も高く、次いで「内容は分からないが聞いたことがある」が30.3%、「知らない」が9.1%となっている。

全体 n=1005



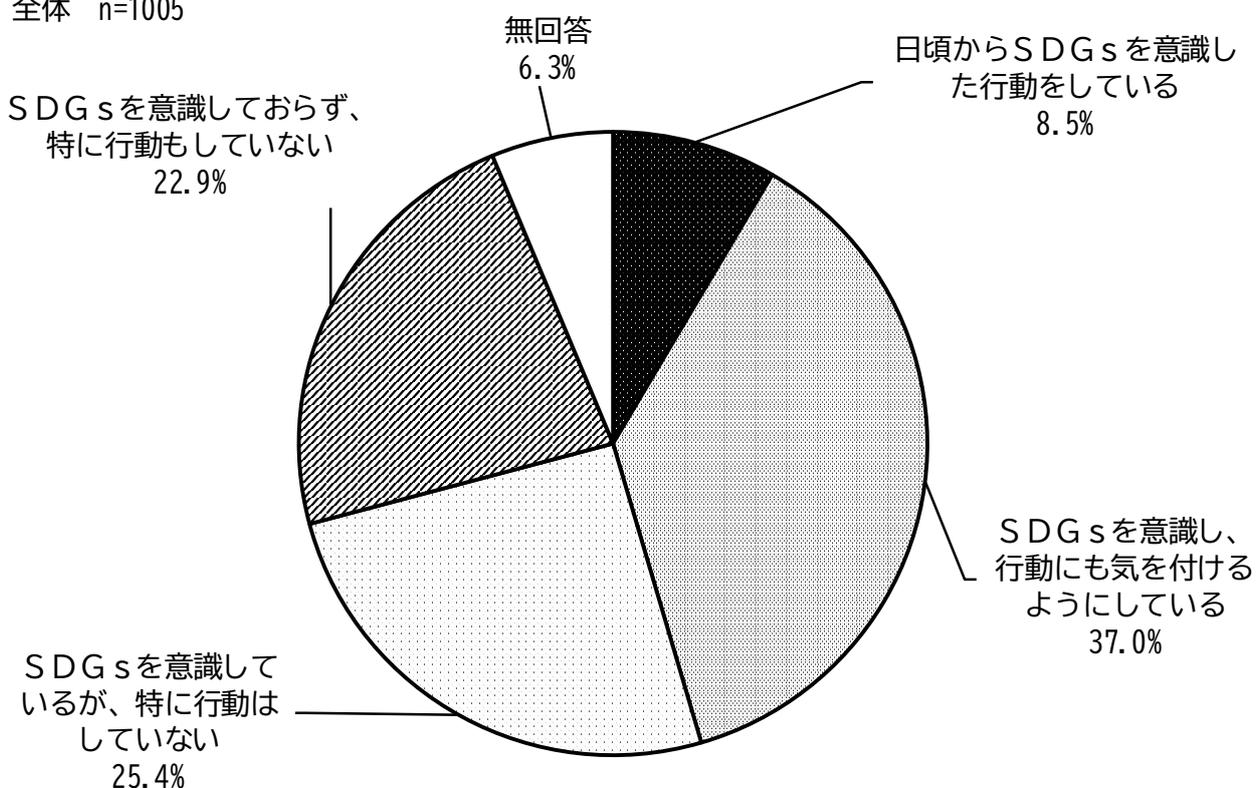
¹⁰ 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」。先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標として、貧困、飢餓、環境問題、経済成長やジェンダーに至る広範な課題を網羅しており、目標達成のための17のゴールとその課題ごとに設定された169のターゲット (達成基準) から構成

(2) SDGsに関する意識と行動

問2 SDGsに関する意識と行動についてご回答ください。(1つのみ)

SDGsに関する意識と行動については、「SDGsを意識し、行動にも気を付けるようにしている」が37.0%と最も高く、次いで「SDGsを意識しているが、特に行動はしていない」が25.4%、「SDGsを意識しておらず、特に行動もしていない」が22.9%となっている。
なお、「日頃からSDGsを意識した行動をしている」は8.5%となっている。

全体 n=1005



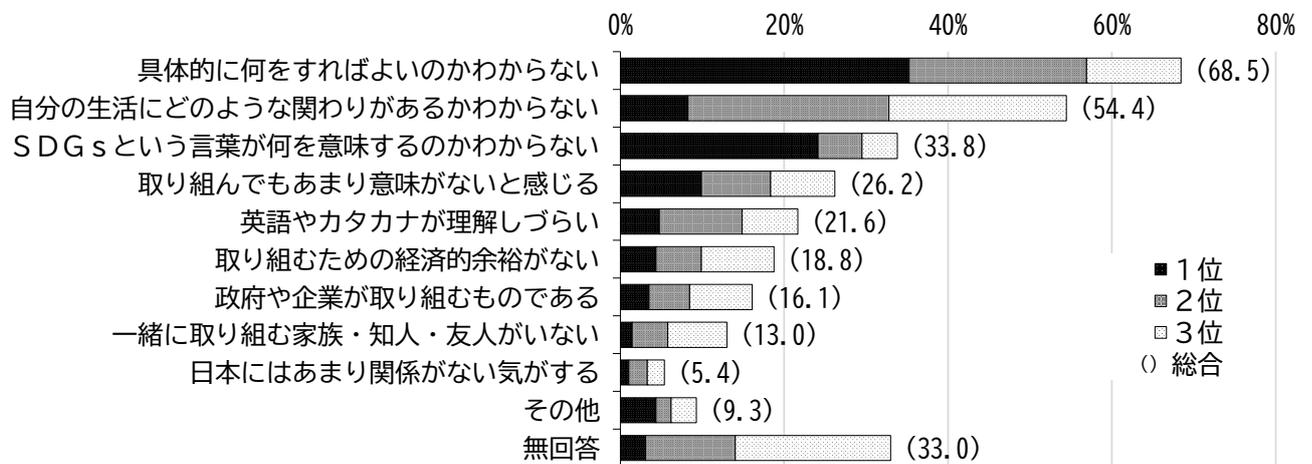
(3) SDGsに関する行動をしていない理由

【問2 で「3 SDGsを意識しているが、特に行動はしていない」「4 SDGsを意識しておらず、特に行動もしていない」と回答した方に伺います。】

問2-1 SDGsに関する行動をしていない理由についてご回答ください。
(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

SDGsに関する行動をしていない理由についての1位の理由は「具体的に何をすればよいのかわからない」が35.3%で最も高くなっている。

1位～3位の総合でみると、「具体的に何をすればよいのかわからない」が68.5%で最も高く、次いで、「自分の生活にどのような関わりがあるかわからない」が54.4%、「SDGsという言葉が何を意味するのかわからない」が33.8%となっている。



■ SDGsに関する行動をしていない理由 表 (総合、1位～3位)

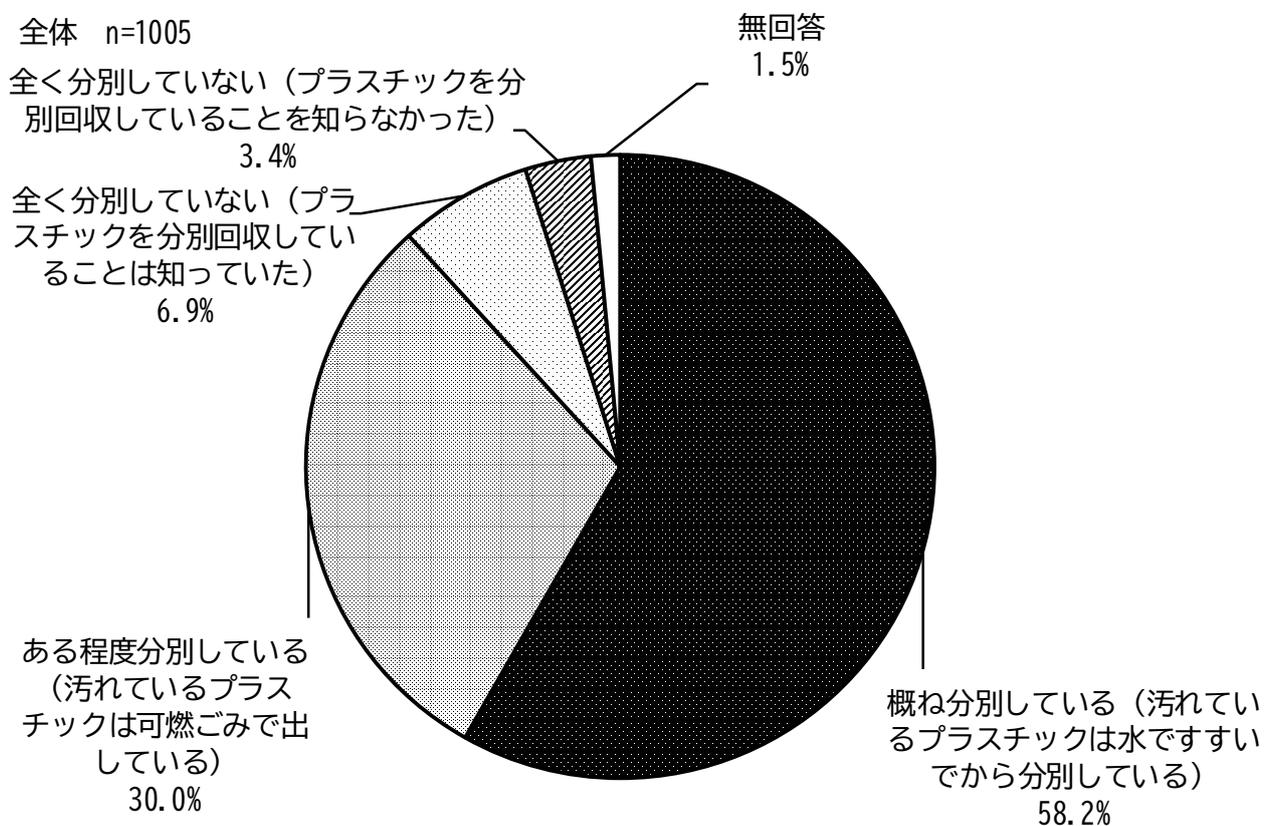
	具体的に何をすればよいのかわからない	自分の生活にどのような関わりがあるかわからない	SDGsという言葉が何を意味するのかわからない	取り組んでもあまり意味がないと感じる	英語やカタカナが理解しづらい	取り組むための経済的余裕がない	政府や企業が取組むものである	一緒に取り組む家族・知人・友人がいない	日本にはあまり関係がない気がする	その他	無回答
n=485	68.5	54.4	33.8	26.2	21.6	18.8	16.1	13.0	5.4	9.3	33.0
1位	35.3	8.2	24.1	9.9	4.7	4.3	3.5	1.4	1.0	4.3	3.1
2位	21.6	24.5	5.4	8.5	10.1	5.6	4.9	4.3	2.3	1.9	10.9
3位	11.5	21.6	4.3	7.8	6.8	8.9	7.6	7.2	2.1	3.1	19.0

1位 2位 3位 各順位における上位3項目に色付け

(4) プラスチックの分別

問3 令和7年4月から区内全域でプラスチックの分別回収がはじまりました。日常生活の中で、プラスチックを分別していますか。(1つのみ)

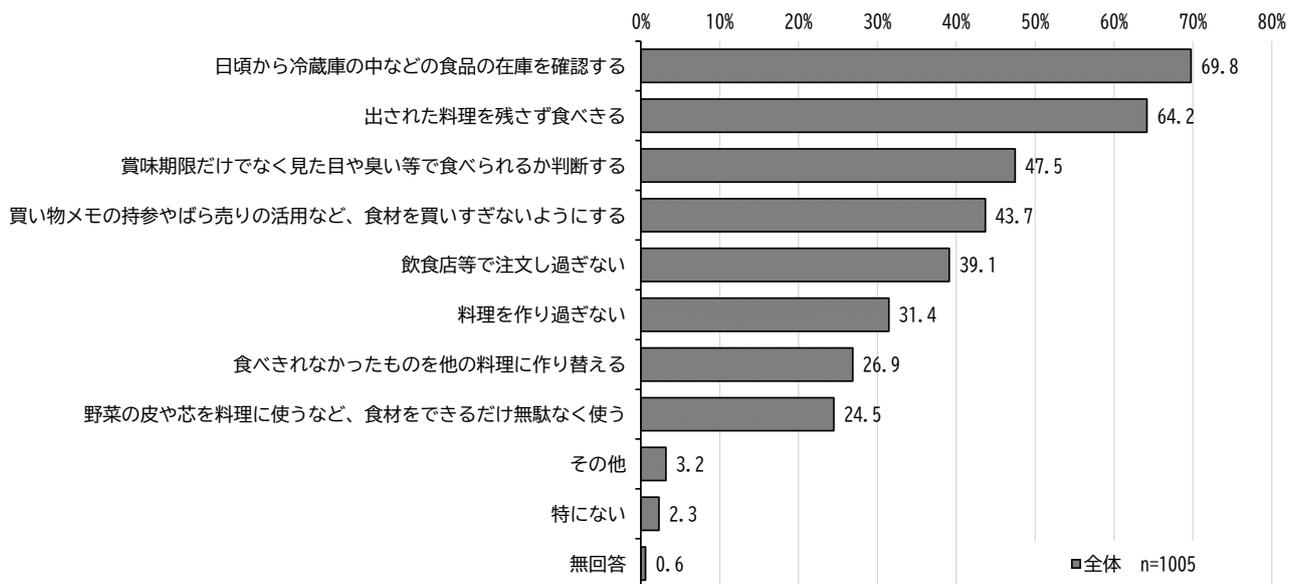
プラスチックの分別については、「概ね分別している（汚れているプラスチックは水ですすいだから分別している）」、「ある程度分別している（汚れているプラスチックは可燃ごみで出している）」の合計値《分別している》が88.3%となっている。一方、「全く分別していない（プラスチックを分別回収していることは知っていた）」、「全く分別していない（プラスチックを分別回収していることを知らなかった）」の合計値《分別していない》が10.2%と、《分別している》が78.1ポイント上回っている。



(5) 「食品ロス」を減らすための取り組み

問4 生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。
(複数選択可)

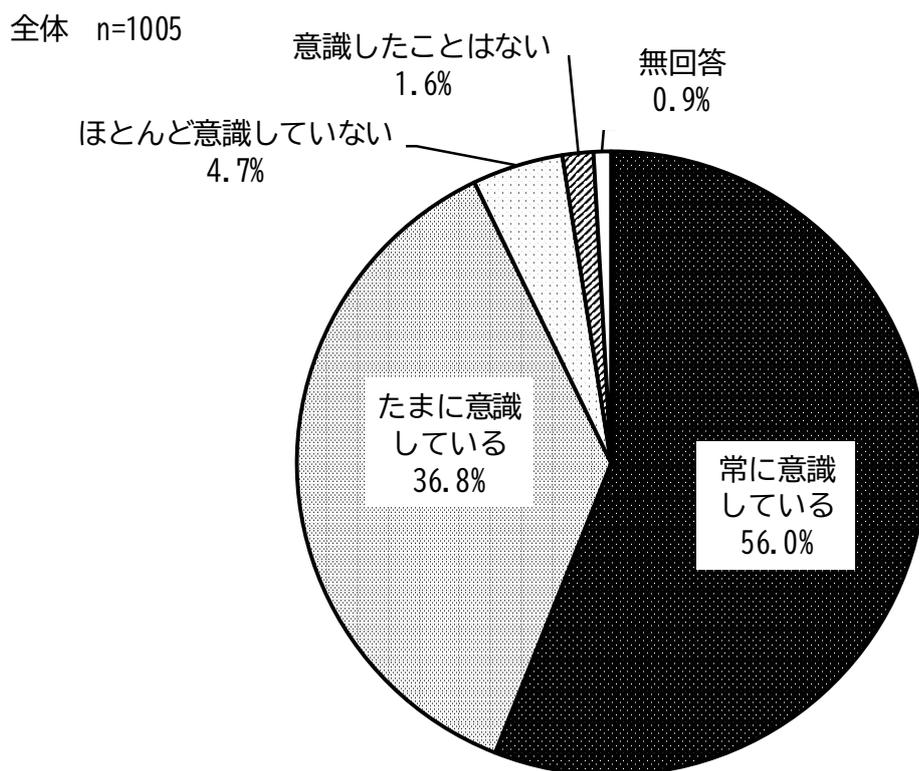
「食品ロス」を減らすための取り組みについては、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が69.8%で最も高く、次いで「出された料理を残さず食べきる」が64.2%、「賞味期限だけでなく見た目や臭い等で食べられるか判断する」が47.5%となっている。



(6)「食品ロス」発生への意識

問5 普段の生活の中で、「食品ロス」の発生を意識していますか。(1つのみ)

「食品ロス」への意識については、「常に意識している」、「たまに意識している」の合計値《意識している》が92.8%となっている。一方、「ほとんど意識していない」、「意識したことはない」の合計値《意識していない》が6.3%と、《意識している》が86.5ポイント上回っている。



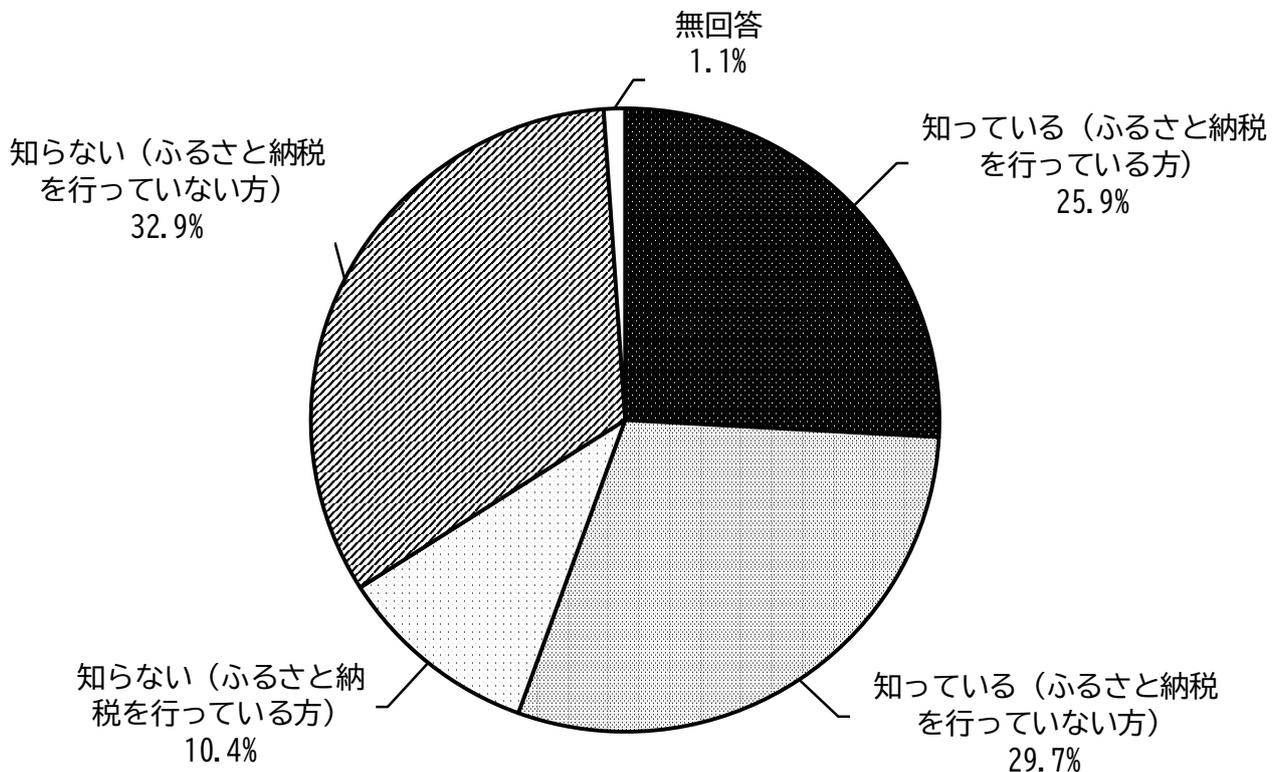
2 ふるさと納税について

(1) 他の自治体へふるさと納税を行うことによる大田区への影響の認知度

問6 他の自治体へふるさと納税を行うことによる大田区への影響を知っていますか。
(1つのみ)

他の自治体へふるさと納税を行うことによる大田区への影響の認知度については、「知っている（ふるさと納税を行っている方）」、「知っている（ふるさと納税を行っていない方）」の合計値《知っている》が55.5%となっている。一方、「知らない（ふるさと納税を行っている方）」、「知らない（ふるさと納税を行っていない方）」の合計値《知らない》が43.4%と、《知っている》が12.1ポイント上回っている。

全体 n=1005



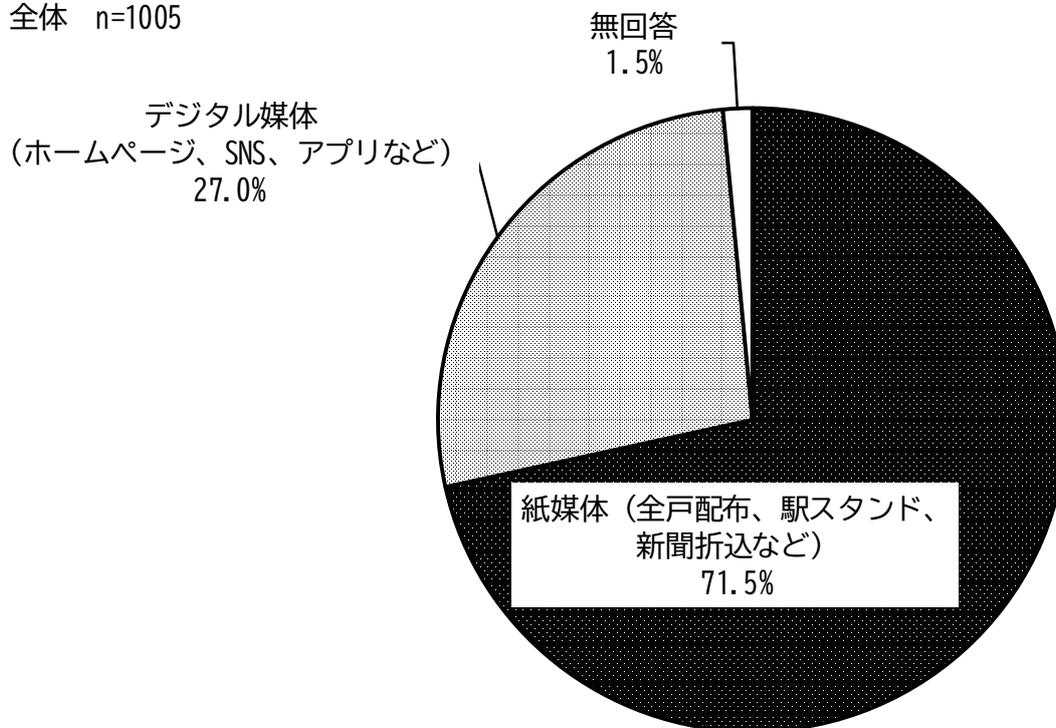
3 情報取得・デジタル化について

(1) おおた区報で区政に関する情報を取得する際に、最も利用する媒体

問7 おおた区報で区政に関する情報を取得する際に、最も利用する媒体について、該当するものを選択してください。(1つのみ)

おおた区報で区政に関する情報を取得する際に、最も利用する媒体については、「紙媒体（全戸配布、駅スタンド、新聞折込など）」が71.5%と最も高く、次いで「デジタル媒体（ホームページ、SNS、アプリなど）」が27.0%となっている。

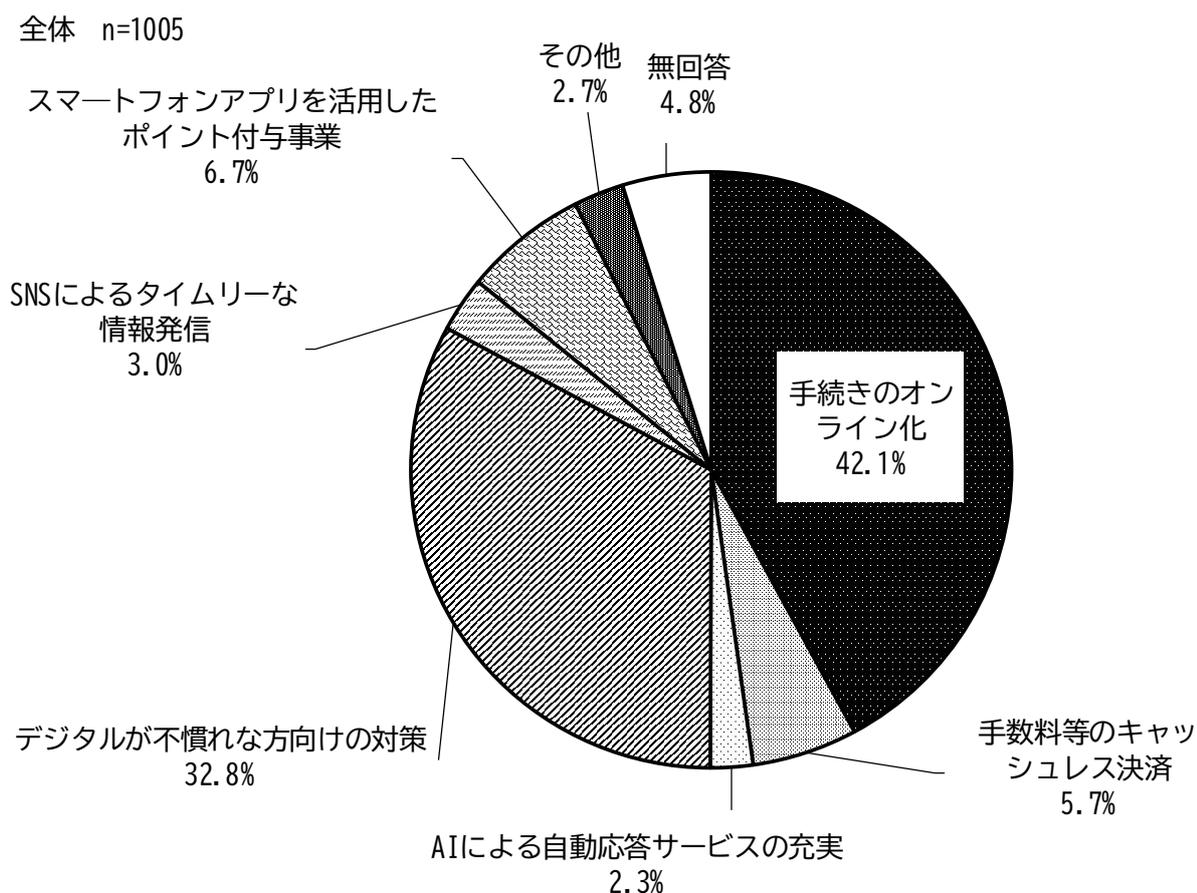
全体 n=1005



(2) 区民サービスのデジタル化に関して、最も希望するもの

問8 区民サービスのデジタル化に関して、最も希望するものは何ですか。(1つのみ)

区民サービスのデジタル化に関して、最も希望するものについては、「手続きのオンライン化」が42.1%と最も高く、次いで「デジタルが不慣れな方向けの対策」が32.8%、「スマートフォンアプリを活用したポイント付与事業」が6.7%となっている。

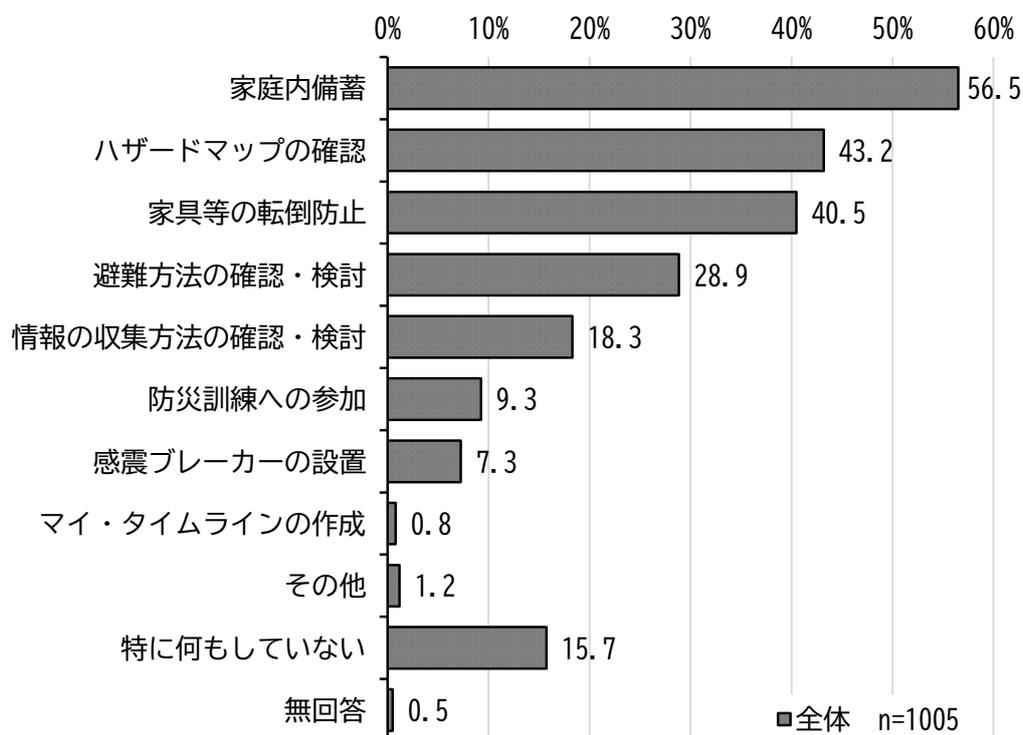


4 防災・防犯について

(1) 災害から身を守るための取組

問9 災害から身を守るためにどのような取組をしていますか。(複数選択可)

災害から身を守るための取組については、「家庭内備蓄」が56.5%で最も高く、次いで「ハザードマップの確認」が43.2%、「家具等の転倒防止」が40.5%となっている。

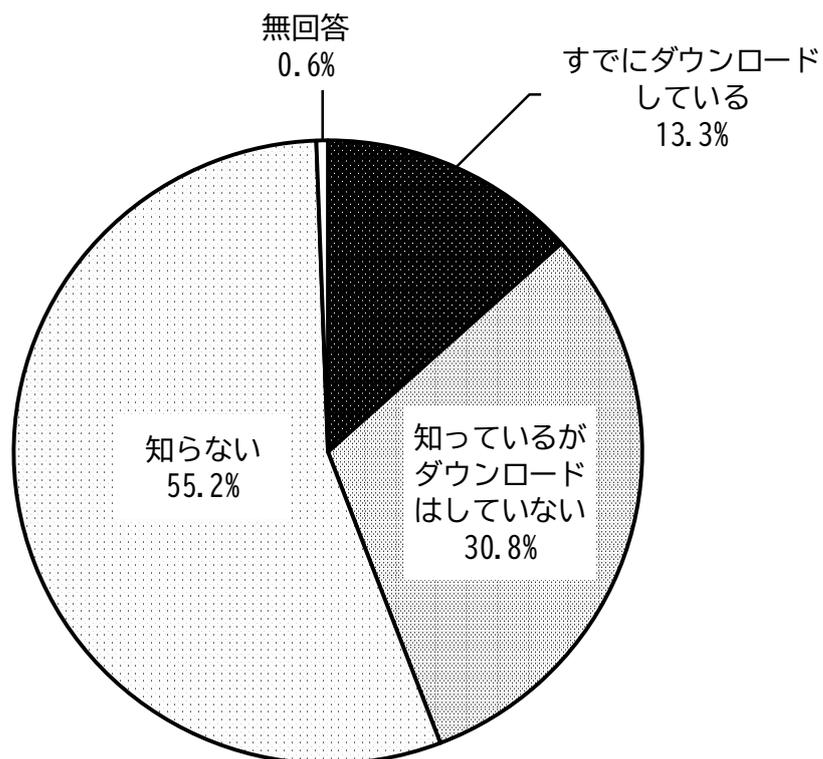


(2)「大田区防災アプリ」の認知度

問10 「大田区防災アプリ」を知っていますか。(1つのみ)

「大田区防災アプリ」の認知度については、「すでにダウンロードしている」、「知っているがダウンロードはしていない」の合計値《知っている》が44.2%となっている。一方、「知らない」が55.2%と、「知らない」が11.0ポイント上回っている。

全体 n=1005

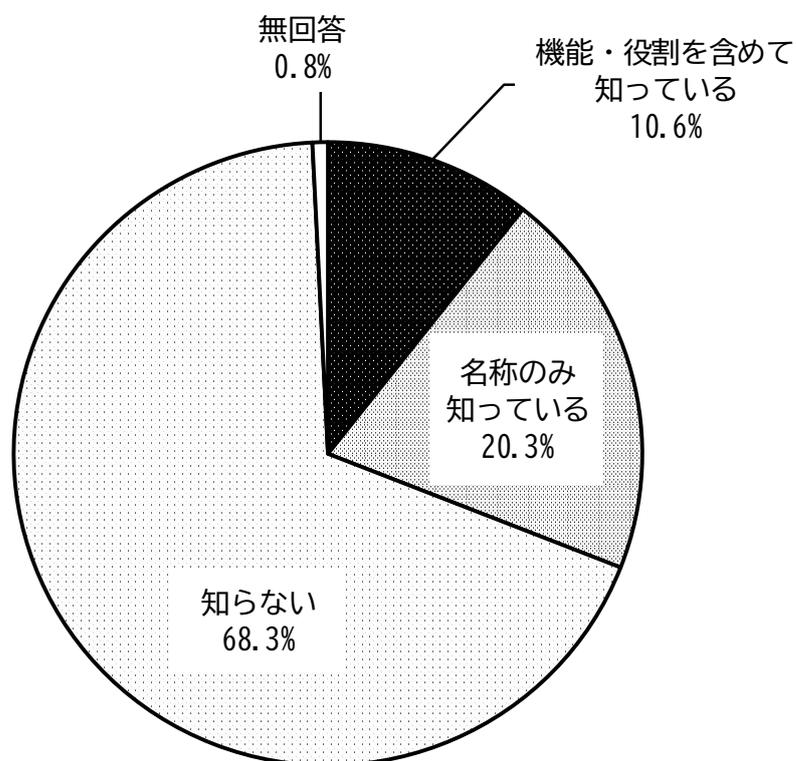


(3) 「緊急医療救護所」の認知度

問 1 1 「緊急医療救護所」は、大規模地震発生時に、病院の門前などで傷病者の治療の優先度をつけたり、軽症者の治療を行うために設置されます。あなたは緊急医療救護所を知っていますか。(1つのみ)

「緊急医療救護所」の認知度については、「機能・役割を含めて知っている」、「名称のみ知っている」の合計値《知っている》が 30.9%となっている。一方、「知らない」が 68.3%と、「知らない」が 37.4 ポイント上回っている。

全体 n=1005

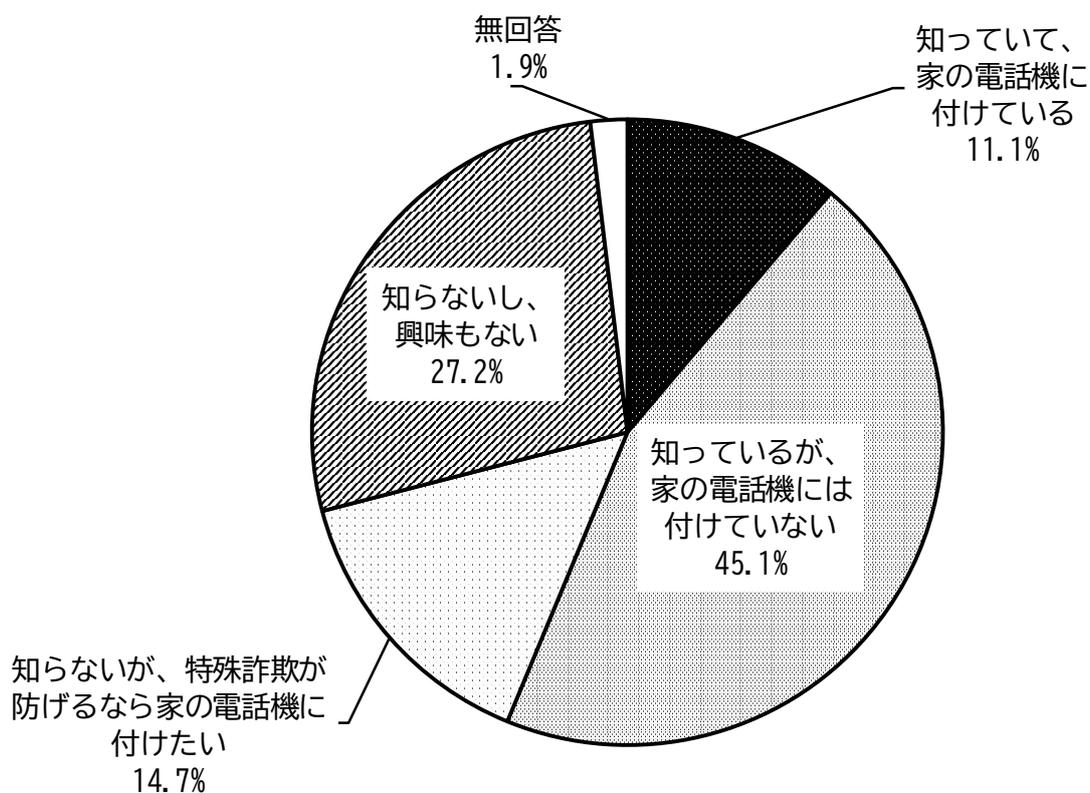


(4)「自動通話録音機」の認知度

問12 特殊詐欺の防止に効果がある「自動通話録音機」について、該当するものを選択してください。(1つのみ)

「自動通話録音機」の認知度については、「知っているが、家の電話機には付けていない」が45.1%で最も高く、次いで「知らないし、興味もない」が27.2%、「知らないが、特殊詐欺が防げるなら家の電話機に付けたい」が14.7%、「知っている、家の電話機に付けている」が11.1%となっている。

全体 n=1005



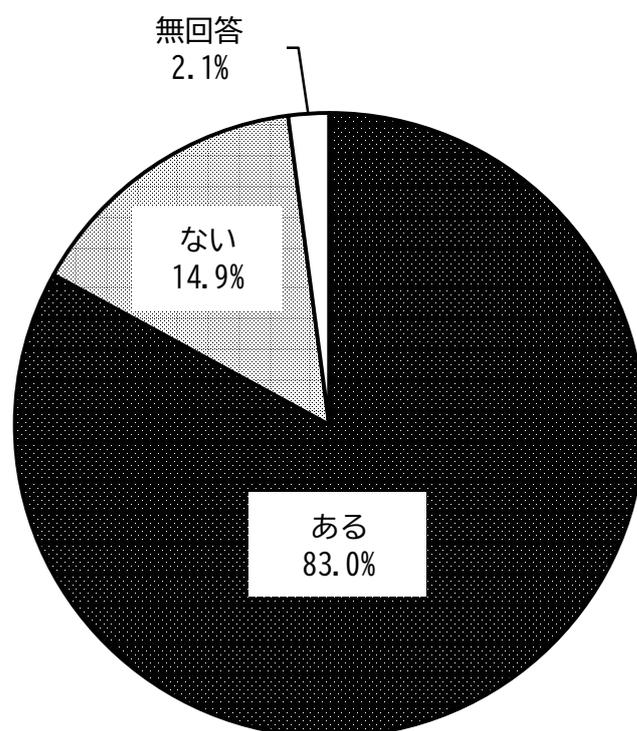
5 商店街について

(1) 商店街を訪れる機会

問13 買い物や食事、イベント等で商店街を訪れることがありますか。(1つのみ)

商店街を訪れる機会については、「ある」が83.0%となっている。一方、「ない」は14.9%と、「ある」が68.1ポイント上回っている。

全体 n=1005



6 公園・緑・景観について

(1) 公園の満足度

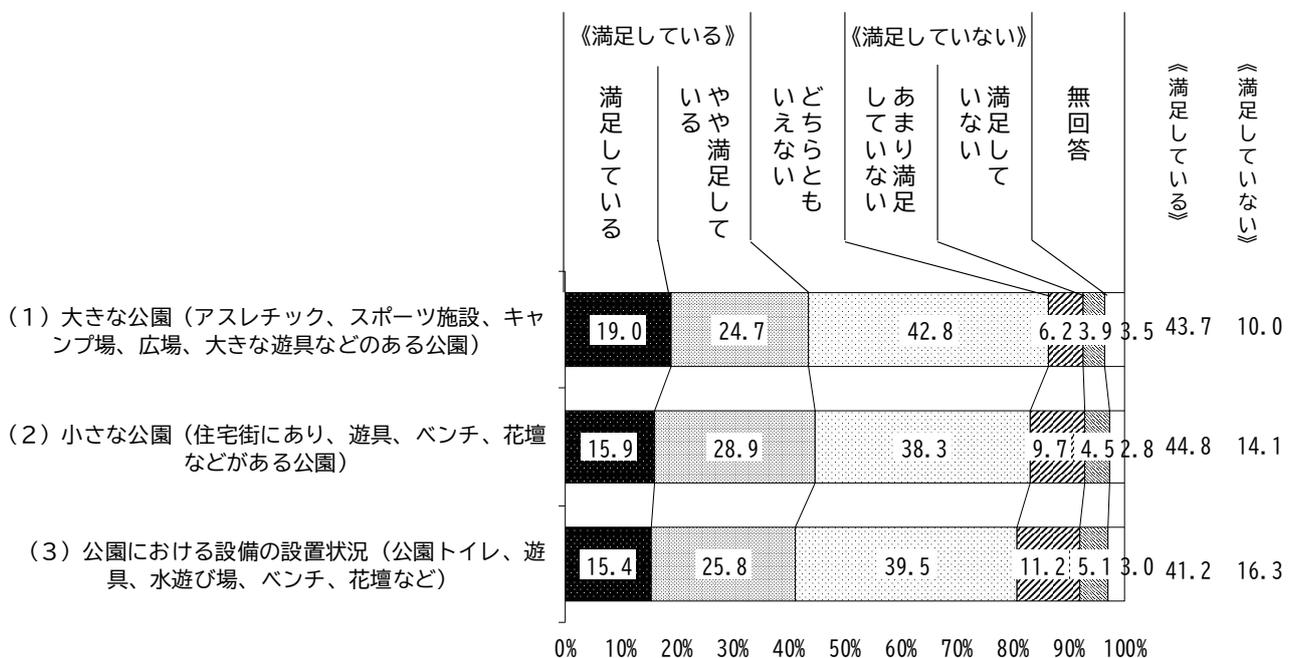
問14 公園について、どの程度満足していますか。(それぞれ1つのみ)

- (1) 大きな公園（アスレチック、スポーツ施設、キャンプ場、広場、大きな遊具などのある公園）
- (2) 小さな公園（住宅街にあり、遊具、ベンチ、花壇などがある公園）
- (3) 公園における設備の設置状況（公園トイレ、遊具、水遊び場、ベンチ、花壇など）

公園の満足度については、(1) 大きな公園（アスレチック、スポーツ施設、キャンプ場、広場、大きな遊具などのある公園）は「満足している」、「やや満足している」の合計値《満足している》が43.7%となっている。一方、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》が10.0%と、《満足している》が33.7ポイント上回っている。

(2) 小さな公園（住宅街にあり、遊具、ベンチ、花壇などがある公園）は《満足している》が44.8%となっている。一方《満足していない》が14.1%と、《満足している》が30.7ポイント上回っている。

(3) 公園における設備の設置状況（公園トイレ、遊具、水遊び場、ベンチ、花壇など）は《満足している》が41.2%となっている。一方《満足していない》が16.3%と、《満足している》が24.9ポイント上回っている。

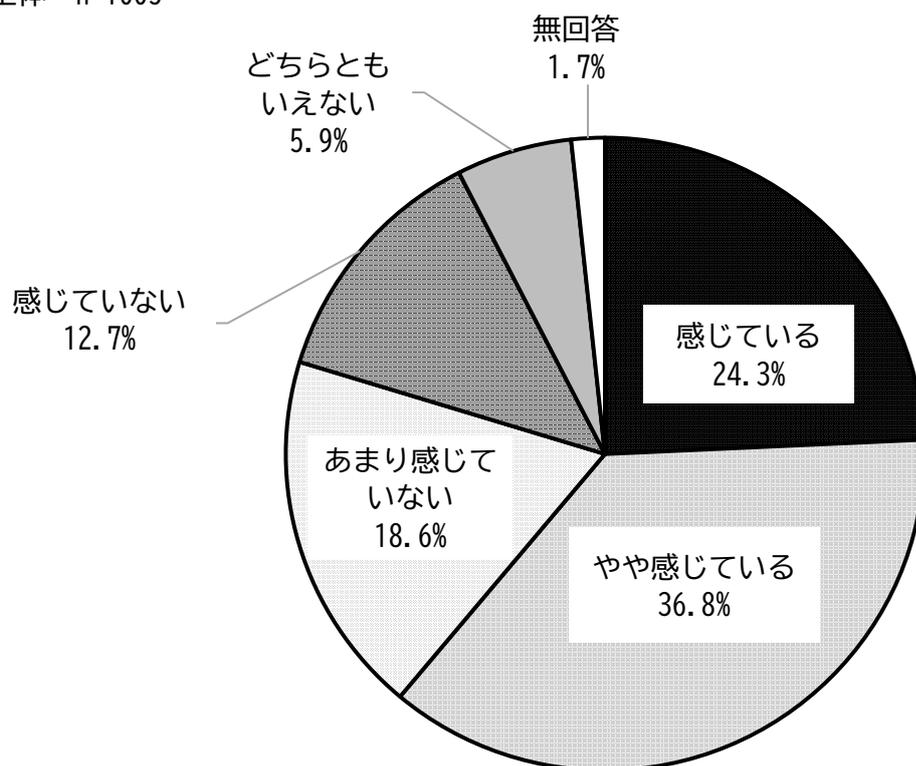


(2) 身近な場所での水や緑への親しみ

問15 身近な場所で水や緑に親しめると感じていますか。(1つのみ)

身近な場所で水や緑については、親しめると「感じている」、「やや感じている」の合計値《感じている》が61.1%となっている。一方、「あまり感じていない」、「感じていない」の合計値《感じていない》が31.3%と、《感じている》が29.8ポイント上回っている。

全体 n=1005

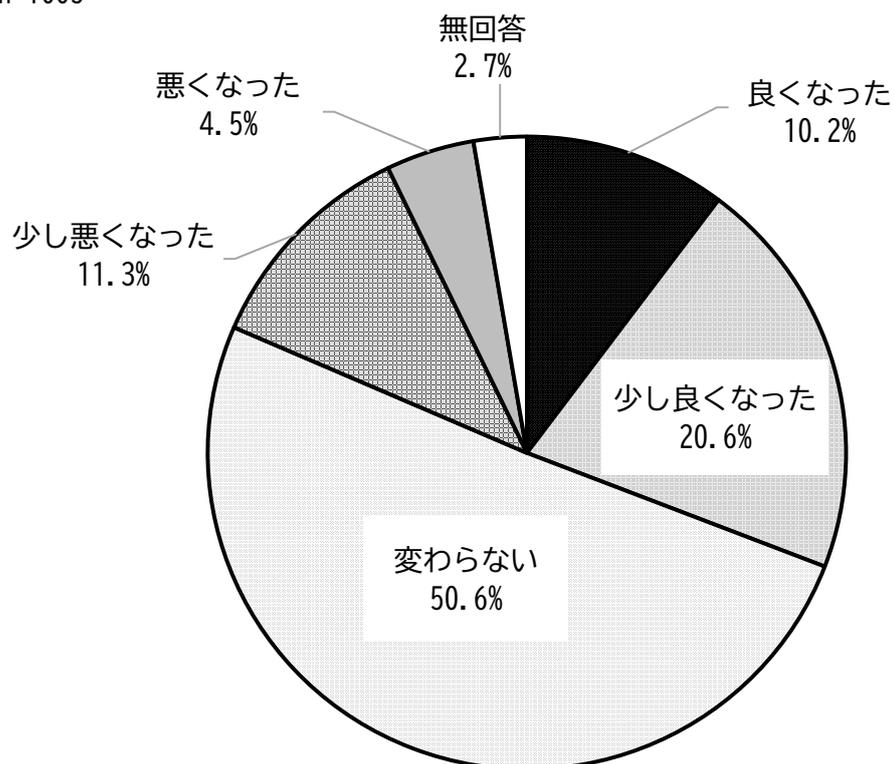


(3) 地域の景観

問16 概ね10年前（大田区に住んで10年未満の方は、住み始めた頃）と比べて、お住いの地域の景観をどう感じますか。（1つのみ）

地域の景観の状況については、「良くなった」、「少し良くなった」の合計値《良くなった》が30.8%、「少し悪くなった」、「悪くなった」の合計値《悪くなった》が15.8%となっており、《良くなった》が15.0ポイント上回っている。

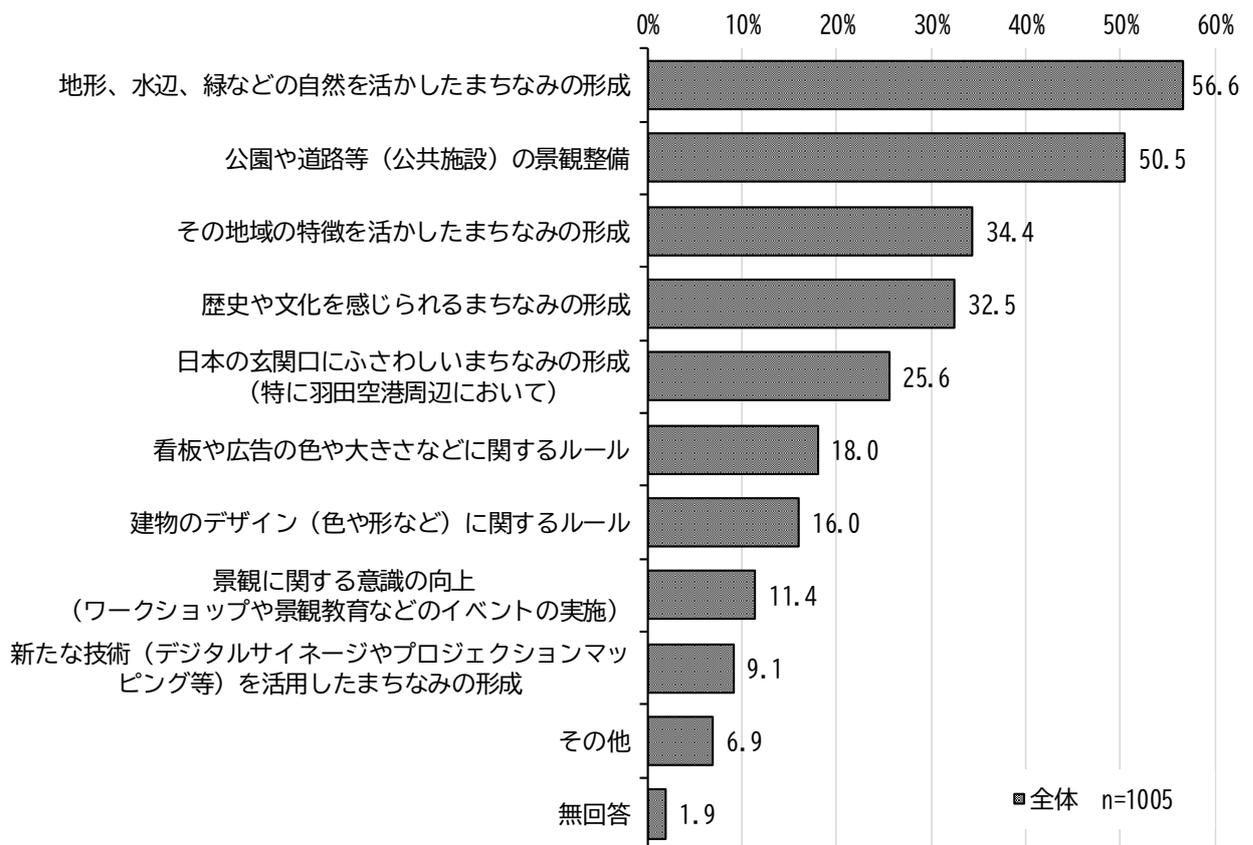
全体 n=1005



(4) 多彩で魅力的な景観のあるまちにするため、重視すべきこと

問17 大田区をより多彩で魅力的な景観のあるまちにするため、重視すべきことは何だと思えますか。(複数選択可)

多彩で魅力的な景観のあるまちにするため、重視すべきことについては、「地形、水辺、緑などの自然を活かしたまちなみの形成」が56.6%で最も高く、次いで「公園や道路等（公共施設）の景観整備」が50.5%、「その地域の特徴を活かしたまちなみの形成」が34.4%となっている。

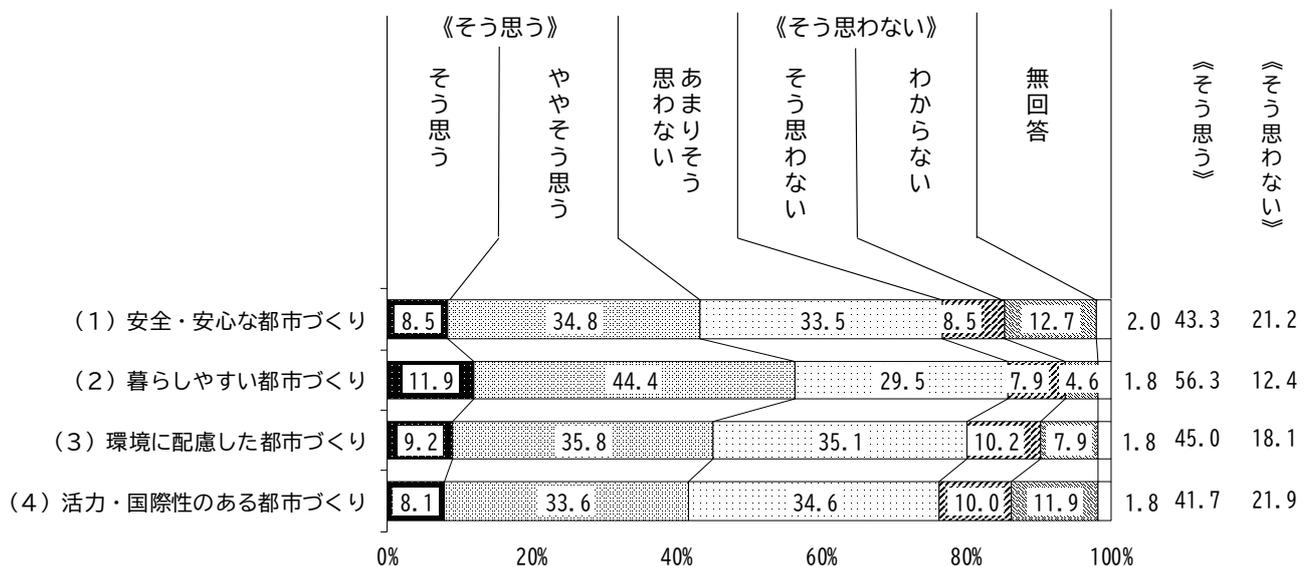


(5) まちづくりの進捗に関する実感

問18 あなたは、以下の区のまちづくりが進んでいると思いますか。(それぞれ1つのみ)

- (1) 安全・安心な都市づくり
- (2) 暮らしやすい都市づくり
- (3) 環境に配慮した都市づくり
- (4) 活力・国際性のある都市づくり

まちづくりが進んでいるかについては、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《そう思う》は(2)暮らしやすい都市づくりが56.3%で最も高く、次いで(3)環境に配慮した都市づくりが45.0%、(1)安全・安心な都市づくりが43.3%、(4)活力・国際性のある都市づくりが41.7%となっている。



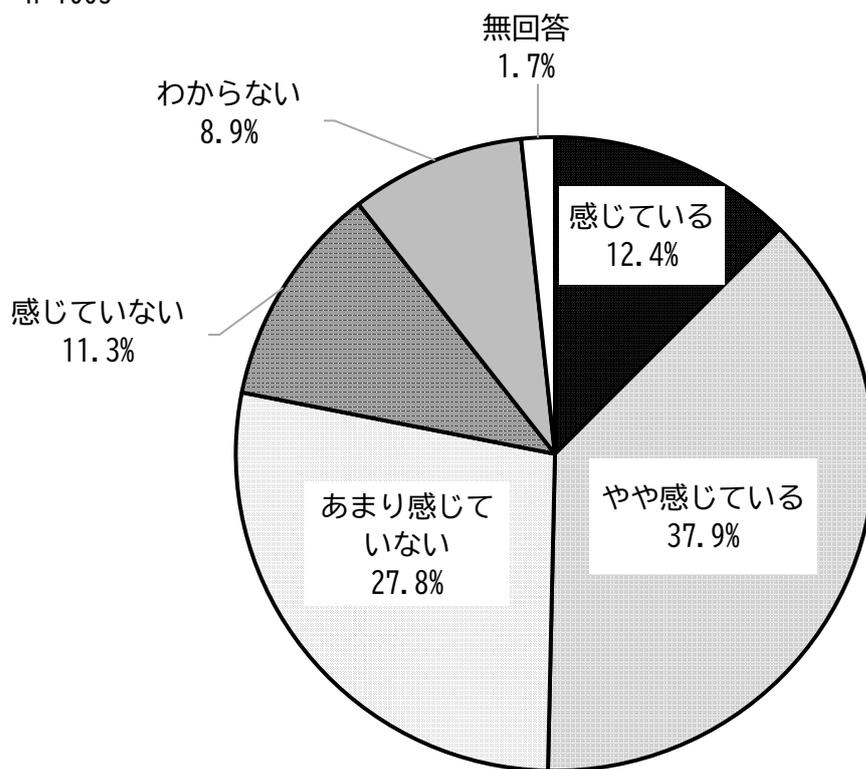
7 鉄道駅周辺のまちづくりについて

(1) 駅周辺の整備の進捗度

問 19 区は、「大田区鉄道沿線まちづくり構想」において示した、沿線のまちの将来像やその実現に向けた道筋に基づき、官民が協働し、地域特性や限られた空間を最大限有効に活用しながら、安全かつ快適で利便性の高い個性的な都市空間を創出するよう取り組んでいます。現在、大田区内の駅周辺の整備が進んでいると感じますか。(1つのみ)

駅周辺の整備の進捗度については、「感じている」、「やや感じている」の合計値《感じている》が50.3%、「あまり感じていない」、「感じていない」の合計値《感じていない》が39.1%と、《感じている》が11.2ポイント上回っている。

全体 n=1005



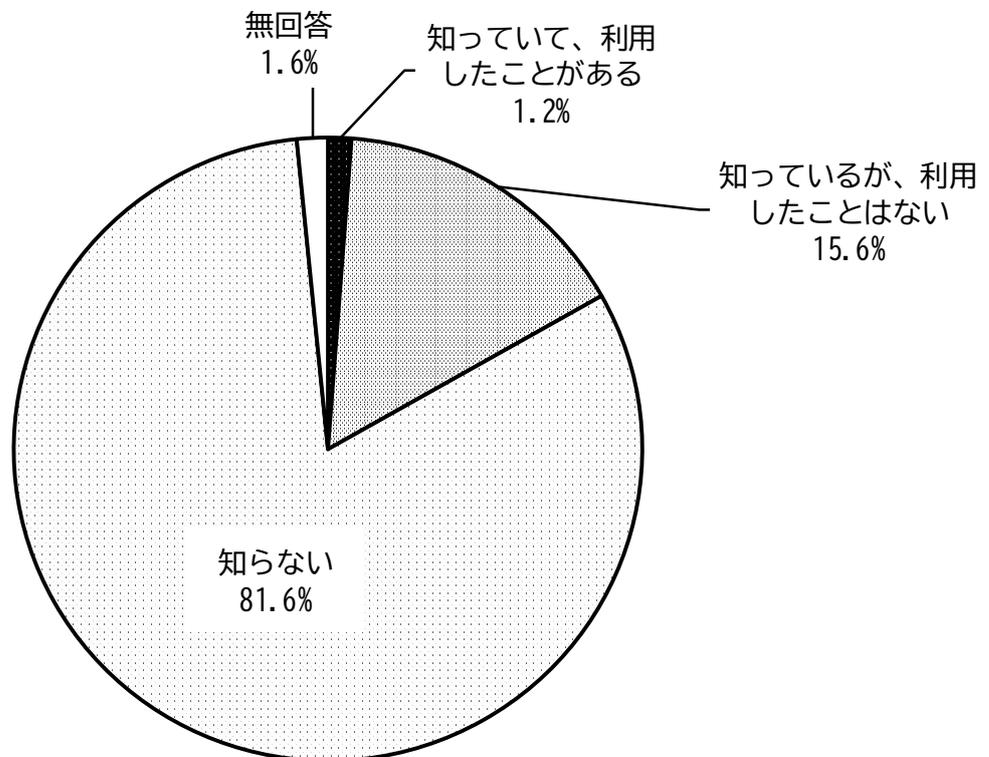
8 国際交流・多文化共生について

(1) おおた国際交流センター (Minto Ota)の認知度

問 20 大田区における国際交流と多文化共生を一体的に進めていく施設として、おおた国際交流センター (Minto Ota)があることを知っていますか。(1つのみ)

おおた国際交流センター (Minto Ota)の認知度については、「知っていて、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》が16.8%となっている。一方、「知らない」が81.6%と、「知らない」が64.8ポイント上回っている。

全体 n=1005

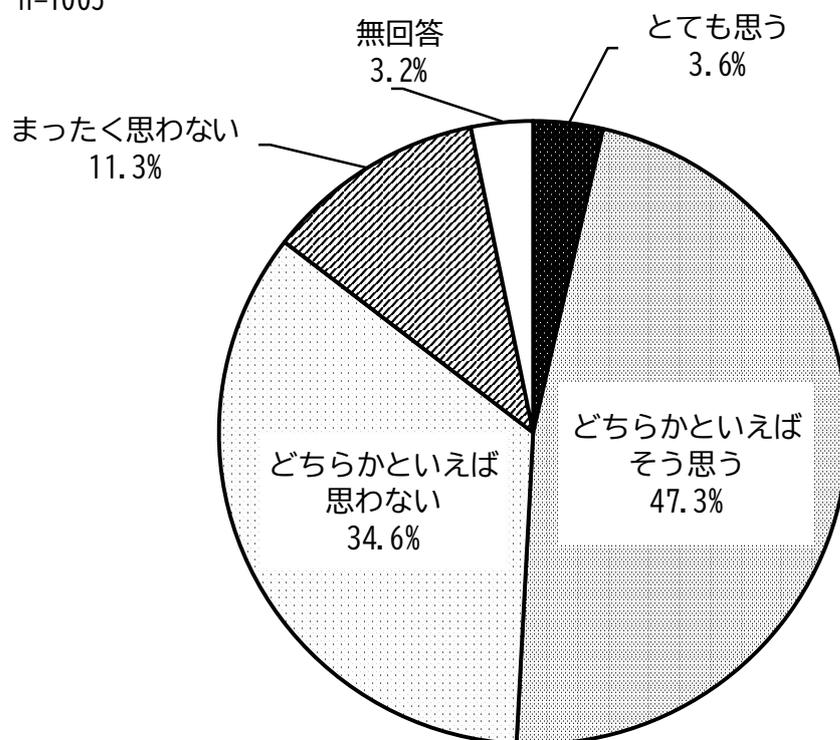


(2) 日本人と外国人の共生

問 21 大田区では日本人と外国人が互いに認め合い、ともに地域社会の構成員として暮らしていると思いますか。(1つのみ)

日本人と外国人の共生については、「とても思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計値《思う》が50.8%、「どちらかといえば思わない」、「まったく思わない」の合計値《思わない》が46.0%と、《思う》が4.8ポイント上回っている。

全体 n=1005



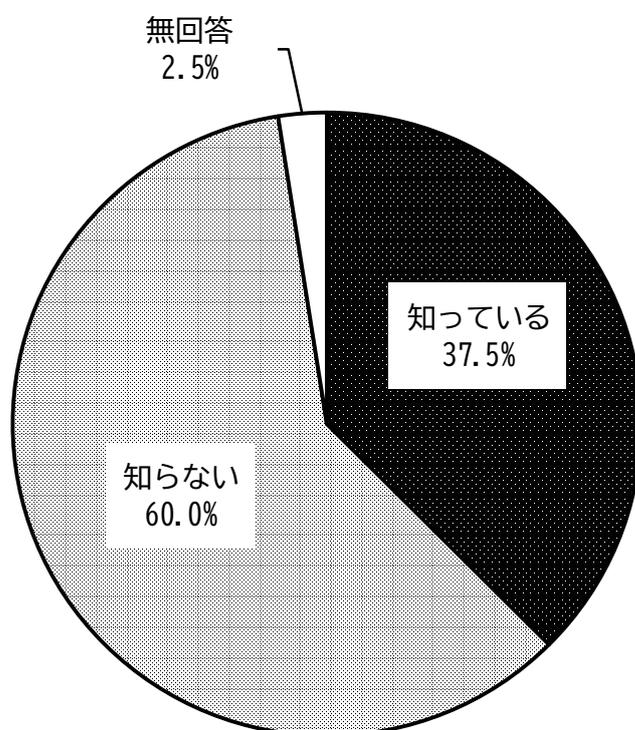
9 羽田空港跡地・羽田イノベーションシティについて

(1) 羽田イノベーションシティの認知度

問 22 羽田空港跡地第1ゾーンに開業した「羽田イノベーションシティ¹¹」について知っていますか。(1つのみ)

羽田イノベーションシティの認知度については、「知っている」が37.5%となっている。一方、「知らない」が60.0%と、「知らない」が22.5ポイント上回っている。

全体 n=1005



¹¹ 「新産業創造・発信拠点」の形成に向けて、世界と地域をつなぐゲートウェイとして、国内外のヒト・モノ・情報を集積し、ここに集う国内外のプレイヤーが互いに交流することによる新たなビジネスやイノベーションの創造や、国内外に日本のものづくり技術や日本各地域の魅力を発信する目的で整備したまち

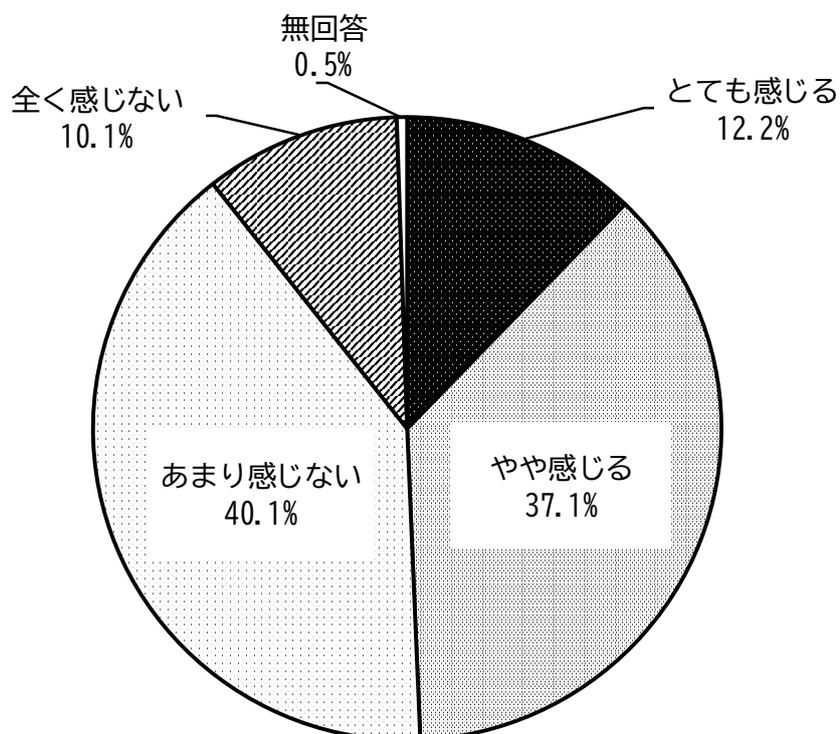
(2) 羽田イノベーションシティへの期待感や満足感

【問 22 で「1 知っている」と回答した方に伺います。】

問 22-1 羽田イノベーションシティのようなまちができたことについて、区民として期待感や満足感、誇らしさを感じますか。(1つのみ)

羽田イノベーションシティへの期待感や満足感については、「とても感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》は49.3%となっている。一方、「あまり感じない」、「まったく感じない」の合計値《感じない》は50.1%と、《感じる》が0.8ポイント上回っている。

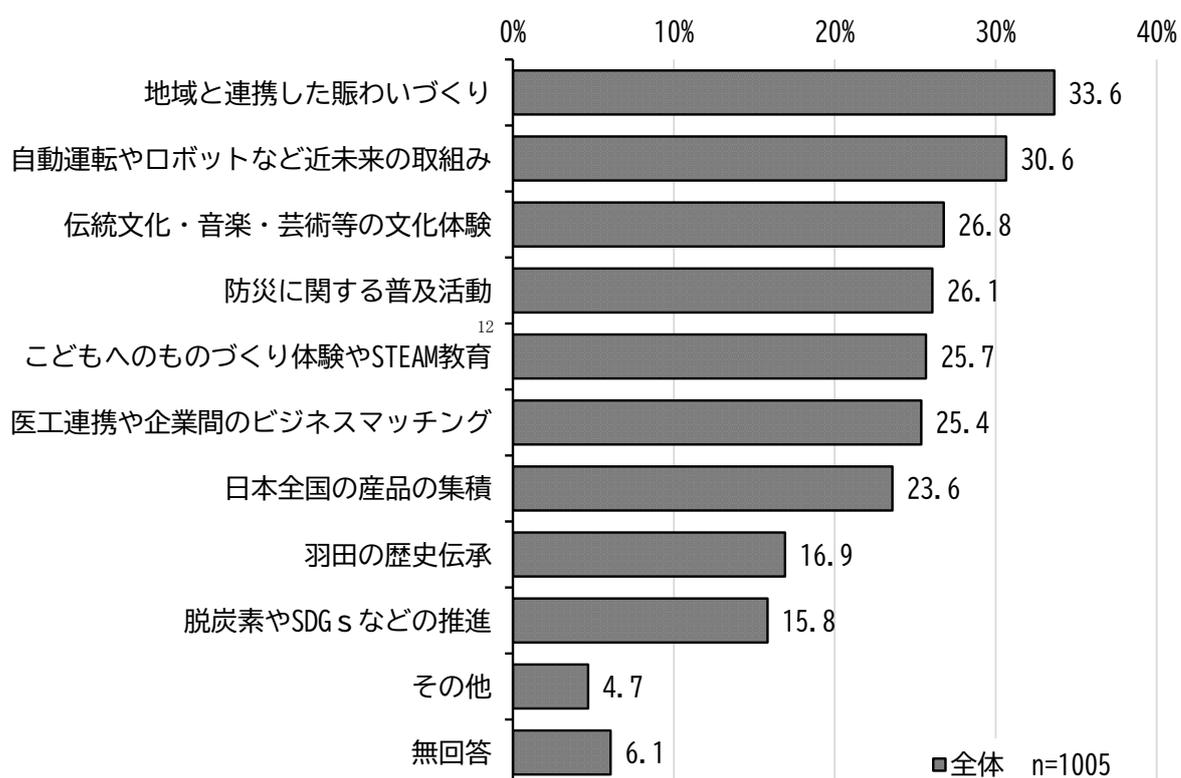
全体 n=377



(3) 羽田イノベーションシティの取組みのうち、期待するもの

問 23 羽田イノベーションシティの取組みのうち、期待するものはありますか。(複数選択可)

羽田イノベーションシティの取組みのうち、期待するものについては、「地域と連携した賑わいづくり」が33.6%と最も高く、次いで「自動運転やロボットなど近未来の取組み」が30.6%、「伝統文化・音楽・芸術等の文化体験」が26.8%となっている。



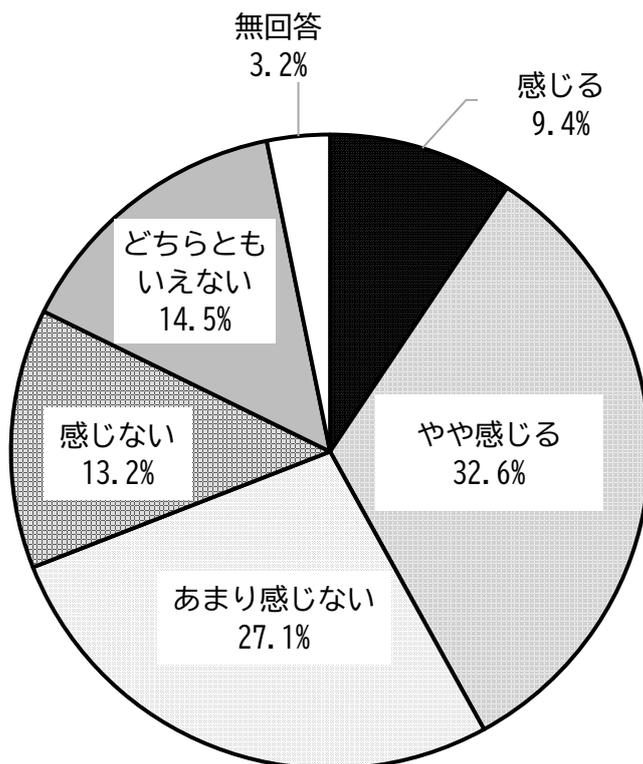
¹² Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Mathematics (数学) を統合的に学習する「STEM (ステム) 教育」に、さらに Arts (美術、音楽、文学、歴史に関わる学習等) を統合する教育手法

(4) 遊ぶ場所、働く場所としての空港臨海部の魅力

問 24 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。(1つのみ)

遊ぶ場所、働く場所としての空港臨海部の魅力については、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》は42.0%となっている。一方、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》は40.3%と、《感じる》が1.7ポイント上回っている。

全体 n=1005

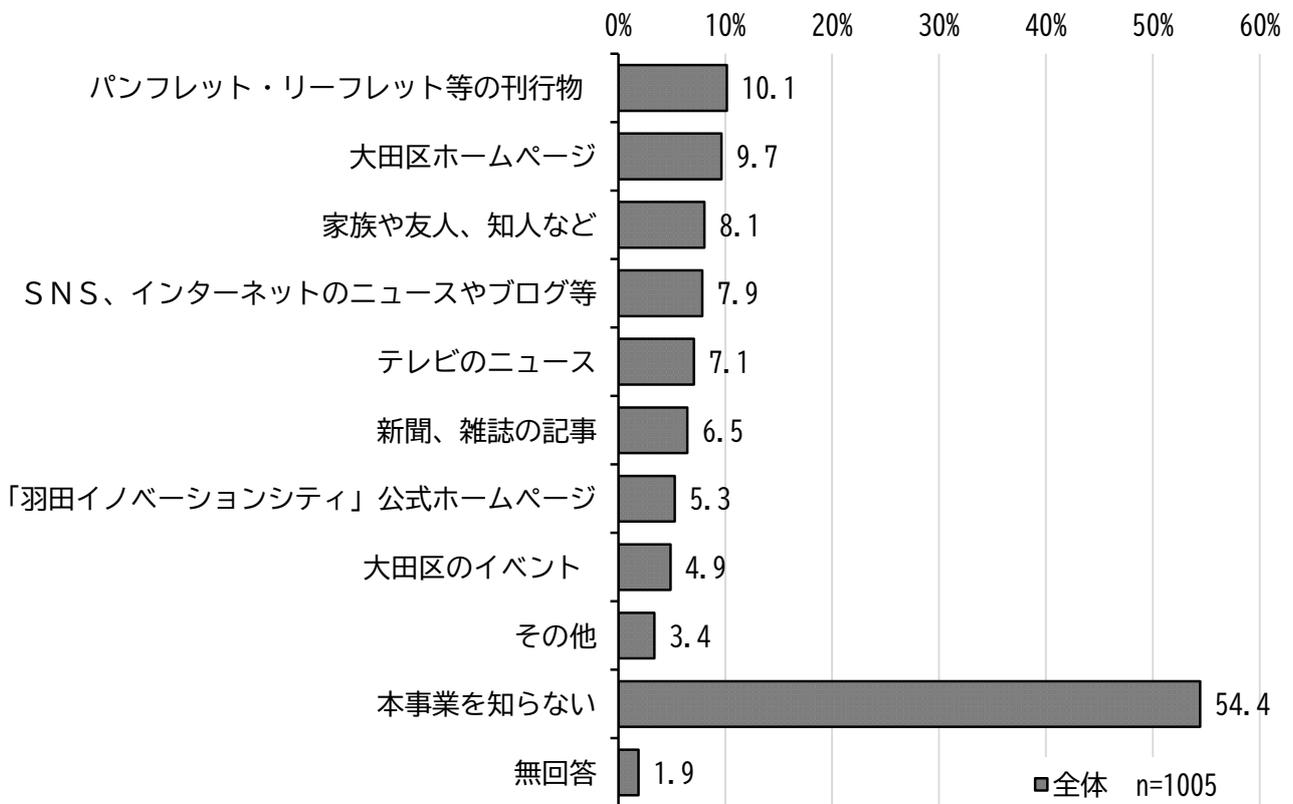


(5) 羽田空港跡地まちづくりを知る手段

問 25 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業（ZeppHaneda 等のある HiCity を含む）」が進められていることについて、どのように知りましたか。（複数選択可）

羽田空港跡地まちづくりを知る手段は、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が10.1%で最も高く、次いで「大田区ホームページ」が9.7%、「家族や友人、知人など」が8.1%、「SNS、インターネットのニュースやブログ等」が7.9%となっている。

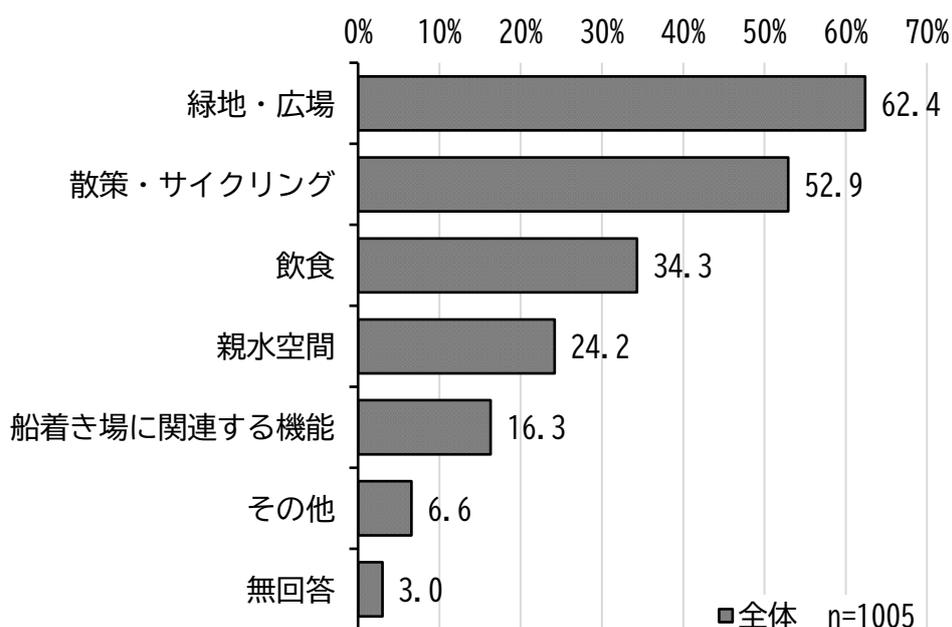
なお、「本事業を知らない」は54.4%となっている。



(6) 羽田空港跡地第1ゾーンに望む機能

問 26 羽田空港跡地第1ゾーンで国が所管している天空橋駅西側、海老取川沿い、区画街路第4号線南側については、具体的な整備・運営方針は未定ですが、これらの場所にどのような機能があったらいいと考えますか。(複数選択可)

羽田空港跡地第1ゾーン整備に望む機能は、「緑地・広場」が62.4%で最も高く、次いで「散策・サイクリング」が52.9%、「飲食」が34.3%、「親水空間」が24.2%となっている。

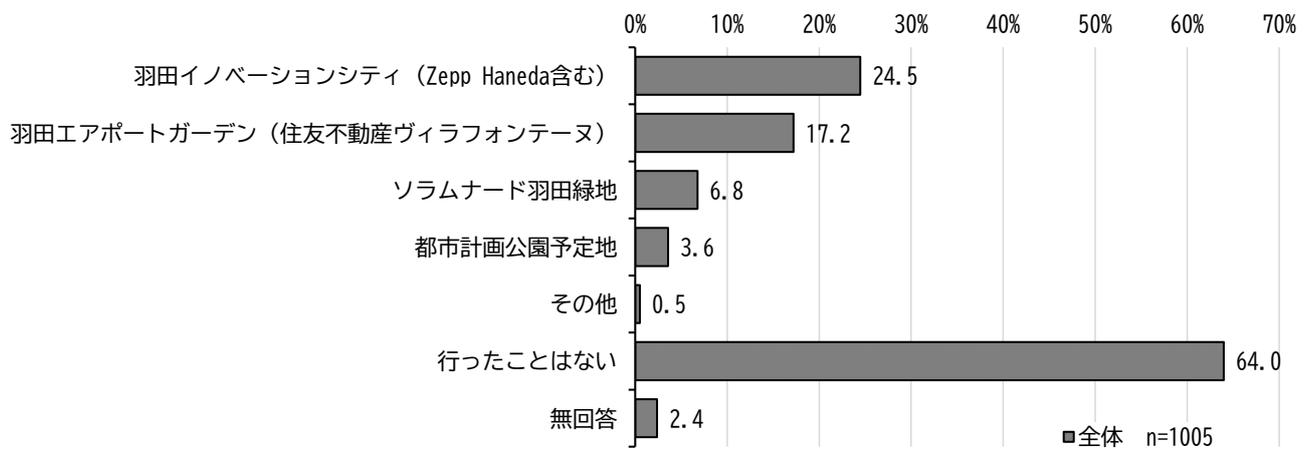


(7) HANEDA GLOBAL WINGS エリアの利用したことがある施設

問 27 HANEDA GLOBAL WINGS エリア内の以下の施設や場所に行ったことがありますか。
行ったことのある場所すべてに○をつけてください。

HANEDA GLOBAL WINGS エリアの利用したことがある施設については、「羽田イノベーションシティ (Zepp Haneda 含む)」が 24.5%で最も高く、次いで「羽田エアポートガーデン (住友不動産ヴィラフォンテーヌ)」が 17.2%、「ソラムナード羽田緑地」が 6.8%となっている。

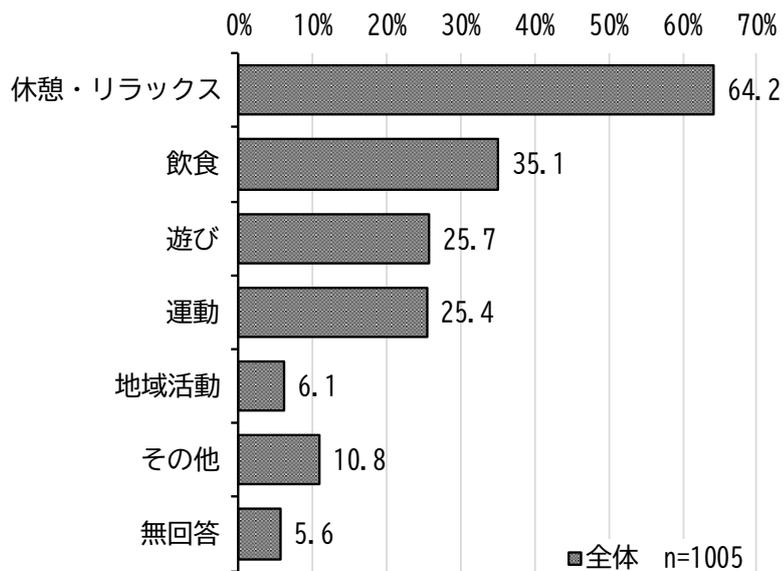
なお、「行ったことはない」は 64.0%となっている。



(8)「ソラムナード羽田緑地」でしたいこと

問 28 「ソラムナード羽田緑地」でしたいことはありますか。(複数選択可)

「ソラムナード羽田緑地」でしたいことについては、「休憩・リラックス」が64.2%で最も高く、次いで「飲食」が35.1%、「遊び」が25.7%、「運動」が25.4%となっている。



V 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査④

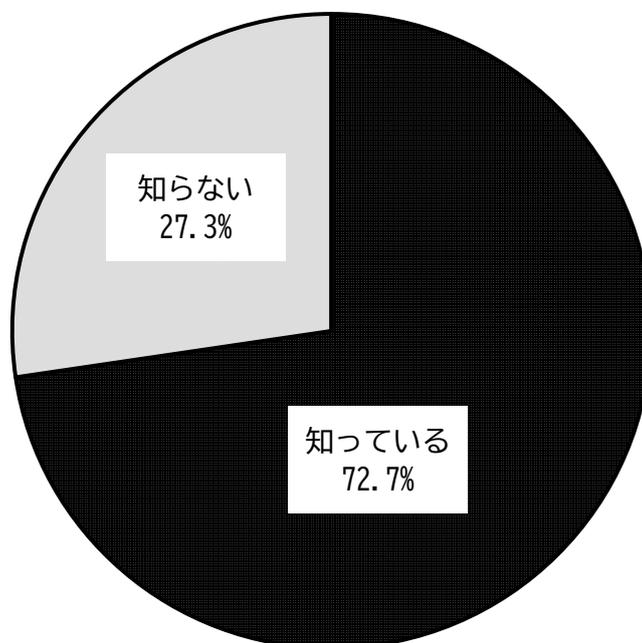
1 心の相談・居場所について

(1) 悩みや心配事を相談できる場所の有無

問1 あなたは、悩みや心配事があるときに、相談できる場所を知っていますか。
(1つのみ)

悩みや心配事を相談できる場所の有無については、「知っている」が72.7%となっている。一方、「知らない」が27.3%と、「知っている」が45.4ポイント上回っている。

全体 n=567

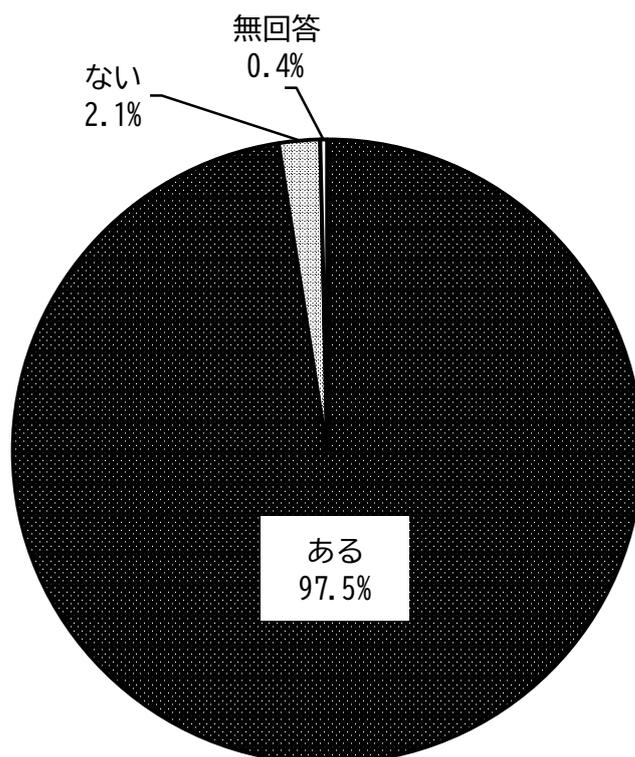


(2) 自分らしく過ごせたり、居心地がよいと感じる居場所の有無

問2 (自宅を含めて) あなたには、自分らしく過ごせたり、居心地がよいと感じる居場所はありますか。(1つのみ)

自分らしく過ごせたり、居心地がよいと感じる居場所の有無については、「ある」が97.5%となっている。一方、「ない」が2.1%と、「ある」が95.4ポイント上回っている。

全体 n=567



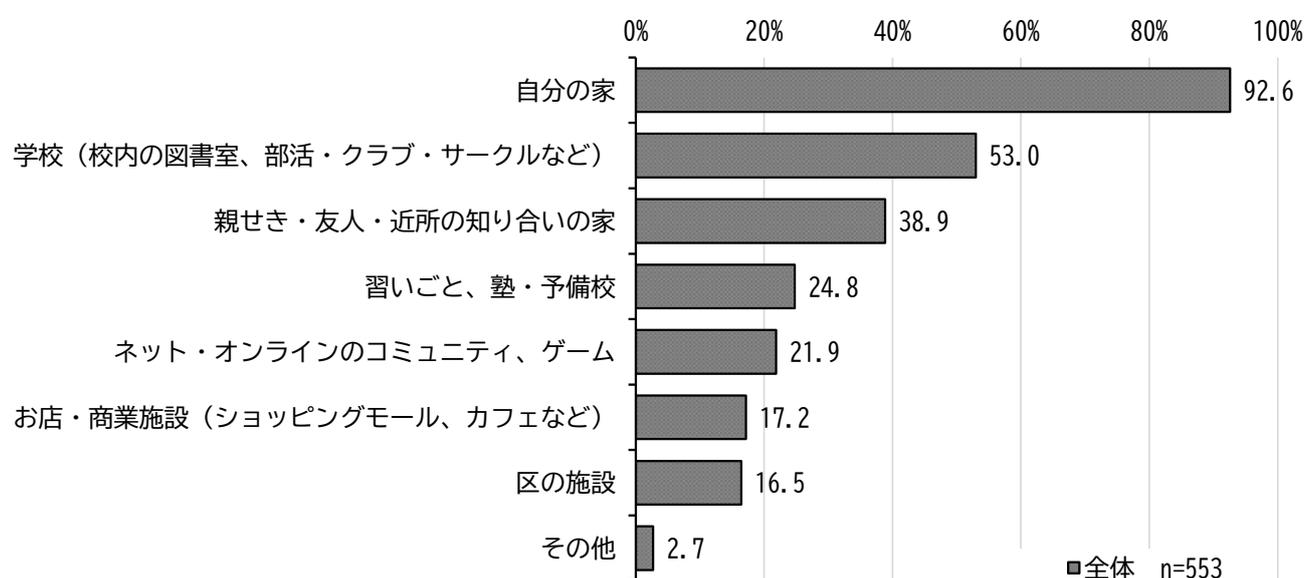
(3) 自分らしく過ごせたり、居心地がよいと感じる居場所

【問2で「1ある」と回答した方に伺います。】

問2-1 あなたが、自分らしく過ごせたり、居心地がよいと感じる居場所は次のうちどこですか。(いくつでも)

自分らしく過ごせたり、居心地がよいと感じる居場所については、「自分の家」が92.6%で最も高く、次いで「学校（校内の図書室、部活・クラブ・サークルなど）」が53.0%、「親せき・友人・近所の知り合いの家」が38.9%となっている。

居場所が複数箇所ある（2つ以上回答した）人は75.4%、1箇所のみは24.6%となっている。



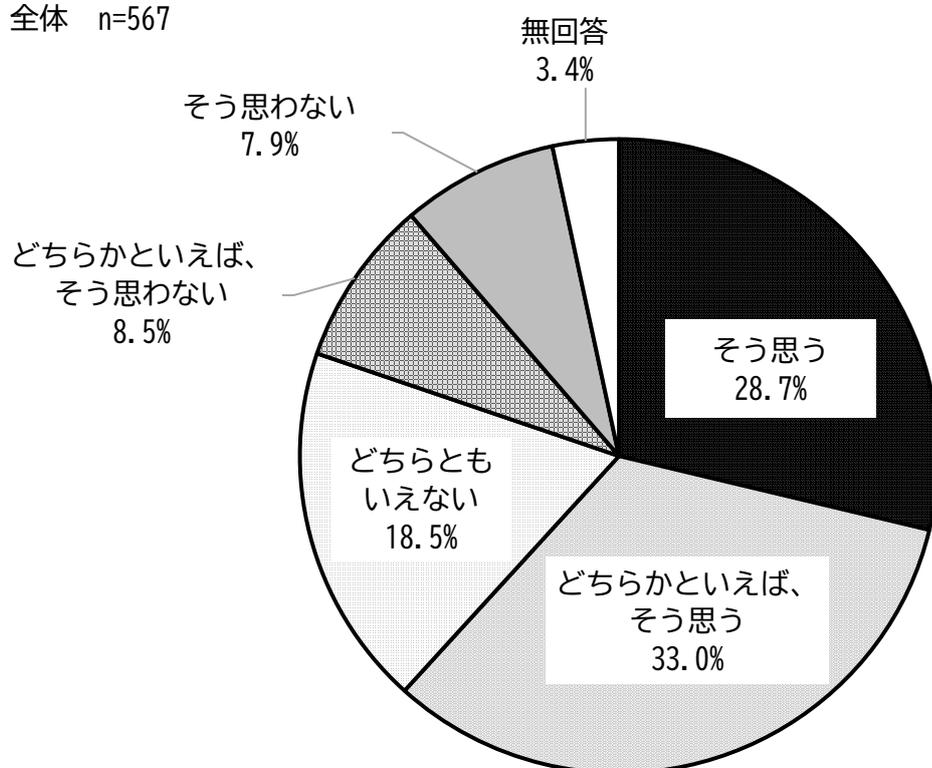
2 教育環境について

(1) 英語でのコミュニケーション

問3 自分とはちがう文化や考えをもつ外国の人などと積極的に英語でコミュニケーションをとって話しあいたいと思いますか。(1つのみ)

英語でコミュニケーションをとって話しあいたいかについては、「そう思う」、「どちらかといえば、そう思う」の合計値《そう思う》が61.7%となっている。一方「どちらかといえば、そう思わない」、「そう思わない」の合計値《そう思わない》が16.4%と、《そう思う》が45.3ポイント上回っている。

全体 n=567

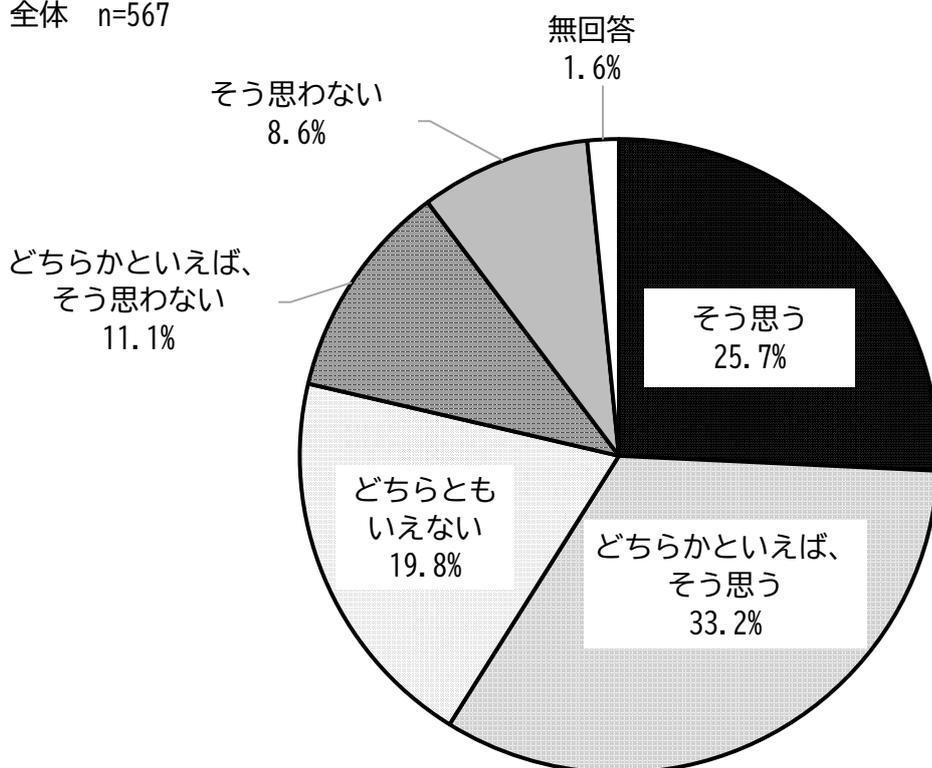


(2) 平等な学びに対する実感

問4 障がいのある人もない人も誰もが平等に学べるようになっていると思いますか。
(1つのみ)

誰もが平等に学べるようになっていると思うかについては、「そう思う」、「どちらかといえば、そう思う」の合計値《そう思う》が58.9%となっている。一方「どちらかといえば、そう思わない」、「そう思わない」の合計値《そう思わない》が19.8%と、《そう思う》が39.1ポイント上回っている。

全体 n=567



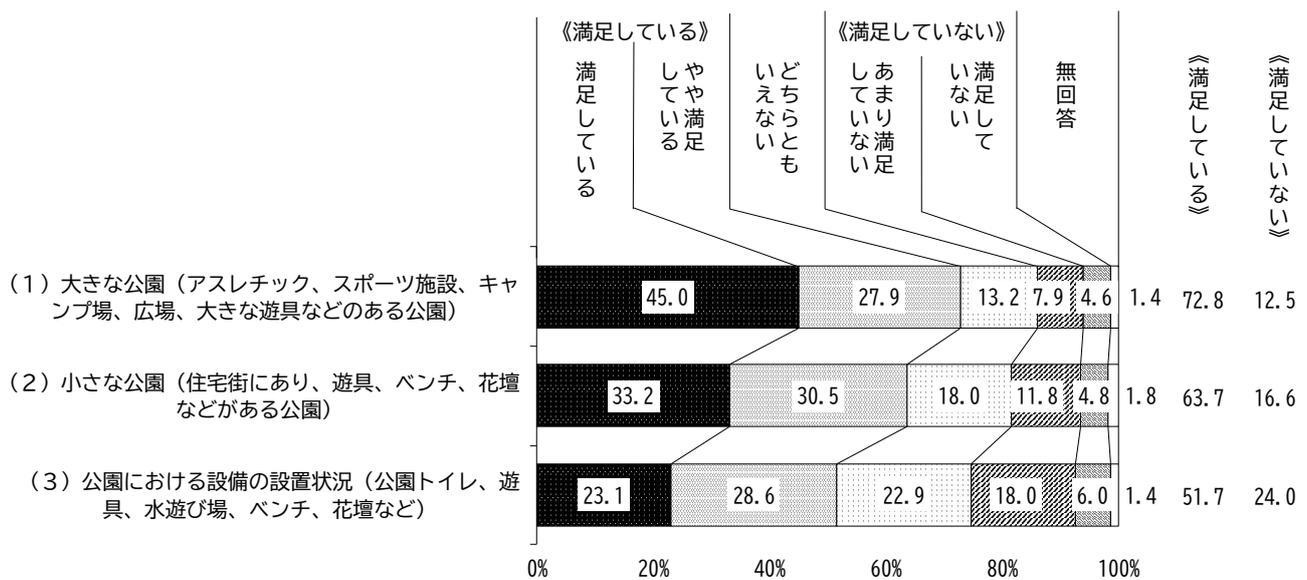
3 公園について

(1) 公園の満足度

問5 公園について、どの程度満足していますか。(それぞれ1つのみ)

- (1) 大きな公園（アスレチック、スポーツ施設、キャンプ場、広場、大きな遊具などのある公園）
- (2) 小さな公園（住宅街にあり、遊具、ベンチ、花壇などがある公園）
- (3) 公園における設備の設置状況（公園トイレ、遊具、水遊び場、ベンチ、花壇など）

公園の満足度については、「満足している」、「やや満足している」の合計値《満足している》は(1)大きな公園（アスレチック、スポーツ施設、キャンプ場、広場、大きな遊具などのある公園）が72.8%で最も高く、次いで(2)小さな公園（住宅街にあり、遊具、ベンチ、花壇などがある公園）が63.7%、(3)公園における設備の設置状況（公園トイレ、遊具、水遊び場、ベンチ、花壇など）が51.7%となっている。

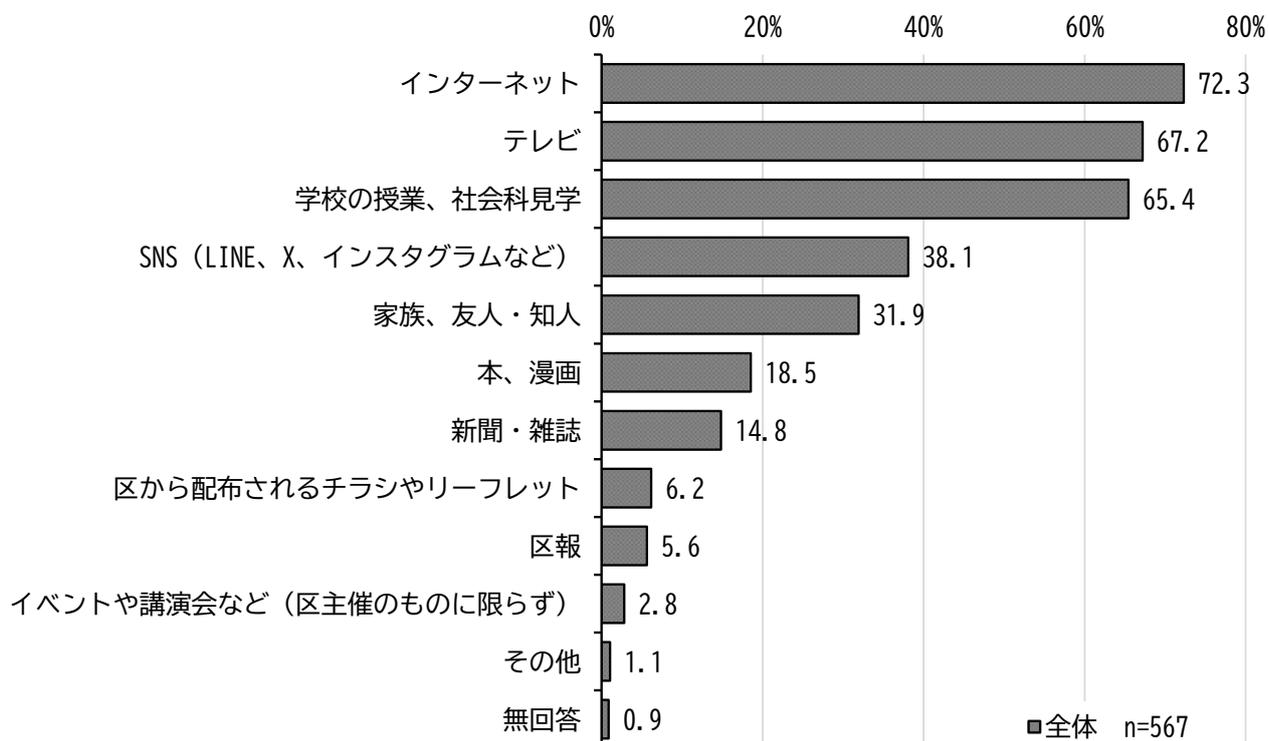


4 環境問題について

(1) 環境問題に関する情報の収集方法

問6 環境問題に関する情報をどのように収集していますか。(いくつでも)

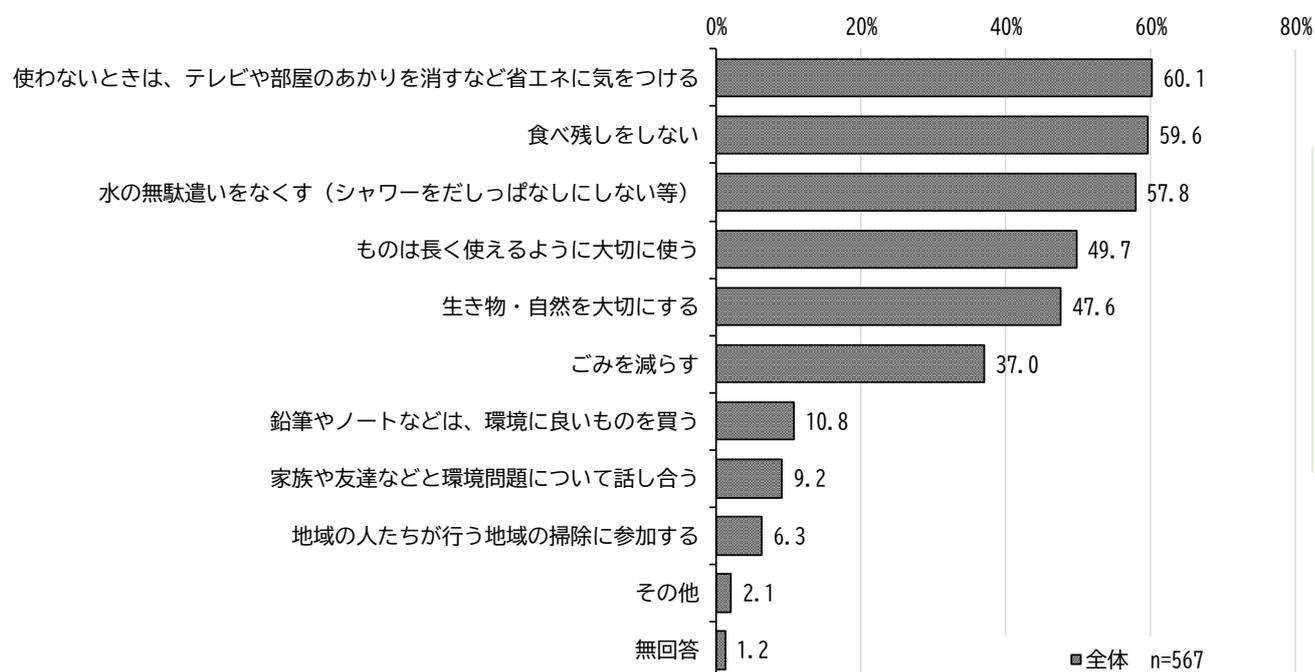
環境問題に関する情報の収集方法については、「インターネット」が72.3%で最も高く、次いで「テレビ」が67.2%、「学校の授業、社会科見学」が65.4%となっている。



(2) 環境問題に関する普段の生活での実践

問7 学校などで環境問題に関して学んだこと、体験したことをきっかけに普段の生活で実践するようになったことはありますか。(いくつでも)

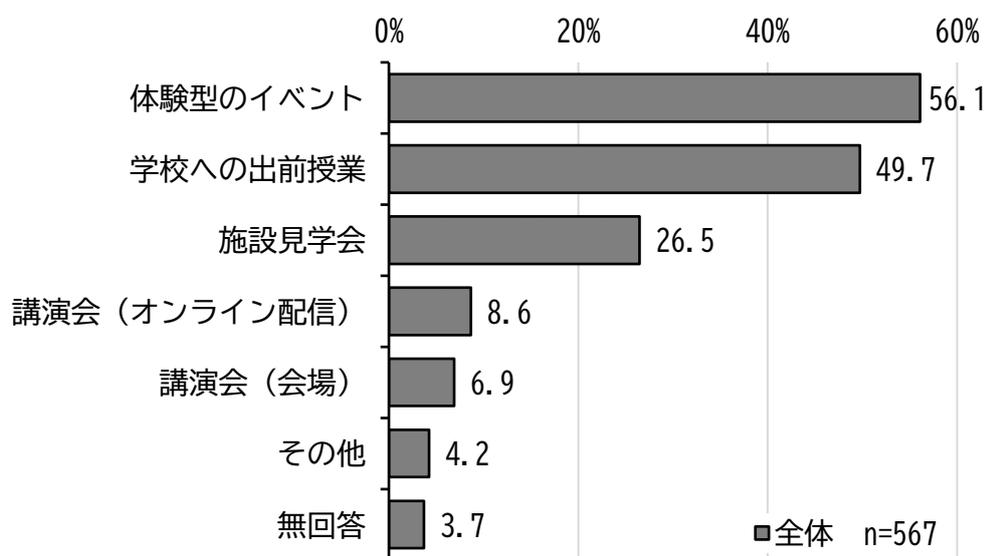
環境学習について普段の生活で実践したことについては、「使わないときは、テレビや部屋のあかりを消すなど省エネに気をつける」が60.1%で最も高く、次いで「食べ残しをしない」が59.6%、「水の無駄遣いをなくす(シャワーをだしっぱなしにしない等)」が57.8%となっている。



(3) 参加したい環境に関するイベント

問8 環境に関するどのようなイベントに参加したいですか。(いくつでも)

参加したい環境に関するイベントについては、「体験型のイベント」が56.1%で最も高く、次いで「学校への出前授業」が49.7%、「施設見学会」が26.5%となっている。



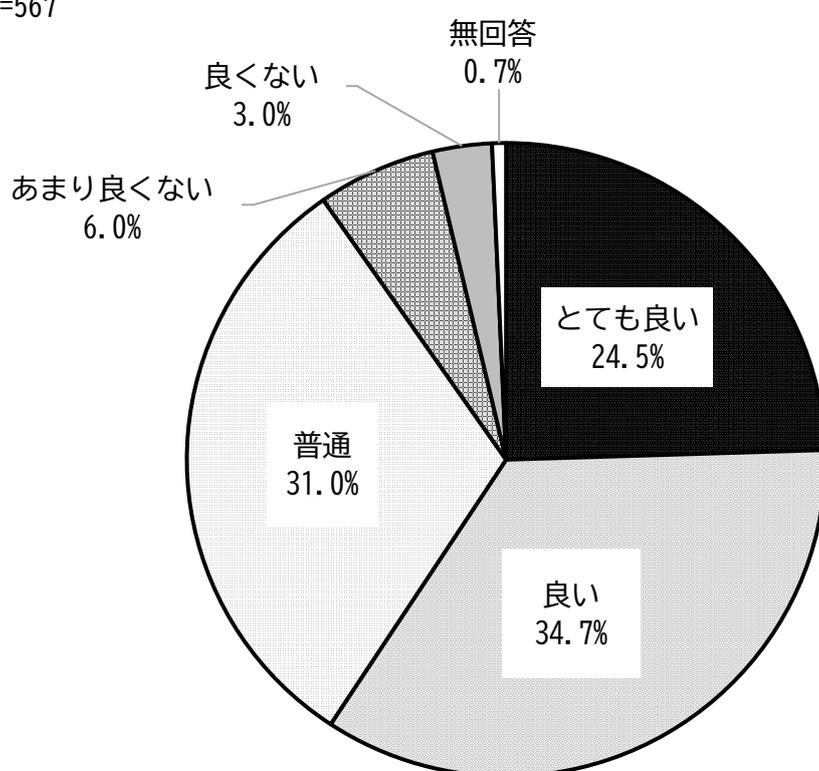
5 景色（景観）について

(1) 住んでいるまちの景色（風景）

問9 あなたの住んでいるまちの景色（風景）を、どのように感じますか。（1つのみ）

お住いの地域の景観をどう感じるかについては、「とても良い」、「良い」の合計値《良い》が59.3%となっている。一方、「あまり良くない」「良くない」の合計値《良くない》が9.0%と、《良い》が50.3ポイント上回っている。

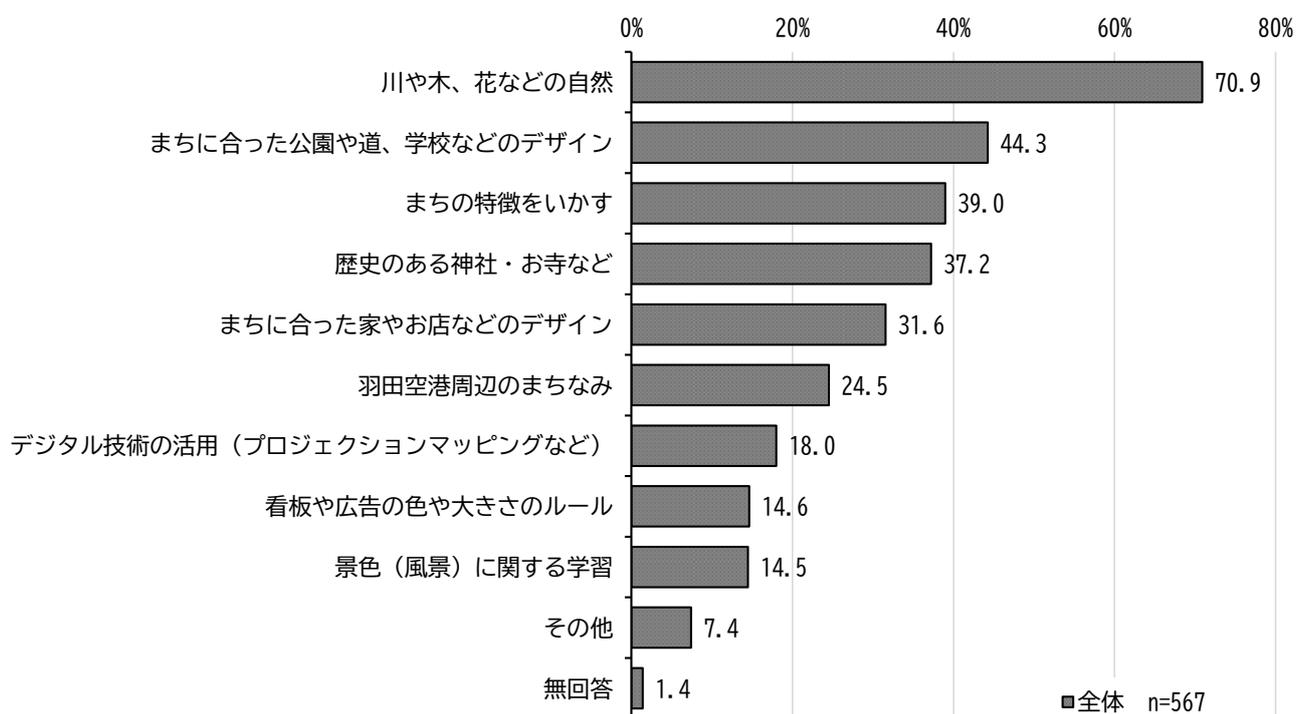
全体 n=567



(2) 景色（風景）を良くするために大切なもの

問10 大田区の景色（風景）を良くするために、大切だと思うものは何ですか。
（いくつでも）

大田区の景色（風景）を良くするために、重視すべきことについては、「川や木、花などの自然」が70.9%と最も高くなっている。次いで「まちに合った家やお店などのデザイン」が44.3%、「まちの特徴をいかす」が39.0%となっている。

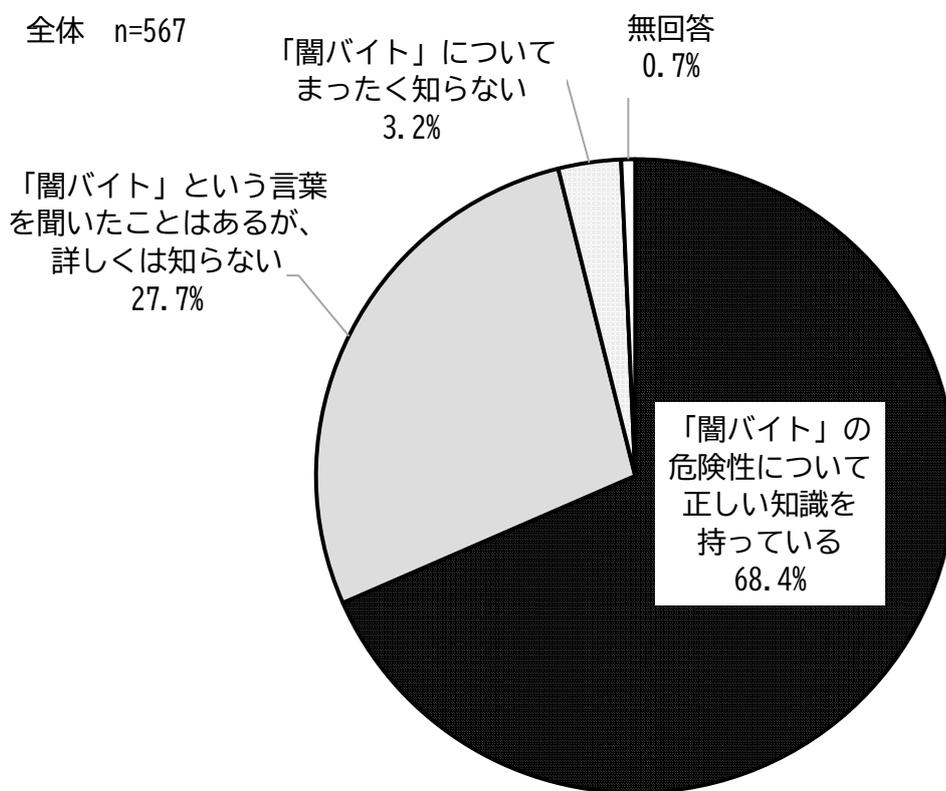


6 闇バイトについて

(1) 「闇バイト」の危険性の理解度

問11 「闇バイト¹³」の危険性について、あなたの知識や理解度をご回答ください。
(1つのみ)

「闇バイト」の危険性の理解度については、「『闇バイト』の危険性について正しい知識を持っている」が68.4%で最も高く、次いで「『闇バイト』という言葉聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が27.7%、「『闇バイト』についてまったく知らない」が3.2%となっている。



¹³ SNS やインターネット掲示板等で、簡単に高収入をもらえるなどの甘い言葉でアルバイトと称して求人を行い、特殊詐欺や強盗の実行犯など、犯罪組織に加担させる手口

VI 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査⑤

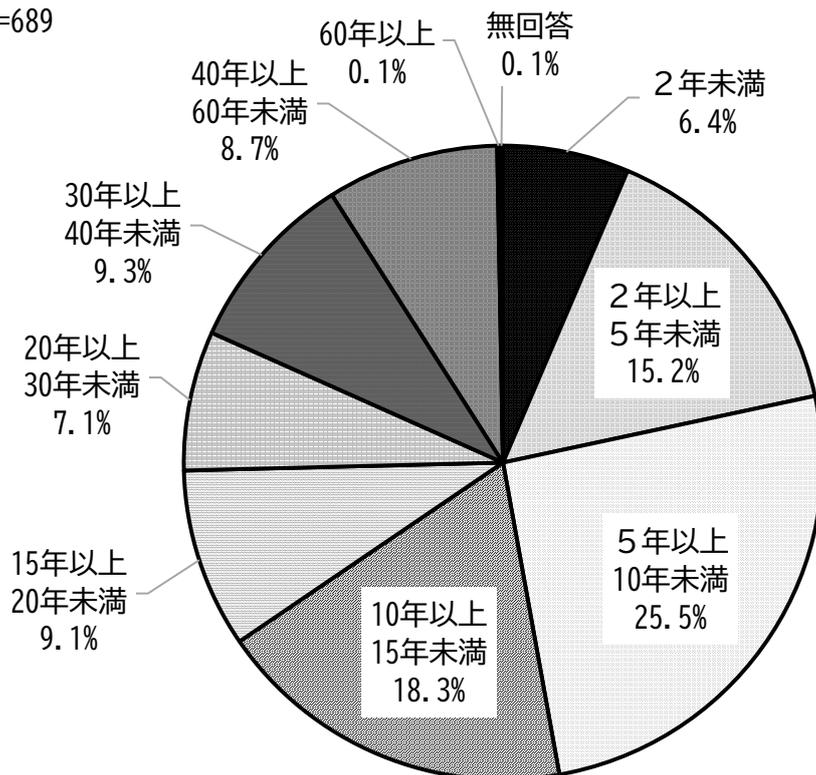
1 居住年数・定住意向について

(1) 居住年数

問1 あなたは大田区に、通算、何年間居住していますか。(1つのみ)

居住年数については、「5年以上10年未満」が25.5%と最も高く、次いで「10年以上15年未満」が18.3%、「2年以上5年未満」が15.2%となっている。

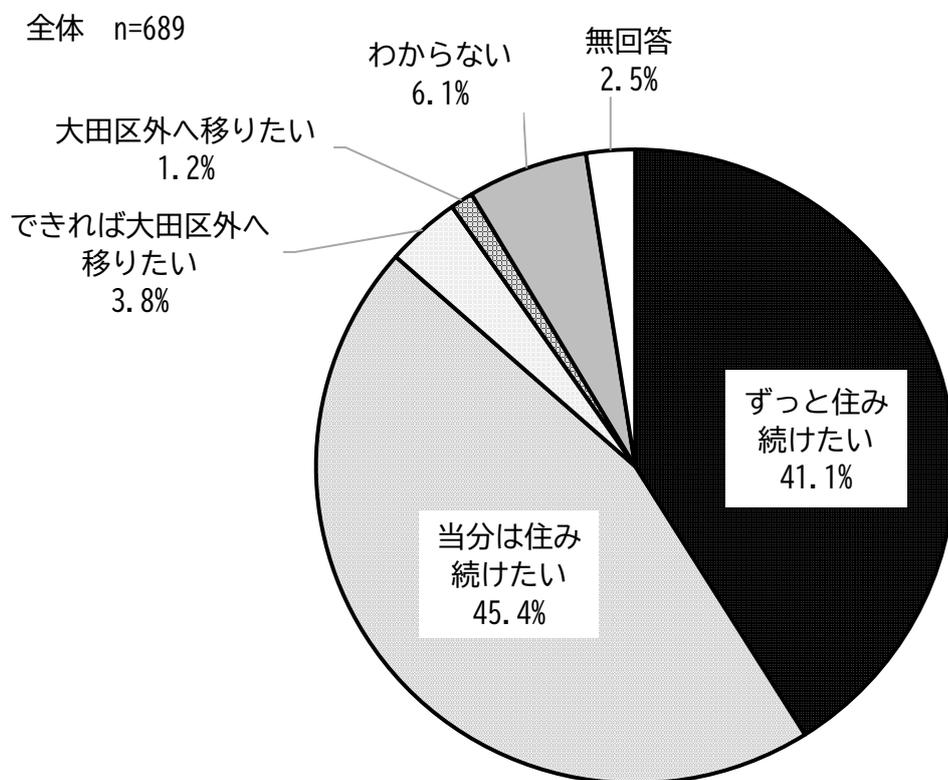
全体 n=689



(2) 定住意向

問2 これからも大田区に住みたいと思いますか。(1つのみ)

今後の居住意向については、「ずっと住みたい」、「当分は住みたい」の合計値《住みたい》が86.5%となっている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」、「大田区外へ移りたい」の合計値《大田区外へ移りたい》が4.9%と、《住みたい》が81.6ポイント上回っている。

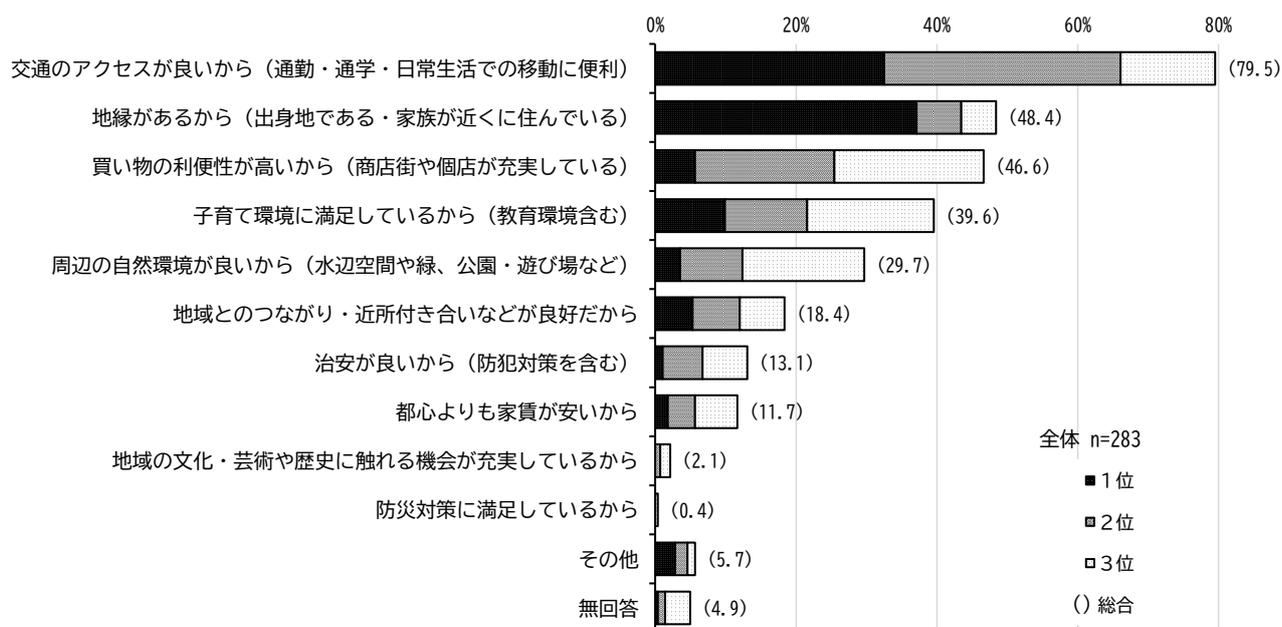


(3) 大田区に住み続けたい理由

【問2で「1ずっと住み続けたい」と回答した方に伺います。】

問2-1 「ずっと住み続けたい」理由は何ですか。(上位3つを選択)

大田区に住み続けたい理由については、「交通のアクセスが良いから（通勤・通学・日常生活での移動に便利）」が79.5%で最も高く、次いで「地縁があるから（出身地である・家族が近くに住んでいる）」が48.4%、「買い物の利便性が高いから（商店街や個店が充実している）」が46.6%となっている。



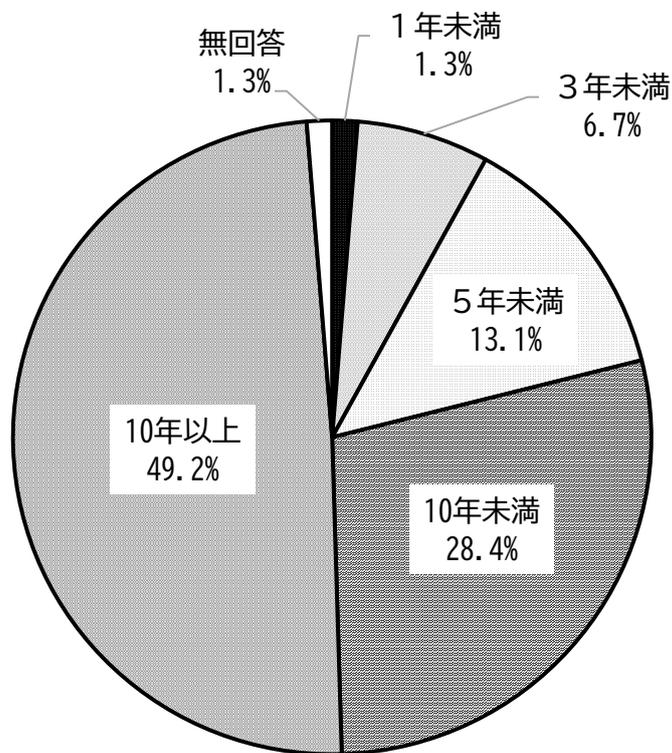
(4) 大田区に住み続けたい期間

【問2で「2 当分は住み続けたい」と回答した方に伺います。】

問 2-2 「当分は住み続けたい」とはどのくらいの期間で理由は何ですか。(1つのみ)

大田区に住み続けたい期間については、「10 年以上」が 49.2%で最も高く、次いで「10 年未満」が 28.4%、「5 年未満」が 13.1%、「3 年未満」が 6.7%となっている。

全体 n=313

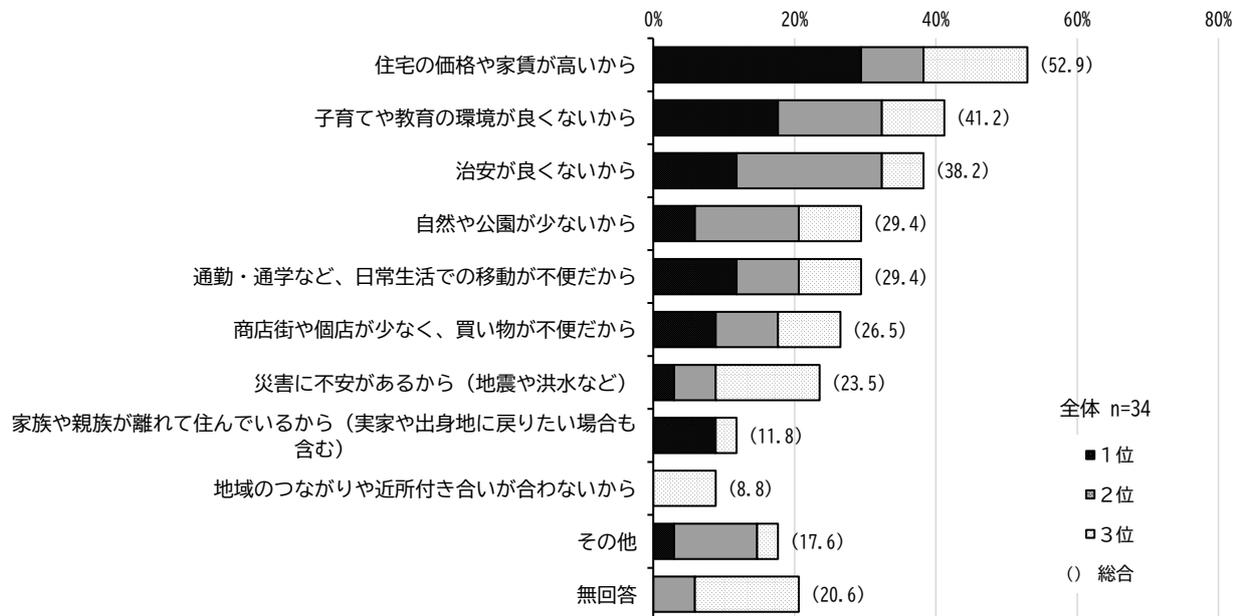


(5) 大田区外へ移りたい理由

【問2で「3できれば大田区外へ移りたい」、「4大田区外へ移りたい」と回答した方に伺います。】

問2-3 「大田区外へ移りたい」理由は何ですか。(上位3つを選択)

大田区外へ移りたい理由については、「住宅の価格や家賃が高いから」が52.9%で最も高く、次いで「子育てや教育の環境が良くないから」が41.2%、「治安が良くないから」が38.2%となっている。



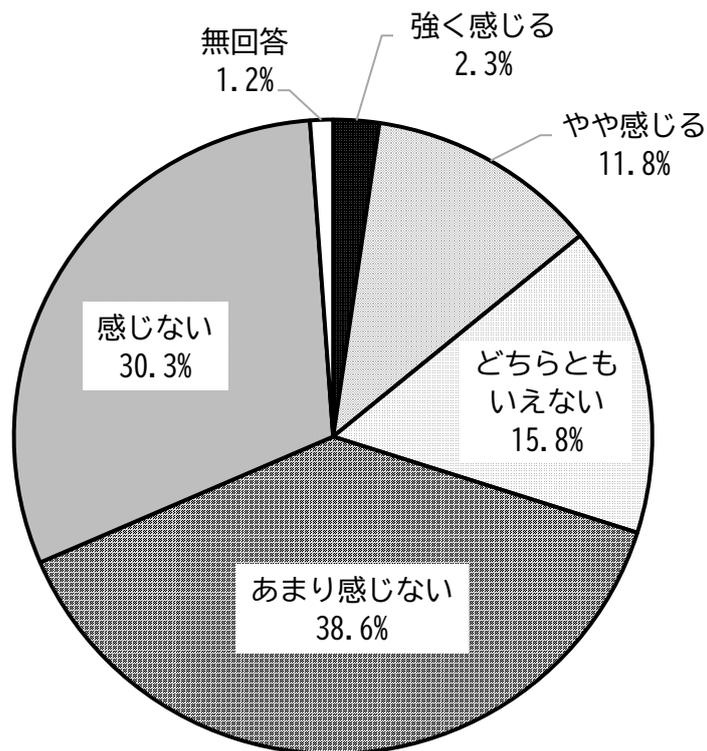
2 子育て環境について

(1) 子育ての孤独感・孤立感

問3 子育てに関して孤独や孤立を感じていますか。(1つのみ)

子育ての孤独感・孤立感については、「強く感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が14.1%となっている。一方、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が68.9%と、《感じる》が54.8ポイント上回っている。

全体 n=689

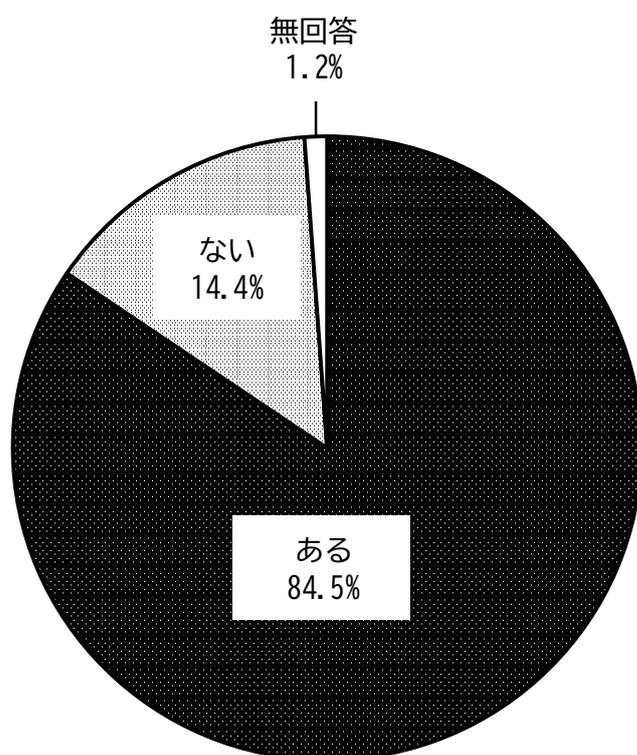


(2) 子育てで相談できる人や場所の有無

問4 子育てに悩んだり困ったりした時に相談できる人、又は、相談できる場所がありますか。(1つのみ)

子育てで相談できる人や場所の有無については、「ある」が84.5%、「ない」が14.4%となっており、「ある」が70.1ポイント上回っている。

全体 n=689

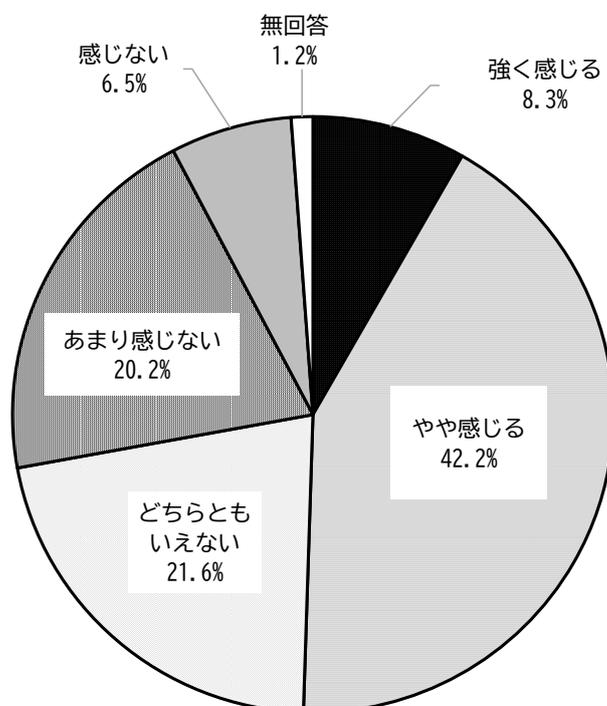


(3) 地域に見守られてこどもが成長していると感じるか

問5 地域に見守られてこどもが成長していると感じますか。(1つのみ)

地域に見守られてこどもが成長していると感じるかについては、「強く感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が 50.5%となっている。一方、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が 26.7%と、《感じる》が 23.8ポイント上回っている。

全体 n=689



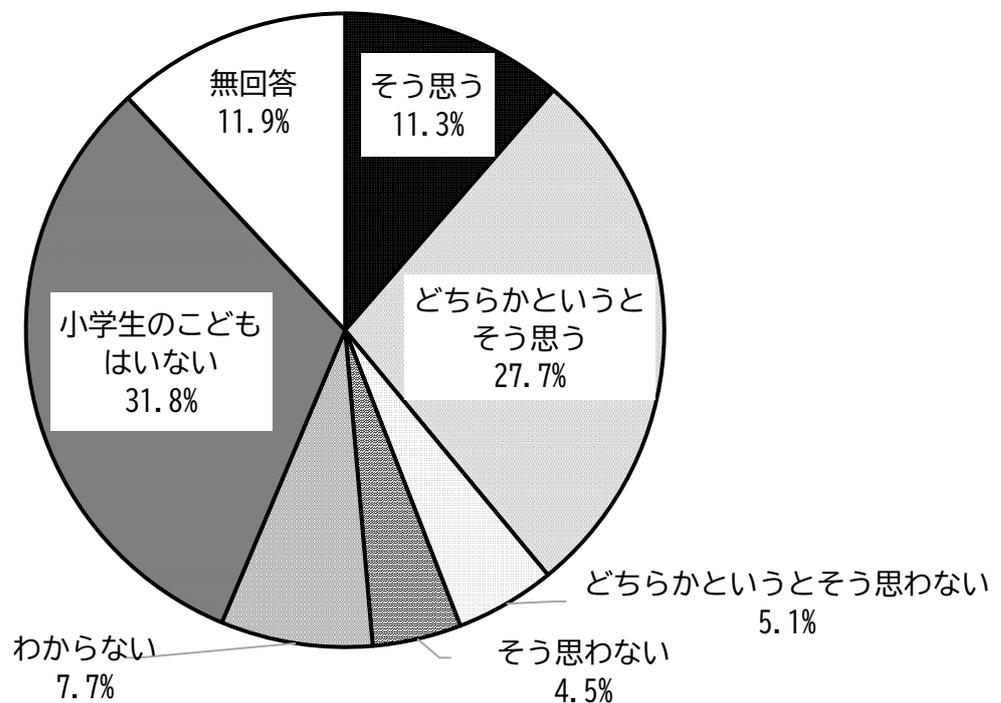
(4) こどもが将来への希望をもって、学び、成長することができるか。

問6 小学生のお子さんをお持ちの方に伺います。ご自身のお子さんが、将来への希望をもって、学び、成長することができると思いますか。(1つのみ)

こどもが将来への希望をもって、学び、成長することができるかについては、「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計値《そう思う》が39.0%となっている。一方、「どちらかというと思わない」、「そう思わない」の合計値《そう思わない》が9.6%と、《そう思う》が29.4ポイント上回っている。

なお、「小学生のこどもはいない」は31.8%となっている。

全体 n=689



令和7年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
報告書【概要版】

令和8年2月発行
発行 大田区企画経営部企画課
〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号
電話 (03) 5744-1444 (直通)
FAX (03) 5744-1502
